

会 長 挨 拶

小児神経学は“脳と発達”の科学で、“こどものこころとからだの発達に寄り添う”医療を担っています。新生児から成育医療・移行期医療まで、発達支援から重症心身障害児・者の支援までと守備範囲は広く、多職種との連携が必要です。ですので、小児神経学は“多様性が支える”医療と言えます。第61回日本小児神経学会学術集会は「多様性が支える小児神経学」をテーマに掲げ、小児神経学の未来を皆様と一緒に考えることができたと願っています。

本学術集会は愛知医科大学小児科の奥村彰久教授が会長を務める第20回乳幼児けいれん研究会国際シンポジウムと合同で“Child Neuro 2019 in Nagoya”として開催いたします。国際シンポジウムとの合同のメリットを最大限生かして、国際色豊かな会となることを期待しています。

Child Neuro 2019 in Nagoyaを通して私たちは以下の5点を追求し、「多様性が支える小児神経学」の実現を目指したいと考えています。

1. 国際性：国際シンポジウムとの合同として、ポスター会場の共有、会員懇親会を予定しています。更に、合同シンポジウムを含めて、第20回乳幼児けいれん研究会国際シンポジウム参加者に様々な企画にご支援をいただきます。参加者の皆様には、海外からの参加者との交流を深めていただければと思います。
2. 科学性：学術集会の基本は最新の研究成果の発表を通じた学術の発展です。最新のトピックからビギナー用の教育講演まで取り揃えることで、様々な立場の方の学びを深めることができるように企画をいたしました。
3. 社会性：小児神経学が対象とする患者・家族は地域社会で生活し、医療的ケアを受けながら学校へ通っています。多職種と連携するためには、社会的視点が必要です。最終日の市民公開講座では衆議院議員の野田聖子先生をお招きして、「多様性を力に変える：障害児者を支える医療・社会」について討論します。
4. 共生性：医療者が患者家族を支えるだけでなく、患者家族もコラボレーターとして私たちの医学研究を支え、より良い医療の実現に協同して取り組むことが重要です。共に歩む小児神経学を目指します。
5. 地域性：地に足をつけた活動を愛知県から発信し、また、他の地域での取り組みに学びます。

Child Neuro 2019 in Nagoya で皆様と一緒に小児神経学の新しいページを開きましょう。

第61回日本小児神経学会学術集会

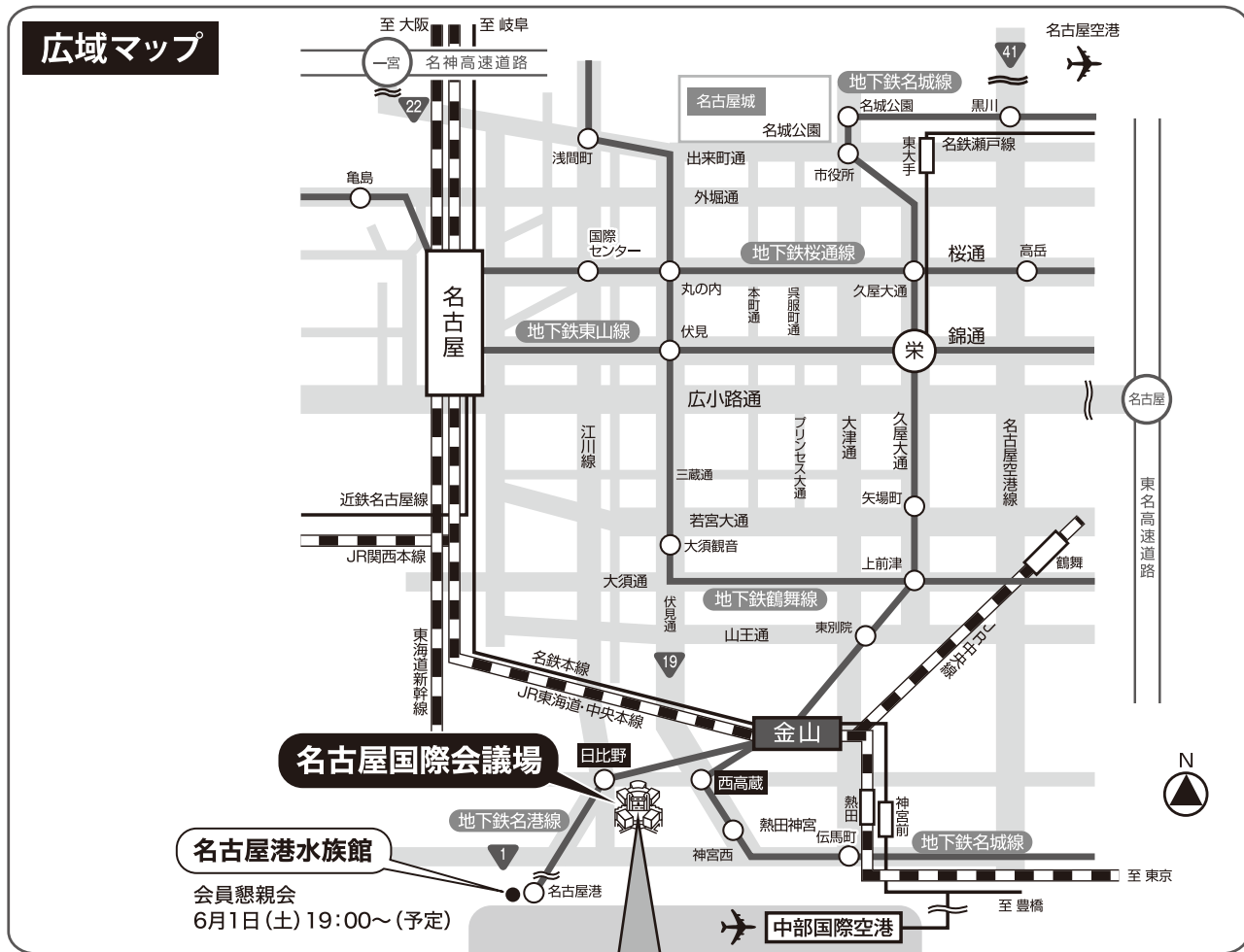
会長 齋藤 伸治

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野 教授

■交通案内	S4
■会場案内	S5
■ポスター会場案内	S8
■お知らせとお願い	S10
■プログラム委員・事務局	S17
■役員会・各種委員会・関連プログラム日程	S18
■日程	
プレコンgres (5月30日)	S19
第1日目 (5月31日)	S20
第2日目 (6月1日)	S22
第3日目 (6月2日)	S24
ポスターセッション (5月31日, 6月1日)	S26
■プログラム	S29
■特別演題抄録	
会長講演	S79
海外招待講演	S80
福山幸夫先生記念講演	S81
教育講演 (1~15)	S83
企画シンポジウム (1, 2)	S98
シンポジウム (1~14)	S105
ISS 合同シンポジウム	S147
Presidential talk event	S150
アジア企画	S154
緊急企画	S157
共催シンポジウム	S159
学会委員会主催セミナー	S161

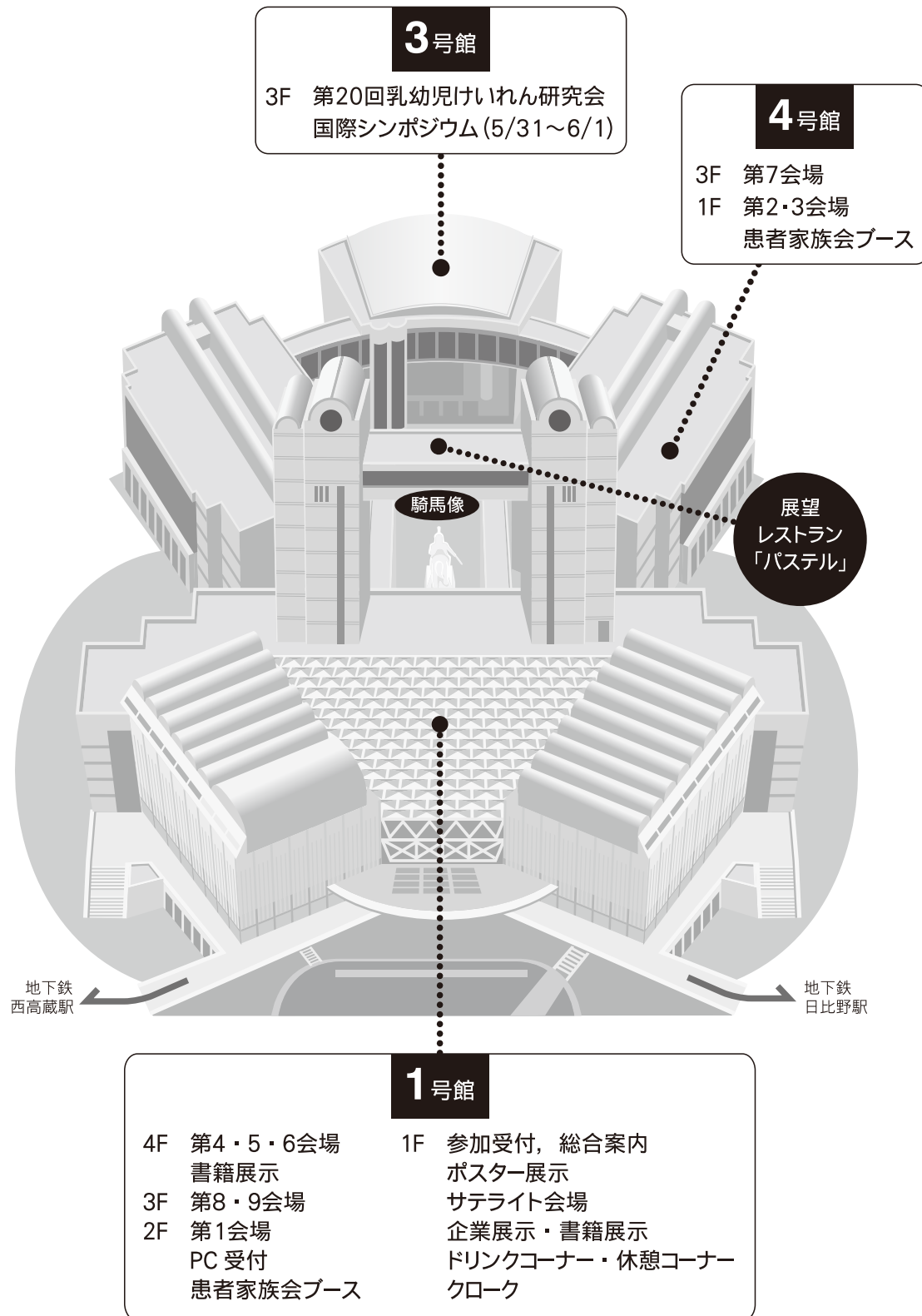
実践教育セミナー（1～8）	S184
ランチョンセミナー（1～19）	S201
共催セミナー（1, 2）	S213
市民公開講座	S214
■一般演題抄録（English Session）	
第1日目（5月31日）	S219
第2日目（6月1日）	S227
■一般演題抄録（口演）	
第1日目（5月31日）	S235
第2日目（6月1日）	S267
■一般演題抄録（ポスター）	
第1日目（5月31日）	S303
第2日目（6月1日）	S358
■索引（筆頭講演者名）	S410
■歴代総会／学術集会会長・開催地・会期一覧	S417
■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	S418
■日本製薬団体連合会・セミナー共催企業・共催シンポジウム企業・プログラム集広告掲載企業・ 英文校正・翻訳サービス企業・アプリバナー広告掲載企業・展示協賛企業一覧	
	S420

交通案内

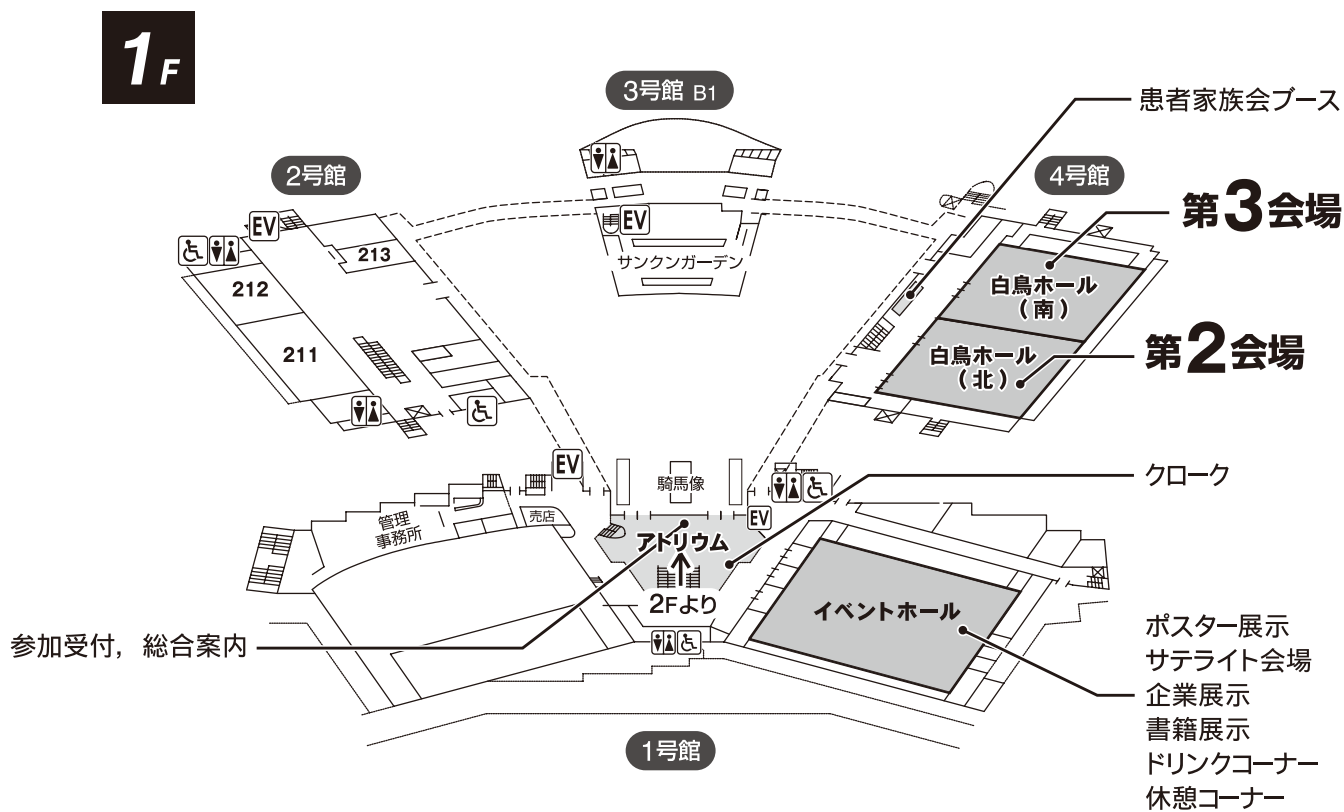
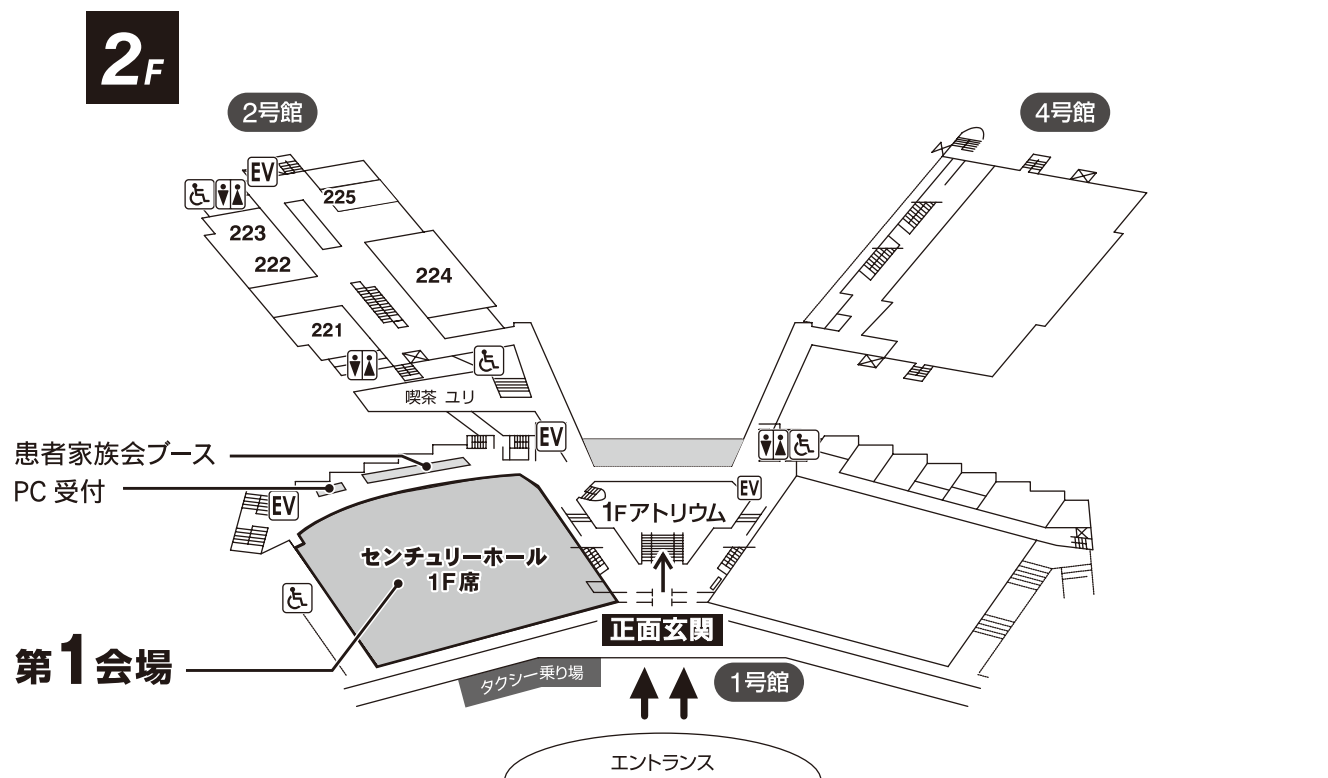


名古屋駅から会場まで	中部国際空港(セントレア)から会場まで
タクシー 約2,500円 地下鉄のみ 240円 JRまたは名鉄 + 地下鉄 JR 170円 名鉄 190円 + 地下鉄 200円 約20分 約10分 約800円 地下鉄(東山線) 5分 JR 3分 名鉄 4分 名港線 2分 名城線左回り 2分 日比野駅(名古屋港方面) 徒歩 5分 西高蔵駅(新瑞橋方面) 徒歩 5分	タクシー (中型) 約15,000円 名鉄 + 地下鉄 名鉄 810円 特別車両券 360円 + 地下鉄 200円 約40分 約30分 名鉄空港特急 ミュースカイ 名港線 2分 名城線左回り 2分 日比野駅(名古屋港方面) 徒歩 5分 西高蔵駅(新瑞橋方面) 徒歩 5分

会場案内

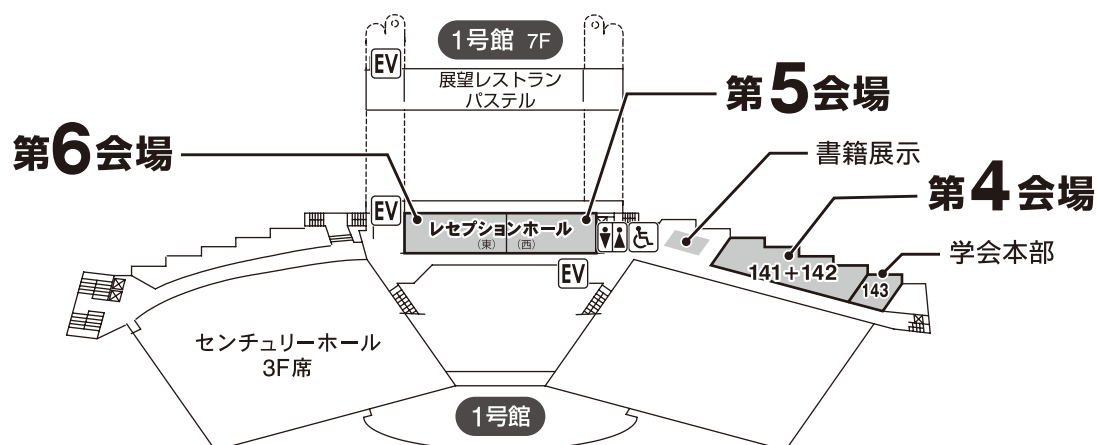


会場案内

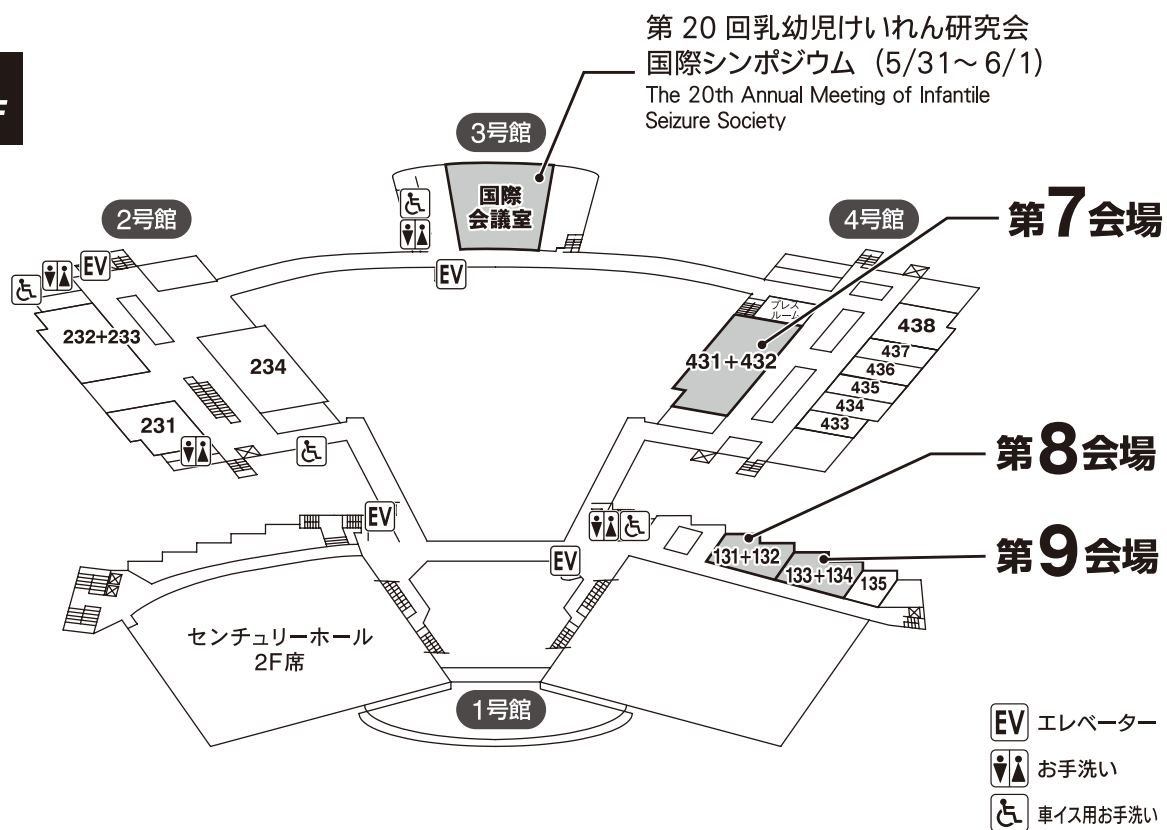


会場案内

4F



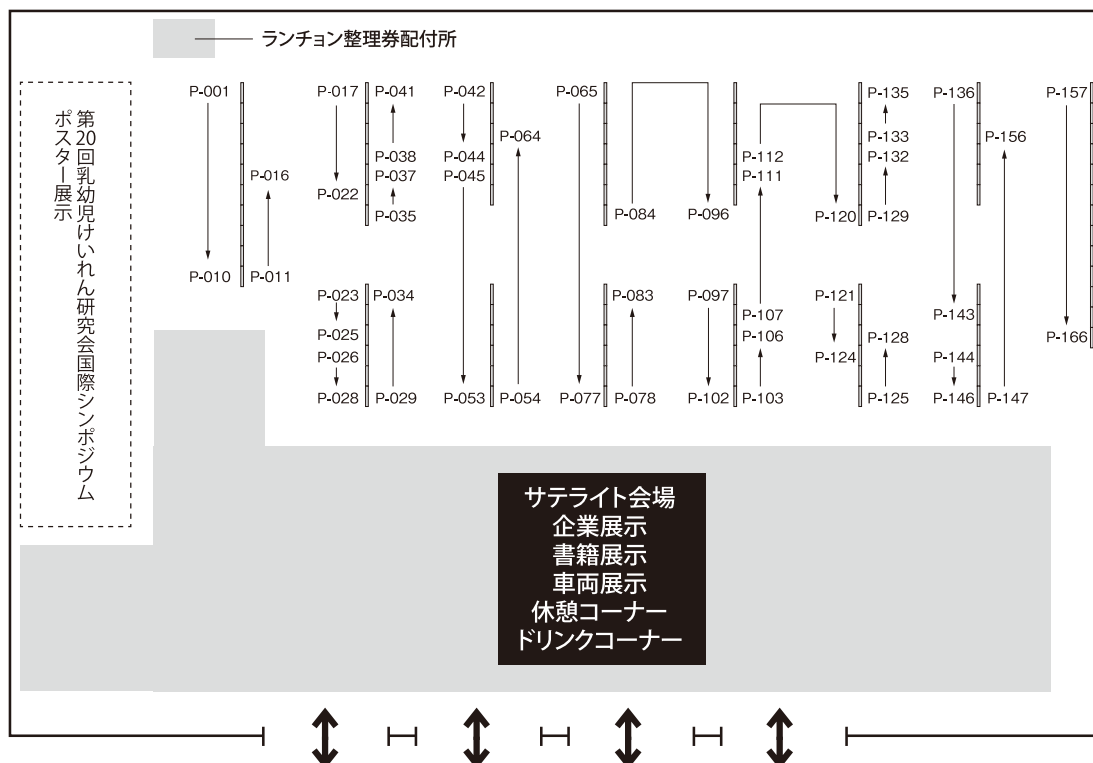
3F



- EV エレベーター
- お手洗い
- 車イス用お手洗い

ポスター会場案内

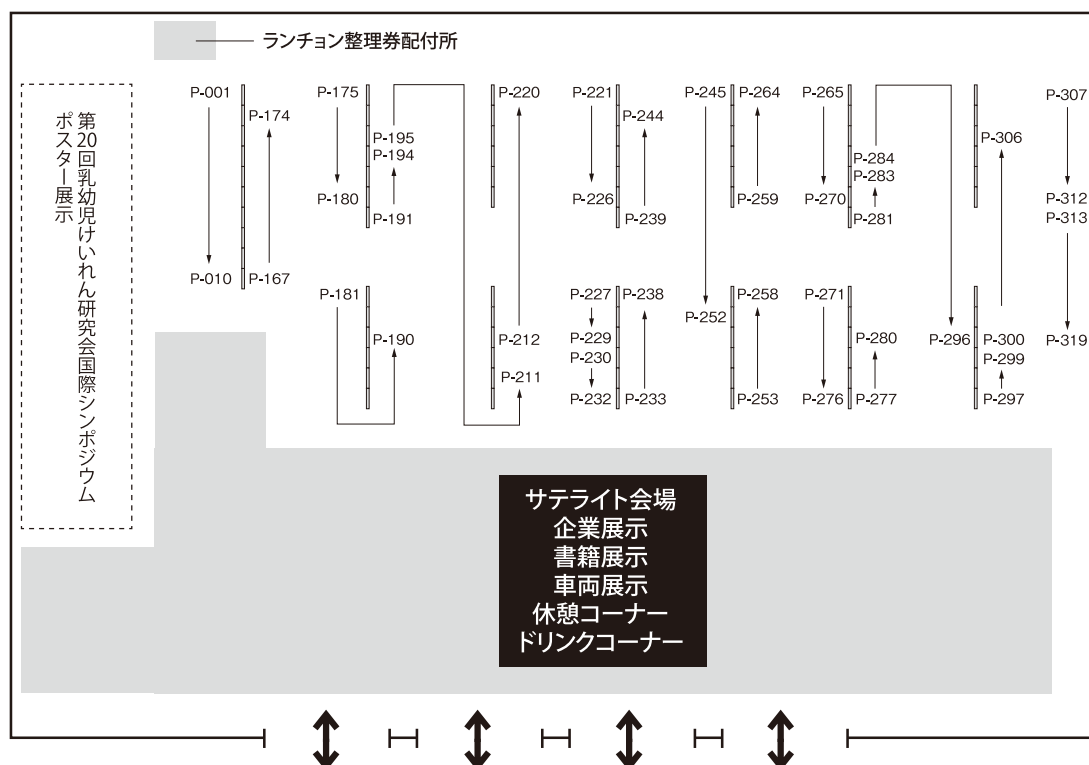
学術集会 1 日目：5 月 31 日（金） ポスター会場（イベントホール）



本学術集会のポスター発表は、座長による進行のない「フリーディスカッション形式」となります。演者は以下の時間帯にご自身のポスター前に立ち、ポスター討議を行ってください。

日時	演題番号	セッション名
第1日目 5月31日（金） 17:00～18:30	P-001 ～ P-010	優秀ポスター賞
	P-011 ～ P-016	遺伝（症例）
	P-017 ～ P-022	遺伝（染色体）
	P-023 ～ P-025	遺伝（研究）
	P-026 ～ P-028	遺伝（不随意運動）
	P-029 ～ P-034	神経皮膚症候群・先天異常
	P-035 ～ P-037	発達（治療）
	P-038 ～ P-044	発達（評価法, その他）
	P-045 ～ P-053	療育・支援
	P-054 ～ P-064	てんかん（薬物療法）
	P-065 ～ P-077	てんかん（診断・遺伝子）
	P-078 ～ P-083	画像・発作症状
	P-084 ～ P-096	脊髄性筋萎縮症
	P-097 ～ P-102	急性弛緩性麻痺
	P-103 ～ P-106	急性脳症（けいれん重積型）
	P-107 ～ P-111	急性脳症（その他）
演題番号（奇数） 17:00～17:45 演題番号（偶数） 17:45～18:30	P-112 ～ P-120	ウイルス感染・小脳炎
	P-121 ～ P-124	血管障害
	P-125 ～ P-128	脳外科領域
	P-129 ～ P-132	頭痛
	P-133 ～ P-135	精神
	P-136 ～ P-143	新生児・周産期脳障害
	P-144 ～ P-146	栄養
	P-147 ～ P-156	脳性麻痺
	P-157 ～ P-166	重心・在宅
ポスター撤去 18:30～19:00		

学術集会 2 日目：6 月 1 日（土） ポスター会場（イベントホール）



日時	演題番号	セッション名
第2日目 6月1日(土) 16:30～18:00 演題番号(奇数) 16:30～17:15 演題番号(偶数) 17:15～18:00 ポスター撤去 18:00～18:30	P-001 ～ P-010	優秀ポスター賞(掲示のみ)
	P-167 ～ P-174	遺伝(大脳形成)
	P-175 ～ P-180	遺伝(小脳形成)
	P-181 ～ P-190	遺伝(発達障害)
	P-191 ～ P-194	先天異常
	P-195 ～ P-211	てんかん(治療)
	P-212 ～ P-220	てんかん(外科治療)
	P-221 ～ P-226	てんかん(症例)
	P-227 ～ P-229	てんかん(発達・トランジション)
	P-230 ～ P-232	電気生理
	P-233 ～ P-238	ADHD
	P-239 ～ P-244	発達障害(支援)
	P-245 ～ P-252	筋疾患
	P-253 ～ P-258	急性脳症(けいれん重積型)
	P-259 ～ P-264	抗MOG抗体関連疾患
	P-265 ～ P-270	脱髄性疾患・脊髄炎
	P-271 ～ P-276	自己免疫性疾患1
	P-277 ～ P-280	自己免疫性疾患2
	P-281 ～ P-283	感染
	P-284 ～ P-296	代謝
	P-297 ～ P-299	神経変性疾患
	P-300 ～ P-306	末梢神経
	P-307 ～ P-312	不随意運動, 基底核疾患
	P-313 ～ P-319	睡眠

I. 参加者へのご案内

(1) 会場：

名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

TEL：052-683-7711（代表）

(2) 受付：

	月日	時間	場所
学術集会 評議員会（社員総会） プレコンGRES	5月30日（木）	11：30～16：00	アトリウム （1号館 1F）
学術集会 第1日目	5月31日（金）	7：30～19：00	
学術集会 第2日目	6月1日（土）	7：30～17：30	
学術集会 第3日目	6月2日（日）	7：30～14：00	

(3) 登録：

事前登録の場合

当日、会場へお越しの際に、参加登録画面から予約確認書を印刷するか、またはスマートフォン、タブレットにてQRコードを表示できるようにしてご持参ください。事前参加登録受付にある端末でQRコードを読み込み、ネームカード（兼領収書）を発券してください。

当日登録の場合

参加費を受付にてお支払いください。引き換えにネームカード（兼領収書）をお渡ししますので、所属と氏名を記入してください。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期研修医、看護師、心理士、学部生（医学部含む）は、いずれも証明書が必要です。証明書は学術集会ホームページ（http://www.congre.co.jp/childneuro2019/child_neurology_registration.html）よりダウンロードの上、学術集会当日持参しご提出ください。

参加区分	参加費
日本小児神経学会 会員	16,000 円（20th ISS 登録者は無料）
日本小児神経学会 非会員	18,000 円（20th ISS 登録者は無料）
初期研修医	5,000 円（証明書提示）
看護師、心理士など	5,000 円（証明書提示）
学部生（医学部含む）	2,000 円（証明書提示、大学院生は除く）
会員懇親会	6,000 円（非会員の参加も可能、20th ISS 登録者は無料）

(4) 個人情報に関する注意：

個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学術集会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたしております。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情等を呈示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学術集会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(5) 抄録集：

学術集会当日はプログラム・抄録集をご持参ください。お持ちでない方は総合案内にて 1 冊 2,000 円で販売いたしますのでお求めください。ただし、数に限りがあります。

(6) クローク：

月日	時間	場所
5 月 30 日（木）	11：30～18：00	アトリウム （1 号館 1F）
5 月 31 日（金）	7：30～20：45	
6 月 1 日（土）	7：30～18：45	
6 月 2 日（日）	7：30～16：00	

※ PC・傘・貴重品はお預かりできませんので予めご了承ください。

(7) 実践教育セミナー：

実践教育セミナーをプレコンgres（5 月 30 日（木））と学術集会最終日（6 月 2 日（日））に開催いたします（事前参加申込制）。

受付枠に余裕があるセミナーについては当日受付を設ける予定ですので、受付枠の空きについては当日会場にてご確認ください。

＜事前参加申込をお済ませの方へ＞

開催 1 週間前頃までに登録住所に参加証を送付いたしますので、当日は必ず持参いただきますようお願いいたします。

配布資料があるセミナーについてはあらかじめご自身で資料をダウンロードいただき持参ください。当日の資料の配布はございませんのでご注意ください。

なお実践教育セミナーに参加した場合、取得できる単位は以下になります。

・実践教育セミナー 出席各 2 単位

※ただし 1 回の学術集会での単位数の上限は 4 単位とする。

(8) 日本小児神経学会年会費：

2019 年度会費（15,000 円）を未納の方は当該受付にて納入してください。

(9) 小児神経専門医研修単位：

以下の通り認められます。

- ・学術集会 出席 8 単位、発表（筆頭）4 単位、発表（連名）1 単位
- ・招待講演、記念講演 各 1 単位
- ・教育講演 各 1 単位
- ※全体取得上限を 12 単位とする。
- ・実践教育セミナー 出席各 2 単位
- ※ただし、1 回の学術集会での単位数の上限は 4 単位とする。

(10) 専門医研修単位：

特定セッションの参加により以下の単位が認められます。該当セッションについては日程表にてご確認ください。

受講証明書は会場前で配布いたします。

- ・日本小児科学会小児科領域講習 6 単位（各 1 単位）
- ・日本小児科学会小児専門医共通講習（医療倫理） 1 単位
- ・日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医 各 1 単位、日本リハビリテーション医学会認定臨床医 各 10 単位

学術集会参加により以下の単位が認められます。

- ・日本神経学会神経内科専門医 認定更新単位 2 単位
- ・日本てんかん学会専門医 5 単位 ※てんかん学に関する発表（筆頭） 20 単位
- ・日本小児科学会専門医 1 単位
- ・日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医 1 単位，日本リハビリテーション医学会認定臨床医 10 単位

(11) 会員懇親会：

学術集会 2 日目（6 月 1 日（土））19：00 より，名古屋港水族館にて ISS 合同の会員懇親会を行います。多数のご参加をお待ちしています。

名古屋国際会議場から名古屋港水族館へのシャトルバスを運行します。

(12) 表彰：

本大会では本学会開催（2019 年 5 月 31 日）時点で，筆頭演者が 40 歳以下の方の演題の中から優秀口演賞，優秀ポスター賞，優秀 English Session 賞を設けました。特に優秀な発表に対し，最優秀口演賞と最優秀ポスター賞は各 1 名，最優秀 English Session 賞は複数名を選出する予定です。最優秀賞の発表は 6 月 1 日（土）19：00 からの会員懇親会にて行い，表彰および副賞を贈呈します。

(13) 患者家族会ブース：

学術集会期間中に患者家族会ブースをセンチュリーホワイエ，白鳥ホール前に設置いたします。患者やその家族がどのように思い，何を求めているかということを知り，診療に生かしていただく良い機会になればと思います。皆様ぜひブースへ足をお運びください。

(14) 物産展：

愛知の特産品を集めた物産展をアトリウム（1 号館 1F）に設けます。今回の学会参加のお土産にぜひお立ち寄りください。

<出展時間>

5 月 31 日（金）9：00～17：00

6 月 1 日（土）9：00～17：00

6 月 2 日（日）9：00～16：00

(15) 会場での呼び出しは原則として行いません。

(16) 駐車場：

会場駐車場は有料になります。極力公共の交通機関を使ってお越しください。

II. 口演発表の座長各位へ

- (1) 担当セッション開始 15 分前までに会場右手前方の次座長席にお越しください。
- (2) English Session，口演発表は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）で進行してください。会場進行責任者からもお知らせをしますが，時間になりましたら随時セッションを開始してください。
- (3) 口演会場では，発表時間を計時します。演台，ならびに座長席では，発表時間終了 1 分前に黄ランプ，終了時に赤ランプがそれぞれ点灯します。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。

III. 演題の採択

559 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果，English Session 42 題，一般演題（口演）198 題，一般演題（ポスター）319 題と決定しました。

IV. 口演発表者へ

(1) 発表時間

発表時間に関して、依頼講演（会長講演、海外招待講演、福山幸夫先生記念講演、教育講演、企画シンポジウム、シンポジウム、ISS 合同シンポジウム、Presidential talk event、アジア企画、緊急企画、共催シンポジウム、学会委員会主催セミナー、実践教育セミナー、ランチョンセミナー、共催セミナー、市民公開講座）の演者は座長の指示に従ってください。

一般口演および English Session の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です。

各口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、発表時間終了 1 分前に黄ランプ、終了時に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安としてください。

(2) 発表形式

依頼講演、一般口演、English Session とともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。(4)の「PC 発表データ作成について」をご参照ください。English Session にてご発表の先生は、データを英語で作成し、英語でご発表ください。なお、学術集会の国際化を図るにあたり、一般口演も英語での発表・英語スライドの作成を推奨します。

(3) データのプレビュー・受付

PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意ください。発表者は発表セッション開始 1 時間前（早朝発表者は 30 分前）までにデータ受付を済ませてください。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
5 月 30 日（木）	11：30～15：30	第 1 会場前 （センチュリーホワイエ）
5 月 31 日（金）	7：30～18：30	
6 月 1 日（土）	7：30～17：00	
6 月 2 日（日）	7：30～13：30	

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反（COI）開示のお願い

応募演題の筆頭演者ならびに共同演者における COI（筆頭発表者ならびに共同発表者自身に対して、当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの、兼業などによる給与・研究費・人員の提供など）に関する開示が義務付けられるため、発表にあたっては、これらの情報を開示していただきます。

COI の有無にかかわらず、発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて、COI の開示をお願いします。

COI 開示フォーマットは下記第 61 回学術集会ホームページでご確認ください。

【第 61 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

http://www.congre.co.jp/childneuro2019/child_neurology_presenter.html

◎データは以下の要領で作成してください。

①利用可能なパソコン

- ・ Windows の場合：USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込み、または、ノートパソコン持ち込みによる発表が可能です。なるべくノートパソコンの持ち込みは避け、メディアでのお持ち込みをお願いいたします。
- ・ Macintosh の場合：必ずご自身のノートパソコンを持参してください。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。

②動画・音声の利用について

口演会場では、動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は、Windows Media Player（WMV 形式を推奨いたします）で動作する形式で用意してください。動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。完成した PowerPoint ファイルを、USB ストレージなどのメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動画を再生して、きちんと再生されれば原則的に問題はありません。動画がある場合はご自身の PC のお持ち込みを推奨いたします。

③USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込みの場合（Windows の場合のみ）

【発表データの作成】

- ・ OS：Windows 7 以降の環境で作成してください。
- ・ アプリケーション：Microsoft PowerPoint 2010, 2013, 2016
- ・ 画面のサイズは XGA（1024×768）です。

【データの総量】

- ・ データの総量制限は特に設けませんが、決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成してください。

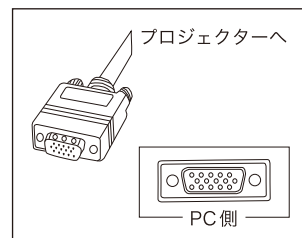
【データの提出方法】

- ・ メディアの形式：USB ストレージまたは CD-R のみ受け付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参ください。
- ・ 発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存してください。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル（動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む）以外のデータは入れないでください。
- ・ データの受付および返却：USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合、PC プレビューセンターではデータのみをコピーし、メディアはその場で返却いたします。
- ・ データの受付時間：発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出してください（早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませてください）。
- ・ 発表のために学会場の PC にコピーしたデータは、会期終了後、学会事務局ですべて消去します。

④ノートパソコンをお持ち込みの場合（Windows、Macintosh とも）

【ノートパソコンの条件】

- ・ 外部出力ができる PC をご持参ください。
- ・ 会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 ピンです。
- ・ 変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意ください。
- ※ HDMI や Mini DisplayPort など D-sub 15 ピン以外の接続はお受けできません。



[mini D-sub 15 ピン]コネクタ形状

- ・ 必ず AC アダプター（電源コード）をご持参ください。
- AC アダプターがない場合、受付いたしかねる場合もありますのでご了承ください。

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・ 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をしてください（早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませてください）。
- ・ PC プレビューセンターにて、試写、動画・音声の有無を確認後、各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動してください。口演会場では、セッション開始時刻 15 分前までに会場内前方左側の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ちください。
- ・ 発表終了後直ちに PC オペレータ席で、ご自身のパソコンをお引き取りください。

(5) 発表方法

- ・演台上のマウスとキーボードを操作し、プレゼンテーションを行ってください。
- ・スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控えください。

V. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

掲示	5月31日(金)・6月1日(土)の各日 8:30~11:30の間に各自で掲示してください。		
発表 (フリーディスカッション形式)	5月31日(金)	17:00~18:30	※詳細は、S8ページをご参照ください。
	6月1日(土)	16:30~18:00	※詳細は、S9ページをご参照ください。
撤去	5月31日(金)	18:30~19:00の間に各自で撤去してください。	
	6月1日(土)	18:00~18:30の間に各自で撤去してください。	

※優秀ポスター賞は2日間掲示しますが、発表は5月31日(金)のみです。

※ポスター発表はフリーディスカッション形式です。指定の時間にポスター前にいるようにしてください。

※ポスターは時間内に責任をもって撤去をお願いいたします。撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは、学会事務局で撤去し、プログラム終了後に廃棄いたしますのでご了承ください。

(2) ポスター掲示について

※ポスター発表、貼付場所についてはS8, 9ページをご参照ください。

◎ポスター掲示での利益相反(COI)開示のお願い

応募演題の筆頭演者ならびに共同演者におけるCOIの開示が義務付けられております。

COIの有無にかかわらず、ポスターの最後に必ずCOI開示の掲示をお願いいたします。

COI開示のフォーマットは下記第61回学術集会ホームページよりご確認ください。

【第61回学術集会ホームページ：COI開示要項】

http://www.congre.co.jp/childneuro2019/child_neurology_presenter.html

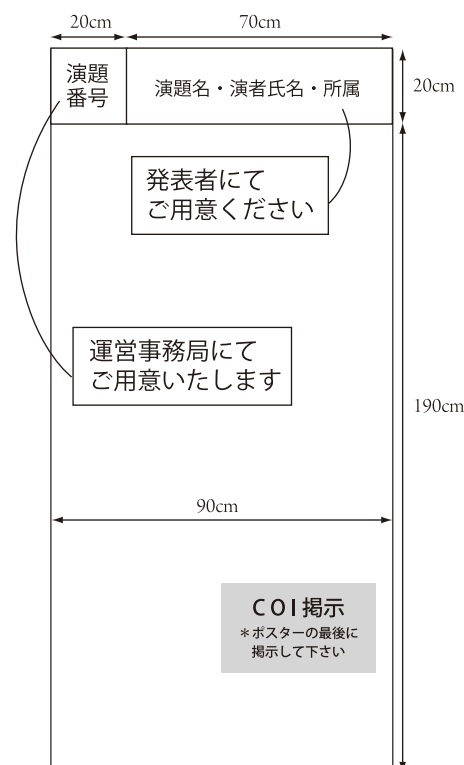
◎掲示面について

ポスター掲示面の大きさは幅90cm、高さ210cmです(右図参照)。

パネルの左肩に20cm×20cmの演題番号が表示されます(演題番号は、学会事務局にて用意します)。

演者は、指定のパネル上部の演題番号を除く幅70cm、高さ20cmのスペースに演題名、演者氏名、所属とすべての共同演者氏名を提示してください。

本文はその下の90cm×190cmのスペースに掲示してください。画鋏は各パネルに用意します。



VI. 共催セミナーについて

(1) 内容

■学術集会第 1 日目（5 月 31 日（金））

12 時 25 分よりランチョンセミナー 1～5 を開催します。

■学術集会第 2 日目（6 月 1 日（土））

12 時 25 分よりランチョンセミナー 6～12 を開催します。

■学術集会第 3 日目（6 月 2 日（日））

12 時 35 分よりランチョンセミナー 13～19 を開催します。

※ランチョンセミナーはお弁当をご用意いたします。

(2) ランチョンセミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
5 月 31 日（金）	7：30～11：30	イベントホール （1 号館 1F）
6 月 1 日（土）	7：30～11：30	
6 月 2 日（日）	7：30～11：30	

ランチョンセミナーの参加には、参加整理券（無料）が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取りください。参加整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場ください。

なお、参加整理券はランチョンセミナー開始 5 分後に無効となりますのでご注意ください。

VII. 託児室

学会手配の託児施設をご利用いただけます。詳細は学術集会ホームページをご確認ください。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

VIII. 抄録集アプリ

本学術集会のプログラム検索、抄録閲覧、スケジュール管理ができるアプリケーションです。聴講したいセッションや演題を検索、スケジュール登録（ブックマーク）することで、ご自身のスケジュール管理ツールとしてご利用いただけます。

●アプリ版

アプリ名：第 61 回日本小児神経学会学術集会/The 61st Annual Meeting of the Japanese Society of Child Neurology

対応機種：iPad, iPhone, Android

ダウンロード方法：App Store, Google Play より「jscn61」で検索し、「第 61 回日本小児神経学会学術集会」をダウンロードしてください（無料）。

●Web 版

第 61 回日本小児神経学会学術集会のホームページ（http://www.congre.co.jp/childneuro2019/child_neurology.html）をご覧ください。

抄録閲覧パスワード：jscn2019



プログラム委員 (50 音順・敬称略)

荒井 洋	安藤 直樹	石川 悠加	石原 尚子	糸見 和也	稲垣 真澄	稲葉 雄二
今井 克美	岩田 欧介	植松 貢	榎 日出夫	太田 英伸	大竹 明	大西 秀典
岡 明	岡西 徹	小坂 仁	小沢 浩	加藤善一郎	加藤 徹	加藤 光広
城所 博之	吉良龍太郎	熊田 聡子	倉橋 宏和	小枝 達也	後藤 知英	小林 勝弘
小林 悟	小牧 宏文	佐久間 啓	佐々木征行	白石 秀明	菅野 秀宣	高梨 潤一
竹内 章人	遠山 潤	友田 明美	中川 栄二	夏目 淳	新井田 要	萩野谷和裕
浜野晋一郎	林 雅晴	藤井 克則	本田 涼子	前垣 義弘	丸山 幸一	三牧 正和
宮地 泰士	師田 信人	山形 崇倫	山下裕史朗	山中 岳	山本 俊至	

第 61 回日本小児神経学会学術集会

会 長 齋藤 伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野)

事務局長 服部 文子 (名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野)

運営事務局

株式会社コングレ 中部支社内

〒 460-0004 名古屋市中区新栄町 2-13 栄第一生命ビルディング

TEL : 052-950-3369 FAX : 052-950-3370

E-mail : childneuro2019@congre.co.jp

第 61 回日本小児神経学会学術集会●役員会・各種委員会・関連プログラム日程

日程	時間	会合名	部屋名
5 月 30 日 (木)	11:00～15:00	理事会	1 号館 4F 会議室 141 + 142
〈プレコングレス〉	15:15～17:15	第 43 回評議員会 (第 13 回社員総会)	4 号館 1F 白鳥ホール (北)
	13:00～15:00	実践教育セミナー 1	4 号館 1F 白鳥ホール (北)
	13:00～15:00	実践教育セミナー 2	1 号館 4F レセプションホール (西)
	13:00～15:00	実践教育セミナー 3	1 号館 4F レセプションホール (東)
	12:30～15:00	実践教育セミナー 4	4 号館 3F 会議室 431 + 432
	15:30～17:30	実践教育セミナー 5	4 号館 1F 白鳥ホール (南)
	15:30～17:30	実践教育セミナー 6	1 号館 4F レセプションホール (西)
	15:30～17:30	実践教育セミナー 7	1 号館 4F レセプションホール (東)
5 月 31 日 (金)	7:20～ 8:20	社会活動・広報委員会	1 号館 3F 会議室 135
〈学術集会第 1 日目〉	7:20～ 8:20	国際化推進委員会	4 号館 3F 会議室 433
	7:20～ 8:20	ホームページ委員会	4 号館 3F 会議室 434
	7:20～ 8:20	長期計画委員会	4 号館 3F 会議室 435
	7:20～ 8:20	共同研究支援委員会	4 号館 3F 会議室 436
	7:20～ 8:20	頭部外傷における CT 撮影基準の提言の作成 WG	4 号館 3F 会議室 437
	12:25～13:25	脳と発達編集委員会	1 号館 3F 会議室 135
	12:25～13:25	社会保険小委員会	2 号館 1F 会議室 213
	12:25～13:25	倫理委員会・COI 委員会 (合同)	4 号館 3F 会議室 433
	12:25～13:25	医療安全委員会	4 号館 3F 会議室 434
	12:25～13:25	熱性けいれん診療ガイドライン改訂 WG	4 号館 3F 会議室 435
	12:25～13:25	結節性硬化症に伴うてんかんの治療ガイドライン策定 WG	4 号館 3F 会議室 436
	12:25～13:25	小児の痙攣の診断・治療ガイドライン策定 WG	4 号館 3F 会議室 437
	13:40～14:40	脳波等神経生理検査時の鎮静における医療安全に関する提言・指針作成 WG	4 号館 3F 会議室 434
6 月 1 日 (土)	8:00～ 9:00	薬事小委員会	1 号館 3F 会議室 135
〈学術集会第 2 日目〉	8:00～ 9:00	アーカイブ小委員会	4 号館 3F 会議室 433
	8:00～ 9:00	小慢・指定難病に関する委員会	4 号館 3F 会議室 434
	8:00～ 9:00	用語委員会	4 号館 3F 会議室 435
	11:15～12:15	ACTH 療法を安全に行うための提言の作成 WG	4 号館 3F 会議室 436
	12:25～13:25	災害対策小委員会	4 号館 3F 会議室 433
	12:25～13:25	Brain & Development 編集委員会	1 号館 3F 会議室 135
	12:25～13:25	ガイドライン統括委員会	4 号館 3F 会議室 435
	14:30～15:30	アドバイサリーカウンスル	1 号館 3F 会議室 135
	15:50～16:20	日本小児神経学会優秀論文賞授賞式ミニ講演会	4 号館 1F 白鳥ホール (南)
6 月 2 日 (日)	8:00～ 9:00	専門医委員会	1 号館 3F 会議室 135
〈学術集会第 3 日目〉	8:00～ 9:00	教育委員会	4 号館 3F 会議室 433
	8:00～ 9:00	小児けいれん重積治療ガイドライン改訂 WG	4 号館 3F 会議室 434
	8:00～ 9:00	小児急性脳症診療ガイドライン改訂 WG	4 号館 3F 会議室 435
	8:00～ 9:00	チック診療ガイドライン策定 WG	4 号館 3F 会議室 436
	13:40～15:40	実践教育セミナー 8	1 号館 3F 会議室 131 + 132
	14:00～15:00	第 62 回学術集会プログラム委員会	1 号館 4F 会議室 141 + 142

第 61 回日本小児神経学会学術集会●日程 プレコンgress 〈5月30日(木)〉

JSCN : 日本小児神経学会専門医研修単位

	第 2 会場 4 号館 1F 白鳥ホール(北)	第 3 会場 4 号館 1F 白鳥ホール(南)	第 4 会場 1 号館 4F 会議室 141 + 142	第 5 会場 1 号館 4F レセプションホール(西)	第 6 会場 1 号館 4F レセプションホール(東)	第 7 会場 4 号館 3F 会議室 431 + 432	第 8 会場 1 号館 3F 会議室 131 + 132
11:00							
12:00							
13:00	JSCN		理事会 11:00 ~ 15:00	JSCN	JSCN	JSCN	
14:00	実践教育 セミナー 1 13:00 ~ 15:00 小児科医のための 神経画像2019 演者: 森 壘 宇都宮英綱 古川理恵子 座長: 高梨潤一 大場 洋			実践教育 セミナー 2 13:00 ~ 15:00 こどもの頭痛 マスター・スクール 2019 演者: 五十嵐久佳 荒木 清 藤田光江 座長: 西村 陽 安藤直樹	実践教育 セミナー 3 13:00 ~ 15:00 重篤な神経疾患を 抱える子どもたちの ための小児緩和ケア 演者: 笹月桃子 岡崎 伸 余谷暢之 松岡真里 座長: 吉良龍太郎 笹月桃子	実践教育 セミナー 4 12:30 ~ 15:00 初心者向け 脳波を読むコツ: ハンスオン 演者: 山本啓之 白石秀明 座長: 夏目 淳 稲垣真澄 相原正男	
15:00	S184			S186	S188	S191	Japan-Taiwan Joint Workshop of Neonatal and Pediatric Neurology 日本-台湾 新生児・小児神経 ワークショップ 演者: Yi-Fang Tu 田中雅大 Ying-Chao Chang 宮田昌史 Li-Wen Chen 津田兼之介 Yu-Chieh Kao 堀いくみ Yung-Chieh Lin 中村勇治 Wen-Hao Yu 家田大輔 Lan-Wan Wang 座長: Chao-Ching Huang 岩田欧介
16:00	第 43 回評議員会 (第 13 回社員総会) 15:15 ~ 17:15	JSCN 実践教育 セミナー 5 15:30 ~ 17:30 はじめて小児神経学 を学ぶ人のための 実践教育セミナー 演者: 藤井克則 秋山倫之 山中 岳 内田智子 座長: 藤井克則 山中 岳		JSCN 実践教育 セミナー 6 15:30 ~ 17:30 新生児脳波判読 コンペティション ー初心者歓迎ー 演者: 加藤 徹 深沢達也 座長: 久保田哲夫 城所博之	JSCN 実践教育 セミナー 7 15:30 ~ 17:30 小児神経疾患への 訪問診療 演者: 前田浩利 和田 浩 田中総一郎 市橋亮一 遠山裕湖 座長: 三浦清邦 田中総一郎		
17:00		S192		S195	S197		
18:00							

第 61 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 1 日目〈5 月 31 日(金)〉

[JSCN]: 日本小児神経学会専門医研修単位, [JSP①]: 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, [JSP②]: 日本小児科学会小児科専門医

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場
	1 号館 2F	4 号館 1F	4 号館 1F	1 号館 4F	1 号館 4F
8 : 00	センチュリーホール	白鳥ホール(北)	白鳥ホール(南)	会議室 141 + 142	レセプションホール(西)
	開会式 8 : 20 ~ 8 : 25 会長講演 8 : 25 ~ 8 : 55 多様性が支える小児神経学 演者: 齋藤伸治 座長: 佐々木征行 S79				
9 : 00	福山幸夫先生記念講演 [JSCN] 9 : 00 ~ 10 : 00 A journey in search of excellence in clinical service and research as a child neurologist in Taiwan 演者: Chao-Ching Huang 座長: 大澤真木子 S81				
10 : 00	企画シンポジウム 1 [JSP①] 10 : 10 ~ 12 : 10 急性脳炎・脳症 演者: 根岸 豊 岩田欧介 山本啓之 秋山倫之 沼口 敦 松尾宗明 座長: 前垣義弘 山本啓之 S98	シンポジウム 1 10 : 10 ~ 12 : 10 IRUDと小児神経疾患 演者: 加藤耕治 吉田健司 岡本伸彦 高野敏行 武内俊樹 座長: 小崎健次郎 岡本伸彦 S105	シンポジウム 2 10 : 10 ~ 12 : 10 障害児親子それぞれの 社会的自立 演者: 柴田 徹 田中智子 西野紀子 草野恵美子 小倉加恵子 座長: 田邊 良 小倉加恵子 S108	シンポジウム 3 10 : 10 ~ 12 : 10 遺伝性筋疾患の小児・成人 移行期医療 演者: 石垣景子 脇坂晃子 荒畑 創 谷口顕信 熊谷俊幸 山本洋史 座長: 齋藤利雄 尾方克久 S111	共同研究支援委員会 主催セミナー 10 : 10 ~ 12 : 10 臨床研究から 薬事承認への道のり 演者: 浅田隆太 白石秀明 小牧宏文 古賀靖敏 座長: 萩野谷和裕 遠山 潤 S161
11 : 00					
12 : 00					
13 : 00			ランチョンセミナー 1 12 : 25 ~ 13 : 15 Spinal muscular atrophy (SMA) 演者: Andres Nascimento-Osorio 座長: 齋藤加代子 S201	学術集会ランチョン企画 12 : 25 ~ 13 : 15 ネットワーク形成障害 としてみた脳性麻痺 演者: 横地健治 座長: 丸山幸一	ランチョンセミナー 2 12 : 25 ~ 13 : 15 小児のてんかんに特徴的な 症候群とその発作型 演者: 白石秀明 座長: 小林勝弘 S201
14 : 00	シンポジウム 4 [JSP①] 13 : 30 ~ 15 : 30 小児てんかん診療 update 2019 演者: 九鬼一郎 池田浩子 露崎 悠 日暮憲道 福山哲広 座長: 秋山倫之 福山哲広 S115	シンポジウム 5 13 : 30 ~ 15 : 30 中枢神経疾患に対する 遺伝子治療最前線 演者: 村松慎一 小坂 仁 伊藤孝司 井上 健 新堀洋介 座長: 大橋十也 山形崇倫 S118	シンポジウム 6 13 : 30 ~ 15 : 30 なぜ研究者が提案する 脳保護療法は臨床応用 されないのか 演者: 河野 剛 澤田雅人 松田 直 佐藤義朗 森岡一朗 座長: 若田欧介 高嶋幸男 S121	シンポジウム 7 13 : 30 ~ 15 : 30 小児痙縮の包括的治療 update 演者: 栗原 淳 金城 健 久保田雅也 萩野谷和裕 根本明宣 座長: 根津敦夫 師田信人 S124	Presidential talk event 13 : 30 ~ 15 : 30 Is glass ceiling present? Toward the equal opportunity of women in child neurology 演者: Randi J. Hagerman Linda Richards 高橋孝雄 鶴澤礼実 加賀佳美 Ying-Chao Chang 座長: 齋藤伸治 Ganeshwaran H. Mochida S150
15 : 00					
16 : 00	緊急企画 15 : 40 ~ 16 : 40 急性弛緩性麻痺 演者: 多屋馨子 森 壘 チョン ピンフィー 座長: 吉良龍太郎 安元佐和 S157	シンポジウム 8 15 : 40 ~ 17 : 10 小児片頭痛の診断と治療 演者: 安藤直樹 桑原健太郎 山中 岳 座長: 荒木 清 西村 陽 S127	シンポジウム 9 15 : 40 ~ 17 : 10 脳性麻痺児の実態把握に 関する調査 演者: 小林廉毅 前垣義弘 東田好広 下泉秀夫 後藤 励 座長: 岡 明 北住映二 S129	薬事小委員会主催セミナー1 15 : 40 ~ 17 : 40 緊急企画 「ケトンフォーミュラの 適正使用にむけて」 演者: 谷口顕信 青木菊麿 菅野貴浩 中村公俊 高橋幸利 座長: 中川栄二 高橋幸利 S164	「脳と発達」編集委員会 主催セミナー 15 : 40 ~ 17 : 10 論文宣読セミナー 演者: 山本俊至 藤井克則 加賀佳美 遠山 潤 福與なおみ 座長: 山本俊至 藤井克則 S170
17 : 00					
18 : 00					
19 : 00				医療安全委員会 主催セミナー 18 : 30 ~ 20 : 30 医療安全に関する WGからの提言 演者: 是松聖悟 下川尚子 山内秀雄 座長: 三牧正和 山中 岳 S172	小児痙縮ガイドライン 策定委員会主催セミナー 18 : 30 ~ 20 : 30 小児痙縮・ジストニアの 診療アルゴリズム 演者: 萩野谷和裕 根津敦夫 宮田世羽 金城 健 中村直行 座長: 荒井 洋 根本明宜 S174
20 : 00					

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第 61 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 1 日目〈5 月 31 日(金)〉

共通講習（医療倫理）単位取得可能セッション、**JARM**：日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位取得可能セッション

	第 6 会場 1 号館 4F	第 7 会場 4 号館 3F	第 8 会場 1 号館 3F	第 9 会場 1 号館 3F	ISS 口演会場 3 号館 3F	ポスター会場 1 号館 1F
8 : 00	レセプションホール(東)	会議室 431 + 432	会議室 131 + 132	会議室 133 + 134	国際会議室	イベントホール
9 : 00						
10 : 00					Keynote lecture 1 9 : 30 ~ 10 : 00 Speaker : Hiroyuki Kidokoro Chair : Akihisa Okumura	ポスター貼付け 8 : 30 ~ 11 : 30
11 : 00	優秀口演賞 1 10 : 10 ~ 11 : 10 O-001 ~ O-006 座長：中川栄二 山下裕史朗 S235	てんかん 診断 10 : 10 ~ 11 : 10 O-031 ~ O-036 座長：金村英秋 亀井 淳 S245	代謝性疾患 10 : 10 ~ 11 : 10 O-061 ~ O-066 座長：久保田一生 伊藤哲哉 S255	脳性麻痺 1 10 : 10 ~ 11 : 10 O-067 ~ O-072 座長：齋藤貴志 北井征宏 S257	Keynote lecture 2 10 : 00 ~ 10 : 45 Speaker : Gentaro Taga Chair : Hideo Yamanouchi	
12 : 00	優秀口演賞 2 11 : 10 ~ 12 : 10 O-007 ~ O-012 座長：小林勝弘 佐々木征行 S237	てんかん その他 11 : 10 ~ 12 : 10 O-037 ~ O-042 座長：菊池健二郎 下野九理子 S247	English Session 1 代謝，発達，中毒 11 : 10 ~ 12 : 10 E-001 ~ E-006 座長：福田冬季子 加藤善一郎 S219	不随意運動，基底核疾患 11 : 10 ~ 12 : 10 O-073 ~ O-078 座長：福水道郎 田中 肇 S259	Basic Neuroscience 10 : 45 ~ 12 : 00 Speakers : Heiko J. Luhmann Kimiko Deguchi Mi-Sun Yum Chair : Hiroshi Sakuma Heiko J. Luhmann	
13 : 00	ランチョンセミナー 3 12 : 25 ~ 13 : 15 ニーマン・ピック病C型の 診断・治療の現状と展望 演者：酒井規夫 座長：衛藤義勝 S202	20th ISSランチョンセミナー※ 12 : 25 ~ 13 : 15 てんかん病態を再考する 演者：柿田明美 日暮憲道 座長：奥村彰久	ランチョンセミナー 4 12 : 25 ~ 13 : 15 当施設でのてんかん外来患者 および入所重症心身障害児者 におけるカルニチン欠乏の実態 演者：皆川公夫 座長：位田 忍 S202	ランチョンセミナー 5 12 : 25 ~ 13 : 15 小児神経疾患に潜在する 遺伝性希少疾患 演者：重松秀夫 座長：荻野谷和裕 S203		
14 : 00	急性脳症 1 13 : 30 ~ 14 : 30 O-013 ~ O-018 座長：柏木 充 今高城治 S239	自閉症スペクトラム障害 13 : 30 ~ 14 : 30 O-043 ~ O-048 座長：中井昭夫 沖 潤一 S249	English Session 2 優秀English Session賞 1 13 : 30 ~ 14 : 30 E-007 ~ E-012 座長：三牧正和 加藤光広 S221	筋疾患 1 13 : 30 ~ 14 : 30 O-079 ~ O-084 座長：竹下絵里 石川幸辰 S261	Neuroimaging 13 : 30 ~ 14 : 40 Speakers : David Edwards Tetsu Niwa Katsumi Hayakawa Chair : Jun Natsume David Edwards	ポスター閲覧 11 : 30 ~ 17 : 00
15 : 00	急性脳症 2 14 : 30 ~ 15 : 30 O-019 ~ O-024 座長：多田弘子 瀬戸俊之 S241	自閉症・ADHD・発達 14 : 30 ~ 15 : 30 O-049 ~ O-054 座長：福井美保 林 雅晴 S251	English Session 3 優秀English Session賞 2 14 : 30 ~ 15 : 30 E-013 ~ E-018 座長：山内秀雄 廣瀬伸一 S223	筋疾患 2 14 : 30 ~ 15 : 30 O-085 ~ O-090 座長：石垣景子 池田真理子 S263	Abstract 1 14 : 40 ~ 15 : 10 Chair : Tetsuo Kubota	
16 : 00	てんかん 社会問題 15 : 30 ~ 16 : 30 O-025 ~ O-030 座長：後藤知英 宮本雄策 S243	学習障害 15 : 30 ~ 16 : 30 O-055 ~ O-060 座長：関 あゆみ 小枝達也 S253	English Session 4 神経・筋疾患 15 : 30 ~ 16 : 30 E-019 ~ E-024 座長：石川悠加 竹島泰弘 S225	遺伝・遺伝子異常 1 15 : 30 ~ 16 : 30 O-091 ~ O-096 座長：栗屋智就 岡本伸彦 S265	Genetics 15 : 10 ~ 16 : 25 Speakers : Katherine Howell Atsushi Ishii Cheuk-Wing Fung Chair : Katherine Howell Atsushi Ishii	
17 : 00						
18 : 00						ポスター発表 17 : 00 ~ 17 : 45 (演題番号：奇数)
						17 : 45 ~ 18 : 30 (演題番号：偶数)
19 : 00	第4回小児免疫性神経 筋疾患研究会 (MG/CIDP研究会) 18 : 30 ~ 20 : 30 MG/CIDPの治療奏功例 に学ぶ／先天性筋無力 症候群の基礎と臨床	社会活動広報委員会 主催セミナー 18 : 30 ~ 20 : 30 自分たちが住む地域の 災害対応力を高める 演者：井田孔明 木村重美 高田 哲 内山登紀夫 浅野 睦 座長：木村重美 米山 明 S177	第13回 子どもの眠り研究会 18 : 30 ~ 20 : 30 養育者への子どもの 眠りに関する啓発			ポスター撤去 18 : 30 ~ 19 : 00
20 : 00						

※20th ISS 登録者のみ参加可能。海外参加者優先。

第 61 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 2 日目〈6 月 1 日(土)〉

[JSCN]: 日本小児神経学会専門医研修単位, [JSP①]: 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, [JSP②]: 日本小児科学会小児科専門医

	第 1 会場 1 号館 2F センチュリーホール	第 2 会場 4 号館 1F 白鳥ホール(北)	第 3 会場 4 号館 1F 白鳥ホール(南)	第 4 会場 1 号館 4F 会議室 141 + 142	第 5 会場 1 号館 4F レセプションホール(西)
8 : 00					
9 : 00					
10 : 00	海外招待講演 [JSCN] 9 : 00 ~ 10 : 00 Targeted treatments for fragile X syndrome 演者: Randi J. Hagerman 座長: 難波栄二 S80				
11 : 00	企画シンポジウム 2 10 : 10 ~ 12 : 10 脳形成障害の最先端 演者: Linda Richards Ganeshwaran H. Mochida 高梨潤一 加藤光広 座長: 齋藤伸治 加藤光広 S102	教育講演 1 [JSCN JARM] (初級者向け) 10 : 10 ~ 11 : 10 新生児, 乳児期早期の発達評価 演者: 前田知己 座長: 萩野谷和裕 S83	教育講演 2 [JSCN JSP①] 10 : 10 ~ 11 : 10 HHV-6の中樞神経病原性に関する最近の話題 演者: 吉川哲史 座長: 吉良龍太郎 S84	シンポジウム 10 10 : 10 ~ 12 : 10 重篤な神経疾患を抱える こどもの緩和ケア 演者: 岡崎 伸 下畑享良 笹月桃子 余谷暢之 座長: 前垣義弘 余谷暢之 S132	シンポジウム 11 10 : 10 ~ 12 : 10 iPS細胞とゲノム編集が 変える小児医療 演者: 藤井克則 北畠康司 曾根正光 宮下俊之 座長: 藤井克則 宮下俊之 S135
12 : 00		教育講演 3 [JSCN JARM] (初級者向け) 11 : 15 ~ 12 : 15 小児神経疾患の診察の仕方 演者: 佐々木征行 座長: 久保田雅也 S85	教育講演 4 [JSCN] 11 : 15 ~ 12 : 15 神経代謝疾患に対する 新たな治療戦略 演者: 酒井規夫 座長: 大竹 明 S86		
13 : 00		ランチョンセミナー 6 12 : 25 ~ 13 : 15 新規抗てんかん薬と 小児てんかん薬物療法 演者: 中川栄二 座長: 山本 仁 S203	ランチョンセミナー 7 12 : 25 ~ 13 : 15 結節性硬化症の 治療最前線 演者: 下野九理子 座長: 高橋幸利 S204	ランチョンセミナー 8 12 : 25 ~ 13 : 15 症例や病態からみる ADHDの治療戦略 演者: 岡 牧郎 座長: 友田明美 S204	ランチョンセミナー 9 12 : 25 ~ 13 : 15 SMA therapy update 演者: 竹島泰弘 Douglas Sproule 座長: 齋藤加代子 S205
14 : 00	シンポジウム 12 [JSP①] 13 : 30 ~ 15 : 30 発達障害診療 update 2019 演者: 山崎知克 吉川 徹 小枝達也 浅井朋子 座長: 宮地泰士 大橋 圭 S138		教育講演 5 [JSCN] 13 : 30 ~ 14 : 30 体内時計はいつ 形成されるか 演者: 八木田和弘 座長: 山下裕史朗 S87	シンポジウム 13 13 : 30 ~ 15 : 30 不随意運動の基礎と臨床 演者: 知見聡美 柴崎 浩 熊田聡子 宇川義一 座長: 熊田聡子 宇川義一 S141	シンポジウム 14 13 : 30 ~ 15 : 30 自己抗体介在性脳疾患 診療の進歩 演者: 金子仁彦 松岡貴子 小俣 卓 高橋幸利 座長: 高橋幸利 佐久間 啓 S144
15 : 00		教育講演 6 [JSCN] 14 : 40 ~ 15 : 40 筋強直性ジストロフィー の治療開発 演者: 中森雅之 座長: 松村 剛 S88	教育講演 7 [JSCN] 14 : 40 ~ 15 : 40 患者さんとうすりを結ぶ 演者: 三澤園子 座長: 藤井克則 S89		
16 : 00	共催シンポジウム 15 : 40 ~ 17 : 10 脊髄性筋萎縮症(SMA) 演者: 松井彩乃 小幡典彦 長谷川三希子 座長: 小牧宏文 石垣景子 S159	教育講演 8 [JSCN] 15 : 50 ~ 16 : 50 生体イメージングによって 解き明かす脳免疫細胞の 生理機能と中枢神経疾患 演者: 和氣弘明 座長: 村松一洋 S90	優秀論文賞 授賞式 ミニ講演会 15 : 50 ~ 16 : 20		
17 : 00					
18 : 00					
19 : 00					

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

会員懇親会(ISS合同)
19 : 00 ~ (予定)
会場: 名古屋港水族館

第 61 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 2 日目〈6 月 1 日(土)〉

共通講習（医療倫理）単位取得可能セッション, [JARM]: 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位取得可能セッション

	第 6 会場 1 号館 4F	第 7 会場 4 号館 3F	第 8 会場 1 号館 3F	第 9 会場 1 号館 3F	ISS 口演会場 3 号館 3F	ポスター会場 1 号館 1F
8:00	レセプションホール(東)	会議室 431 + 432	会議室 131 + 132	会議室 133 + 134	国際会議室	イベントホール
9:00					Keynote lecture 3 9:00 ~ 9:45 Speaker: Geraldine B. Boylan Chair: Akihisa Okumura	ポスター貼付け 8:30 ~ 11:30
10:00					Keynote lecture 4 9:45 ~ 10:45 Speaker: Sampsa Vanhatalo Chair: Akira Oka	
11:00	急性脳症 3 10:10 ~ 11:10 O-097 ~ O-102 座長: 中澤友幸 佐久間 啓 S267	発達障害 10:10 ~ 11:10 O-127 ~ O-132 座長: 須藤 章 小沢 浩 S277	脊髄性筋萎縮症 1 10:10 ~ 11:10 O-157 ~ O-162 座長: 村上てるみ 藤井達哉 S287	遺伝・遺伝子異常 2 10:10 ~ 11:10 O-169 ~ O-174 座長: 伊藤弘道 高橋 悟 S291	Abstract 2 10:45 ~ 11:05 Chair: Shin-ichiro Hamano	
12:00	自己免疫性脳炎 11:10 ~ 12:10 O-103 ~ O-108 座長: 糸見和也 鳥巢浩幸 S269	発達 11:10 ~ 12:10 O-133 ~ O-138 座長: 石川暢恒 島川修一 S279	脊髄性筋萎縮症 2 11:10 ~ 12:10 O-163 ~ O-168 座長: 栗野宏之 石山昭彦 S289	神経変性疾患と末梢神経 11:10 ~ 12:10 O-175 ~ O-180 座長: 阿部裕一 青天目 信 S293	Clinical aspects 11:05 ~ 12:20 Speakers: Courtney Wusthoff Tetsuo Kubota Rhea Salonga Quimpo Derrick Wei-Shih Chan Chair: Kenjiro Kikuchi Courtney Wusthoff	
13:00	ランチョンセミナー 10 12:25 ~ 13:15 ファブリー病の小児期症状 演者: 中里良彦 座長: 伊藤哲哉 S206		ランチョンセミナー 11 12:25 ~ 13:15 産学連携研究を中心とした自閉 スペクトラム症の最近の話題 演者: 菊知 充 座長: 小枝達也 S206	ランチョンセミナー 12 12:25 ~ 13:15 稀少難病 演者: 成田 綾 遠山 潤 座長: 衛藤義勝 S207		ポスター閲覧 11:30 ~ 16:30
14:00	てんかん 治療 1 13:30 ~ 14:30 O-109 ~ O-114 座長: 岩崎俊之 今村 淳 S271	在宅・福祉・支援 13:30 ~ 14:30 O-139 ~ O-144 座長: 田中総一郎 田沼直之 S281	English Session 5 遺伝・遺伝子異常 13:30 ~ 14:30 E-025 ~ E-030 座長: 武内俊樹 小坂 仁 S227	血管障害・外科 13:30 ~ 14:30 O-181 ~ O-186 座長: 稲葉雄二 澤石由記夫 S295	Treatment 1 13:30 ~ 15:30 Speakers: Ronit M Pressler Akihito Takeuchi Jun Shibasaki Suzanne Davis Dilek Yalnizoglu Sangita Dharshini Terumalay Chair: Masahiro Hayakawa Ronit Pressler	
15:00	てんかん 治療 2 14:30 ~ 15:30 O-115 ~ O-120 座長: 本田涼子 師田信人 S273	脳性麻痺 2 14:30 ~ 15:30 O-145 ~ O-150 座長: 丸山幸一 赤坂紀幸 S283	English Session 6 けいれん, 電気生理, 新生児 14:30 ~ 15:30 E-031 ~ E-036 座長: 白石秀明 遠山 潤 S229	精神・頭痛・自律神経 14:30 ~ 15:30 O-187 ~ O-192 座長: 山中 岳 川谷正男 S297		
16:00	新生児・早産児・ 周産期脳障害 15:30 ~ 16:30 O-121 ~ O-126 座長: 加藤 徹 植松 貢 S275	免疫・感染 15:30 ~ 16:30 O-151 ~ O-156 座長: 福與なおみ 吉良龍太郎 S285	English Session 7 てんかん 15:30 ~ 16:30 E-037 ~ E-042 座長: 日暮憲道 藤本礼尚 S231	筋疾患 3 15:30 ~ 16:30 O-193 ~ O-198 座長: 米川貴博 本橋裕子 S299	Treatment 2 15:30 ~ 16:45 Speakers: Alistair Jan Gunn Masahiro Tsuji Yoshiaki Sato Yi-Fang Tu Chair: Hideaki Shiraishi Alistair Jan Gunn	
17:00						ポスター発表 16:30 ~ 17:15 (演題番号: 奇数)
18:00						17:15 ~ 18:00 (演題番号: 偶数)
19:00						ポスター撤去 18:00 ~ 18:30

第 61 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 3 日目〈6 月 2 日(日)〉

[JSCN]: 日本小児神経学会専門医研修単位, [JSP①]: 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, [JSP②]: 日本小児科学会小児科専門医

	第 1 会場 1 号館 2F センチュリーホール	第 2 会場 4 号館 1F 白鳥ホール(北)	第 3 会場 4 号館 1F 白鳥ホール(南)	第 4 会場 1 号館 4F 会議室 141 + 142
8 : 00				
9 : 00	倫理委員会・COI委員会 共催セミナー 8 : 40 ~ 9 : 40 臨床研究をめぐる最近の話題 演者: 伏木信次 座長: 伊東恭子 S180	教育講演 9 (初級者向け) 9 : 00 ~ 10 : 00 小児てんかん診療における 初めの一歩 演者: 浜野晋一郎 座長: 白石秀明 S91	教育講演 10 9 : 00 ~ 10 : 00 あなたは、わが子の死を 願ったことがありますか? 演者: 佐々百合子 座長: 澤石由記夫 S92	薬事小委員会主催セミナー2 9 : 00 ~ 11 : 00 小児神経領域における 新規薬剤の効能と注意点 演者: 小牧宏文 遠藤文香 中川栄二 成田 綾 座長: 中川栄二 吉永治美 S167
10 : 00	ISS合同シンポジウム 9 : 50 ~ 12 : 20 Advance in neonatal neurology 演者: Sampsa Vanhatalo Geraldine B. Boylan Ronit M. Pressler Ritsuko K. Pooh 座長: Sampsa Vanhatalo 奥村彰久 S147	教育講演 11 (初級者向け) 10 : 10 ~ 11 : 10 ミトコンドリア病診療の基礎 演者: 三牧正和 座長: 岡 明 S93	教育講演 12 10 : 10 ~ 11 : 10 ATR-X症候群 演者: 和田敬仁 座長: 山下純正 S94	教育講演 15 11 : 20 ~ 12 : 20 てんかん外科治療の 適切なタイミング 演者: 川合謙介 座長: 榎 日出夫 S97
11 : 00		教育講演 13 11 : 20 ~ 12 : 20 骨格筋研究から見える 生命現象の不思議 演者: 林 由起子 座長: 小牧宏文 S95	教育講演 14 (初級者向け) 11 : 20 ~ 12 : 20 神経発達症の診断と治療 演者: 中川栄二 座長: 宮地泰士 S96	
12 : 00		ランチョンセミナー 13 12 : 35 ~ 13 : 25 小児てんかんの診療を通じて 考える医療の安全と安心 演者: 高橋孝雄 座長: 大澤眞木子 S208		ランチョンセミナー 14 12 : 35 ~ 13 : 25 子どもの健やかな育ちのための マルトリートメント予防と 養育者支援 演者: 友田明美 座長: 谷池雅子 S208
13 : 00	閉会式 13 : 30 ~ 13 : 40			
14 : 00	市民公開講座 13 : 40 ~ 15 : 40 多様性を力に変える: 障害児者を支える医療・社会 開会の挨拶: 齋藤伸治 【基調講演】 演者: 野田聖子 座長: 野田正治 【シンポジウム】 演者: 宮地泰士 山崎尚樹 三浦清邦 鈴木由夫 座長: 夏目 淳 三浦清邦 S214			
15 : 00				
16 : 00				

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第 61 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 3 日目〈6月2日(日)〉

共通講習（医療倫理）単位取得可能セッション、**JARM**：日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位取得可能セッション

	第 5 会場 1 号館 4F	第 6 会場 1 号館 4F	第 7 会場 4 号館 3F	第 8 会場 1 号館 3F	第 9 会場 1 号館 3F
	レセプションホール(西)	レセプションホール(東)	会議室 431 + 432	会議室 131 + 132	会議室 133 + 134
8 : 00					
9 : 00					
10 : 00	アジア企画 9 : 00 ~ 11 : 30 アジア各国における 診療の多様性 ーWest症候群のstandard therapyについてー 演者：Rhea Angela M Salonga-Quimpo Derrick Wei-Shih Chan Dilek Yalnizoglu 秋山倫之 座長：大坪 宏 Derrick Wei-Shih Chan S154	長期計画委員会 ワークショップ 9 : 00 ~ 12 : 00 長期計画委員会から 理事会への提言案 演者：岩崎信明 口分田政夫 島川修一 座長：神山 潤 友田明美 S181	国際化推進委員会 主催セミナー 9 : 00 ~ 11 : 00 学術集会の国際化を みんなで考える シンポジウム 演者：石原尚子 本田 浩 山本 仁 廣瀬伸一 座長：高橋孝雄 加藤光広 S183		
11 : 00				共催セミナー 1 11 : 00 ~ 12 : 00 小児における けいれん・てんかん重積 状態への救急対応は どう変わるか？ 演者：浜野晋一郎 座長：大塚頌子 S213	共催セミナー 2 ハンズオンセミナー 10 : 00 ~ 12 : 00 難治性てんかんに対する 迷走神経刺激療法(VNS) 演者：武岡正方 座長：本田涼子 S213
12 : 00					
13 : 00	ランチョンセミナー 15 12 : 35 ~ 13 : 25 結節性硬化症に伴う 皮膚病変 演者：岡西 徹 金田真理 座長：山本 仁 S209	ランチョンセミナー 16 12 : 35 ~ 13 : 25 発達障害のアセスメントと その活用 演者：船曳康子 座長：宮本信也 S210	ランチョンセミナー 17 12 : 35 ~ 13 : 25 筋疾患の診断ポイント 演者：服部文子 成田 綾 座長：岡 明 S210	ランチョンセミナー 18 12 : 35 ~ 13 : 25 Spinal muscular atrophy (SMA) past, present and future 演者：Laurent Servais 座長：西尾久英 S211	ランチョンセミナー 19 12 : 35 ~ 13 : 25 Gene therapy update 演者：村松慎一 Petra Kaufmann 座長：山形崇倫 S212
14 : 00		第11回 日本小児免疫性脳炎研究会 13 : 40 ~ 14 : 40 自然免疫と小児神経疾患		実践教育セミナー8 13 : 40 ~ 15 : 40 第6回 遺伝学実践教育セミナー 山本俊至 山形崇倫 小坂 仁 酒井康成 和田敬仁 S200	
15 : 00	第4回小児ニューロ リハビリテーション研究会・ 第4回超早産児神経発達症 研究会 13 : 40 ~ 15 : 40 超早産児脳の最近の知見				
16 : 00					

ポスターセッション 第 1 日目 5 月 31 日(金)

	ポスター会場		
	イベントホール(1 号館 1F)		
8 : 30	ポスター貼付け 8 : 30 ~ 11 : 30		
11 : 30	ポスター閲覧 11 : 30 ~ 17 : 00		
16 : 30			
17 : 00	ポスター発表(フリーディスカッション形式)		
	演題番号(奇数) 17 : 00 ~ 17 : 45 演題番号(偶数) 17 : 45 ~ 18 : 30		
	優秀ポスター賞	P-001 ~ P-010	… S303
	遺伝(症例)	P-011 ~ P-016	… S306
	遺伝(染色体)	P-017 ~ P-022	… S308
	遺伝(研究)	P-023 ~ P-025	… S310
	遺伝(不随意運動)	P-026 ~ P-028	… S311
	神経皮膚症候群・先天異常	P-029 ~ P-034	… S312
	発達(治療)	P-035 ~ P-037	… S314
	発達(評価法, その他)	P-038 ~ P-044	… S315
	療育・支援	P-045 ~ P-053	… S317
	てんかん(薬物療法)	P-054 ~ P-064	… S320
	てんかん(診断・遺伝子)	P-065 ~ P-077	… S324
	画像・発作症状	P-078 ~ P-083	… S328
	脊髄性筋萎縮症	P-084 ~ P-096	… S330
	急性弛緩性麻痺	P-097 ~ P-102	… S335
	急性脳症(けいれん重積型)	P-103 ~ P-106	… S337
	急性脳症(その他)	P-107 ~ P-111	… S338
	ウィルス感染・小脳炎	P-112 ~ P-120	… S340
	血管障害	P-121 ~ P-124	… S343
	脳外科領域	P-125 ~ P-128	… S344
	頭痛	P-129 ~ P-132	… S345
	精神	P-133 ~ P-135	… S347
	新生児・周産期脳障害	P-136 ~ P-143	… S348
	栄養	P-144 ~ P-146	… S350
	脳性麻痺	P-147 ~ P-156	… S351
	重心・在宅	P-157 ~ P-166	… S355
18 : 00			
18 : 30	ポスター撤去 18 : 30 ~ 19 : 00		
19 : 00			

第 2 日目 6 月 1 日(土)

	ポスター会場		
	イベントホール(1 号館 1F)		
	ポスター貼付け 8 : 30 ~ 11 : 30		
	ポスター閲覧 11 : 30 ~ 16 : 30		
	ポスター発表(フリーディスカッション形式)		
	演題番号(奇数) 16 : 30 ~ 17 : 15 演題番号(偶数) 17 : 15 ~ 18 : 00		
	優秀ポスター賞(※掲示のみ)	P-001 ~ P-010	… S303
	遺伝(大脳形成)	P-167 ~ P-174	… S358
	遺伝(小脳形成)	P-175 ~ P-180	… S361
	遺伝(発達障害)	P-181 ~ P-190	… S363
	先天異常	P-191 ~ P-194	… S366
	てんかん(治療)	P-195 ~ P-211	… S367
	てんかん(外科治療)	P-212 ~ P-220	… S373
	てんかん(症例)	P-221 ~ P-226	… S376
	てんかん(発達・トランジション)	P-227 ~ P-229	… S378
	電気生理	P-230 ~ P-232	… S379
	ADHD	P-233 ~ P-238	… S380
	発達障害(支援)	P-239 ~ P-244	… S382
	筋疾患	P-245 ~ P-252	… S384
	急性脳症(けいれん重積型)	P-253 ~ P-258	… S387
	抗MOG抗体関連疾患	P-259 ~ P-264	… S389
	脱髄性疾患・脊髄炎	P-265 ~ P-270	… S391
	自己免疫性疾患 1	P-271 ~ P-276	… S393
	自己免疫性疾患 2	P-277 ~ P-280	… S395
	感染	P-281 ~ P-283	… S396
	代謝	P-284 ~ P-296	… S397
	神経変性疾患	P-297 ~ P-299	… S401
	末梢神経	P-300 ~ P-306	… S402
	不随意運動, 基底核疾患	P-307 ~ P-312	… S405
	睡眠	P-313 ~ P-319	… S407
	ポスター撤去 18 : 00 ~ 18 : 30		

プログラム

S29 ~ S76



会長講演 (S79)

5 月 31 日 (金) 8:25~8:55 第 1 会場

座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
多様性が支える小児神経学：小児神経学の未来を探る
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

海外招待講演 (S80)

6 月 1 日 (土) 9:00~10:00 第 1 会場

座長 難波栄二 (鳥取大学研究推進機構研究戦略室/遺伝子診療科)
Targeted treatments for fragile X syndrome
Randi J. Hagerman (University of California Davis Medical Center, USA)

福山幸夫先生記念講演 (S81, 82)

5 月 31 日 (金) 9:00~10:00 第 1 会場

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学)
A journey in search of excellence in clinical service and research as a child neurologist in Taiwan
Chao-Ching Huang (Department of Pediatrics, College of Medicine, National Cheng Kung University, Taipei Medical University, President of Taiwan Child Neurology Society)

教育講演 (S83~97)

教育講演 1 (初級者向け)

6 月 1 日 (土) 10:10~11:10 第 2 会場

座長 萩野谷和裕 (宮城県立こども病院神経科)
新生児、乳児期早期の発達評価 —General Movements 評価法を中心に—
前田知己 (大分大学医学部小児科)

教育講演 2

6 月 1 日 (土) 10:10~11:10 第 3 会場

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)
HHV-6 の中枢神経病原性に関する最近の話題
吉川哲史 (藤田医科大学医学部小児科)

教育講演 3 (初級者向け)

6 月 1 日 (土) 11:15~12:15 第 2 会場

座長 久保田雅也 (国立成育医療研究センター病院神経内科)
小児神経疾患の診察の仕方
佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

教育講演 4

6 月 1 日 (土) 11:15~12:15 第 3 会場

座長 大竹 明 (埼玉医科大学小児科・難病センター小児科)
神経代謝疾患に対する新たな治療戦略
酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

教育講演 5

6 月 1 日 (土) 13:30~14:30 第 3 会場

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科)
体内時計はいつ形成されるか
八木田和弘 (京都府立医科大学統合生理学)

教育講演 6

6 月 1 日 (土) 14:40~15:40 第 2 会場
座長 松村 剛 (国立病院機構大阪刀根山医療センター神経内科)
筋強直性ジストロフィーの治療開発
中森雅之 (大阪大学医学系研究科神経内科学)

教育講演 7

6 月 1 日 (土) 14:40~15:40 第 3 会場
座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学系研究院小児病態学)
患者さんとくすりを結ぶ: 臨床医であることを生かした医薬品開発
三澤園子 (千葉大学医学部附属病院脳神経内科)

教育講演 8

6 月 1 日 (土) 15:50~16:50 第 2 会場
座長 村松一洋 (自治医科大学小児科)
生体イメージングによって解き明かす脳免疫細胞の生理機能と中枢神経疾患
和氣弘明 (神戸大学大学院医学研究科システム生理学分野)

教育講演 9 (初級者向け)

6 月 2 日 (日) 9:00~10:00 第 2 会場
座長 白石秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)
小児てんかん診療における初めの一步: 最近の変化と望まれる対応
浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

教育講演 10

6 月 2 日 (日) 9:00~10:00 第 3 会場
座長 澤石由記夫 (秋田県立医療療育センター)
あなたは、わが子の死を願ったことがありますか? —2 年 3 カ月を駆け抜けた重い障害を持つ子との日々—
佐々百合子 (特定非営利活動法人 NAO のたまご)

教育講演 11 (初級者向け)

6 月 2 日 (日) 10:10~11:10 第 2 会場
座長 岡 明 (東京大学大学院医学系研究科医学部小児科)
ミトコンドリア病診療の基礎
三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

教育講演 12

6 月 2 日 (日) 10:10~11:10 第 3 会場
座長 山下純正 (神奈川県立こども医療センター)
ATR-X 症候群
和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

教育講演 13

6 月 2 日 (日) 11:20~12:20 第 2 会場
座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
骨格筋研究から見える生命現象の不思議
林 由起子 (東京医科大学医学部病態生理学分野)

教育講演 14 (初級者向け)

6 月 2 日 (日) 11:20~12:20 第 3 会場
座長 宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)
神経発達症の診断と治療
中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

教育講演 15

6 月 2 日 (日) 11:20~12:20 第 4 会場
座長 榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター)
てんかん外科治療の適切なタイミング
川合謙介 (自治医科大学医学部脳神経外科)

シンポジウム (S98~149)

企画シンポジウム 1: 急性脳炎・脳症 —これからの診断と治療—

5月31日(金) 10:10~12:10 第1会場

座長 前垣義弘(鳥取大学医学部脳神経小児科)
山本啓之(名古屋大学大学院医学系研究科小児科学)

- 1) 東海小児神経研究会における症例登録の現況と課題
根岸 豊(岐阜県立多治見病院小児科)
- 2) 疾患レジストリーへの展開 Baby Cooling Japan 低体温療法全国登録事業の経験から
岩田欧介(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
- 3) 脳波モニタリングを用いた治療介入
山本啓之(名古屋大学大学院医学系研究科小児科学)
- 4) 急性脳炎・脳症における代謝物分析
秋山倫之(岡山大学小児神経科)
- 5) 全身管理 —小児集中治療の現場から—
沼口 敦¹, 夏目 淳², 城所博之²
(名古屋大学医学部附属病院救急内科系集中治療部¹, 名古屋大学医学部小児科²)
- 6) 病態仮説に基づいたいれん重積型急性脳症の新規治療の試み
松尾宗明¹, 前田寿幸¹, 一ノ瀬文男¹, 田島大輔², 宇田恵子³, 中村拓自⁴
(佐賀大学医学部小児科¹, 唐津赤十字病院², 佐賀県医療センター好生館³, NHO 嬉野医療センター⁴)

企画シンポジウム 2: 脳形成障害の最先端: 分子機構から病態に基づいた治療まで

6月1日(土) 10:10~12:10 第1会場

座長 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
加藤光広(昭和大学医学部小児科)

- 1) 【Keynote Lecture】 Mechanisms regulating corpus callosum formation, ventricular size, megalencephaly and brain cancer
Linda Richards (The University of Queensland, Queensland Brain Institute, Brisbane, Australia)
- 2) 脳形成障害の分類と診断
Ganeshwaran H. Mochida
(Boston Children's Hospital, USA, Massachusetts General Hospital, USA, Harvard Medical School, USA)
- 3) 脳幹・小脳発生異常の画像診断
高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 4) 原因に基づいた脳形成障害の治療展望
加藤光広(昭和大学医学部小児科)

シンポジウム 1: IRUD と小児神経疾患

5月31日(金) 10:10~12:10 第2会場

座長 小崎健次郎(慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)
岡本伸彦(大阪母子医療センター遺伝診療科)

- 1) 希少疾患の診断を契機とする病態解析について
加藤耕治^{1,2}, 齋藤伸治¹
(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹, 名古屋大学環境医学研究所発生・遺伝分野²)
- 2) IRUD プロジェクトにおける診療拠点としての立場から
吉田健司¹, 横山淳史¹, 中川奈保子², 和田敬仁^{2,3}, 小杉真司^{2,3}(京都大学大学院医学研究科小児科¹, 京都大学医学部附属病院遺伝子診療部², 京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野³)
- 3) 小児神経疾患における形態学的な表現型的重要性について
岡本伸彦(大阪母子医療センター遺伝診療科)
- 4) ゲノムだけでは解決しないバリエーションに対する機能解析のアプローチ “IRUD Beyond” について
高野敏行¹, 佐貫理佳子¹, 松原光平¹, 茨木公英², 佐藤克則³, 大岩航陽³
(京都工芸繊維大学昆虫先端研究推進拠点ショウジョウバエ遺伝資源研究部門¹, 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科², 京都工芸繊維大学工芸科学部³)
- 5) 新規疾患同定と治療法の開発についての展望
武内俊樹(慶應義塾大学医学部小児科)

シンポジウム 2：障害児親子それぞれの社会的自立 ―多様なあり方、多様な支援―

5月31日（金）10:10～12:10 第3会場

座長 田邊 良（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

小倉加恵子（国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス科）

- 1) 無知の善意は、時には悪意と同じである
柴田 徹、吹上謙一、松山元昭、奥野杏子（ボバース記念病院小児整形外科）
- 2) 成人期知的障害者をケアする家族の臨界
田中智子（佛教大学社会福祉学部）
- 3) 療育現場の現状と今後の課題
西野紀子（社会福祉法人愛徳福祉会大阪発達総合療育センターあさしお園）
- 4) 障害児親子へのライフステージを通じた地域支援
草野恵美子（大阪医科大学看護学部公衆衛生看護学領域）
- 5) 障害児親子の社会的自立に向けた新たな取り組み
小倉加恵子（国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス科）

シンポジウム 3：遺伝性筋疾患の小児―成人移行期医療：患者がより良い生活と人生を送るために

5月31日（金）10:10～12:10 第4会場

座長 齊藤利雄（国立病院機構大阪刀根山医療センター）

尾方克久（国立病院機構東埼玉病院）

- 1) 遺伝性筋疾患患者の小児科から成人診療科への理想的なトランジションを目指して
石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）
- 2) 小児神経科の立場からの神経筋専門施設におけるトランジション
脇坂晃子（国立病院機構医王病院小児科）
- 3) 神経内科の立場からの神経筋専門施設におけるトランジション
荒畑 創（独立行政法人国立病院機構大牟田病院脳神経内科）
- 4) 移行期医療支援体制の整備について
谷口顕信（厚生労働省健康局難病対策課）
- 5) 在宅訪問診療と成人期移行支援
熊谷俊幸（くま在宅クリニック）
- 6) リハビリテーションから見たトランジション
山本洋史（国立病院機構兵庫中央病院リハビリテーション科）

シンポジウム 4：小児てんかん診療 update 2019

5月31日（金）13:30～15:30 第1会場

座長 秋山倫之（岡山大学小児神経科）

福山哲広（信州大学医学部新生児学・療育学講座）

- 1) 結節性硬化症と限局性皮質異形成
九鬼一郎
（大阪市立総合医療センター小児神経内科、大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター）
- 2) 特発性てんかん
池田浩子（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター）
- 3) 代謝異常症によるてんかん
露崎 悠（神奈川県立こども医療センター神経内科）
- 4) 遺伝子異常によるてんかん
日暮憲道（東京慈恵会医科大学小児科、福岡大学てんかん分子病態研究所）
- 5) 免疫介在てんかん
福山哲広（信州大学医学部新生児学・療育学講座）

シンポジウム 5：中枢神経疾患に対する遺伝子治療最前線

5月31日（金）13:30～15:30 第2会場

座長 大橋十也（東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部・小児科）

山形崇倫（自治医科大学小児科）

- 1) AAV ベクターを用いた遺伝子治療の基本と現況
村松慎一（自治医科大学神経内科、東京大学医科学研究所遺伝子・細胞治療センター）
- 2) AADC 欠損症臨床研究の経過と GLUT1 欠損症への遺伝子治療法開発
小坂 仁¹、中村幸恵¹、小島華林¹、村松慎一²、山形崇倫¹
（自治医科大学小児科¹、自治医科大学神経内科²）
- 3) Tay-Sachs 病に対する遺伝子治療法開発
伊藤孝司¹、大西恭哉¹、辻 大輔¹、村松慎一²
（徳島大学大学院医歯薬学研究部創薬生命工学分野¹、自治医科大学神経内科²）

4) Pelizaeus-Merzbacher 病に対する遺伝子治療

井上 健 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)

5) Dravet モデルマウスの行動解析と遺伝子治療

新堀洋介, Shiron Lee, David Hampson (トロント大学薬学部)

シンポジウム 6: なぜ研究者が提案する脳保護療法は臨床応用されないのか

5 月 31 日 (金) 13:30~15:30 第 3 会場

座長 岩田欧介 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

高嶋幸男 (柳川療育センター, 国際医療福祉大学大学院)

1) 抜群の基礎的実績を持つキセノンガス (Xe) はなぜ臨床試験で失速したのか

河野 剛 (聖マリア病院小児科)

2) 基礎研究者が患者として経験した新生児脳疾患医療から得たもの

澤田雅人 (名古屋市立大学大学院医学研究科再生医学分野)

3) 胎児病態生理学を臨床応用上での課題について

松田 直^{1,2}, 埴田卓志¹, 渡邊真平¹, 佐藤信一¹ (東北大学医学部小児科¹, 八戸市立市民病院小児科²)

4) これから応用される研究は確実なステップを踏んでいるのか?

佐藤義朗¹, 清水 忍² (名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門¹, 名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部²)

5) これからの神経科学の進歩と脳保護療法の臨床応用のためになにをすべきか?

森岡一朗 (日本大学医学部小児科)

シンポジウム 7: 小児痙縮の包括的治療 update

5 月 31 日 (金) 13:30~15:30 第 4 会場

座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南神経小児科)

師田信人 (北里大学脳神経外科)

1) 痙縮に対する選択的脊髄後根切断術の適応と限界

栗原 淳 (埼玉県立小児医療センター脳神経外科)

2) 小児脳性麻痺における多職種・多施設チームアプローチでの小児整形外科医の役割

金城 健¹, 大石央代¹, 我謝猛次¹, 栗國敦男¹, 安里 隆² (沖縄県立南部医療センターこども医療センター整形外科¹, 沖縄県立南部医療センターこども医療センターリハビリテーション科²)

3) バックロフェン持続髄注療法 (ITB 療法) の痙縮治療の中での位置付け

久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)

4) 小児神経の立場から: 薬物療法

萩野谷和裕 (宮城県立こども病院神経科)

5) リハビリテーション科の立場から: 痙縮の評価とリハビリテーション

根本明宣 (横浜市立大学医学部医療情報学)

シンポジウム 8: 小児片頭痛の診断と治療

5 月 31 日 (金) 15:40~17:10 第 2 会場

座長 荒木 清 (東京都済生会中央病院小児科)

西村 陽 (京都第一赤十字病院新生児科)

1) 小児片頭痛の診断

安藤直樹 (城西こどもクリニック)

2) 小児片頭痛の急性期治療

桑原健太郎 (広島市立広島市民病院小児科)

3) 小児片頭痛の予防療法

山中 岳 (東京医科大学小児科)

シンポジウム 9: 脳性麻痺児の実態把握に関する調査

5 月 31 日 (金) 15:40~17:10 第 3 会場

座長 岡 明 (東京大学大学院医学系研究科医学部小児科)

北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)

1) 鳥取県, 徳島県, 栃木県の脳性麻痺の発生率等に関する調査

小林廉毅 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)

2) 鳥取県の脳性麻痺の発生率

前垣義弘, 山田博之 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

3) 徳島県の脳性麻痺の発生率

東田好広, 香美祥二 (徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科)

4) 脳性麻痺児の実態把握に関する調査 (栃木県調査)

下泉秀夫^{1,2}, 山岸裕和^{1,3} (国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園小児科¹, 国際医療福祉大学大学院医療福祉学分野², 自治医科大学小児科³)

- 5) 重度脳性麻痺児の看護・介護の現状
後藤 励 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科)

シンポジウム 10：重篤な神経疾患を抱えるこどもの緩和ケア —呼吸障害にまつわる方針決定と症状緩和について—

6月1日(土) 10:10~12:10 第4会場

座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)

- 1) 重篤な神経疾患を抱えるこどもの緩和ケア「呼吸障害にまつわる方針決定と症状緩和について」
岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
- 2) 成人神経難病における呼吸障害に対する倫理的な論点
下畑享良 (岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科)
- 3) 呼吸器症状に対する医療介入における倫理的な論点
笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)
- 4) 神経筋疾患を抱えるこどもに対する呼吸困難の評価と薬物療法
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)

シンポジウム 11：iPS細胞とゲノム編集が変える小児医療

6月1日(土) 10:10~12:10 第5会場

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
宮下俊之 (北里大学医学部分子遺伝学)

- 1) ヒト iPS 細胞とゲノム編集総論
藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
- 2) 革新的技術が疾患の理解を変える —「古い」ダウン症候群への「新しい」切り口—
北畠康司 (大阪大学大学院医学系研究科小児科)
- 3) 細胞代謝の観点からみた iPS 細胞誘導
曾根正光 (千葉大学大学院医学研究院イノベーション再生医学)
- 4) iPS 細胞とゲノム編集技術を用いた母斑基底細胞癌症候群の病態解析
宮下俊之 (北里大学医学部分子遺伝学)

シンポジウム 12：発達障害診療 update 2019

6月1日(土) 13:30~15:30 第1会場

座長 宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)
大橋 圭 (愛知県厚生連海南病院小児科)

- 1) 「多動」を主訴とする症例の診断と鑑別および注意欠如多動症児への支援について
山崎知克 (浜松市子どものこころの診療所, 東京慈恵会医科大学小児科学講座)
- 2) 「かんしゃく・パニック」を主訴とする症例の診断と鑑別および自閉スペクトラム症児への支援について
吉川 徹 (愛知県医療療育総合センター中央病院児童精神科)
- 3) 「勉強が苦手」を主訴とする症例の診断と鑑別および限局性学習症 (学習障害) 児への支援について
小枝達也 (国立成育医療研究センターこころの診療部)
- 4) 発達障害児のための社会資源
浅井朋子 (名古屋市発達障害者支援センター)

シンポジウム 13：不随意運動の基礎と臨床 —大脳基底核の病態生理と動画で学ぶ不随意運動—

6月1日(土) 13:30~15:30 第4会場

座長 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
宇川義一 (福島県立医科大学神経再生医療学講座)

- 1) モデル動物の神経活動から大脳基底核疾患の病態生理を探る
知見聡美, 南部 篤 (生理学研究所生体システム)
- 2) 不随意運動のみかた
柴崎 浩 (京都大学医学部臨床神経学)
- 3) 重要な不随意運動 (小児) —ドパミンと不随意運動—
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
- 4) 随意運動と特殊な不随意運動
宇川義一 (福島県立医科大学神経再生医療学講座)

シンポジウム 14：自己抗体介在性脳疾患診療の進歩

6月1日(土) 13:30~15:30 第5会場

座長 高橋幸利 (静岡てんかん神経医療センター小児科, 岐阜大学医学部小児科)
佐久間 啓 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野こどもの脳プロジェクト)

- 1) 抗 MOG 抗体陽性神経疾患 —小児例の特徴—
金子仁彦 (東北大学神経内科, 国立病院機構宮城病院)

2) 視神経脊髄炎と IL-6

松岡貴子 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部, 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト, 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際生物医科学講座発達医学分野)

3) 抗 NMDA 受容体脳炎 —小児の診断・治療—

小俣 卓 (千葉県こども病院神経科)

4) 辺縁系と脳炎

高橋幸利 (静岡てんかん神経医療センター小児科, 岐阜大学医学部小児科)

ISS 合同シンポジウム: Advance in neonatal neurology

6 月 2 日 (日) 9:50~12:20 第 1 会場

座長 Sampsa Vanhatalo (BABA center, Children's Hospital, University of Helsinki, Finland)

奥村彰久 (愛知医科大学小児科)

1) Neonatal EEG

Sampsa Vanhatalo (BABA center, Children's Hospital, University of Helsinki, Finland)

2) A neonatal seizure detection algorithm

Geraldine B. Boylan (INFANT Research Centre, Ireland)

3) New neonatal seizure classification

Ronit M. Pressler (Great Ormond Street Hospital for Children, UK)

4) Neuroimaging of developing brain before birth

Ritsuko K. Pooh (CRIFM Clinical Research Institute of Fetal Medicine PMC, Japan)

その他企画・共催シンポジウム (S150~160)

Presidential talk event: Is glass ceiling present? Toward the equal opportunity of women in child neurology

5 月 31 日 (金) 13:30~15:30 第 5 会場

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

Ganeshwaran H. Mochida

(Boston Children's Hospital, USA, Massachusetts General Hospital, USA, Harvard Medical School, USA)

1) From pediatrics to geriatrics with fragile X: A woman's journey in medicine

Randi J. Hagerman (University of California Davis Medical Center, USA)

2) Equity and diversity in the workplace to enable a creative and productive environment

Linda Richards (The University of Queensland, Queensland Brain Institute, Brisbane, Australia)

3) 専門医制度改革による女性医師の支援

高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

4) 小児科臨床医としての 20 年 —職場の環境と変化—

鶴澤礼実 (高木病院)

5) 日本における女性研究者の現状と小児神経学会の男女共同参画のための取り組み

加賀佳美 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)

6) Women in Medicine —Taiwan Experience—

Ying-Chao Chang (Department of Pediatrics, Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital and Chang Gung University College of Medicine, Kaohsiung, Taiwan)

アジア企画: アジア各国における診療の多様性 —West 症候群の standard therapy について—

6 月 2 日 (日) 9:00~11:30 第 5 会場

座長 大坪 宏 (トロント小児病院小児神経科)

Derrick Wei-Shih Chan (KK Women's and Children's Hospital, Singapore)

1) A review of West syndrome in the Philippines

Rhea Angela M Salonga-Quimpo (Section of Pediatric Neurology, Department of Neurosciences, University of the Philippines-Philippine General Hospital)

2) A brief introduction to diagnosis and medical treatment of West syndrome in Singapore

Derrick Wei-Shih Chan (KK Women's and Children's Hospital, Singapore)

3) Diagnosis and treatment of West syndrome in Turkey

Dilek Yalnizoglu (Department of Pediatric Neurology, Hacettepe University Faculty of Medicine, Turkey)

4) 日本における West 症候群の標準的治療

秋山倫之 (岡山大学小児神経科)

緊急企画：急性弛緩性麻痺：新たな 5 類感染症全数把握疾患

5 月 31 日（金）15:40～16:40 第 1 会場

座長 吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）

安元佐和（福岡大学医学部医学科医学教育推進講座）

1) 急性弛緩性麻痺（AFP）と急性弛緩性脊髄炎（AFM）：オーバービュー

多屋馨子（国立感染症研究所感染症疫学センター）

2) 急性弛緩性脊髄炎の画像

森 壘¹，奥村彰久²

（東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座¹，愛知医科大学医学部小児科²）

3) 急性弛緩性脊髄炎の臨床像：2018-2019 の動向

チョン ピンフィー^{1,2}，吉良龍太郎¹（福岡市立こども病院小児神経科¹，福岡市立こども病院総合診療科²）

共催シンポジウム：脊髄性筋萎縮症（SMA）—治療とフォローアップにおける多科連携—

（共催：バイオジェン・ジャパン株式会社）

6 月 1 日（土）15:40～17:10 第 1 会場

座長 小牧宏文（国立精神・神経医療研究センター）

石垣景子（東京女子医科大学小児科）

1) SMA 患者の側弯症手術の実際とヌシネルセン髄腔内投与

松井彩乃（研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院総合外科部整形外科）

2) 超音波ガイド下によるヌシネルセン髄腔内投与の実際

小幡典彦（神戸大学医学部麻酔科）

3) 脊髄性筋萎縮症（SMA）患児に対するリハビリテーション

長谷川三希子（獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科）

学会委員会主催セミナー（S161～183）

共同研究支援委員会主催セミナー：臨床研究から薬事承認への道のり

5 月 31 日（金）10:10～12:10 第 5 会場

座長 萩野谷和裕（宮城県立こども病院神経科）

遠山 潤（国立病院機構西新潟中央病院神経小児科）

1) 医薬品の医師主導治験を行うための準備

浅田隆太（岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センター）

2) ベザフィブラートによるミトコンドリア脂肪酸代謝異常症の治療

白石秀明（北海道大学病院小児科）

3) デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するエクソンススキッピング療法の臨床開発

小牧宏文（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

4) ミトコンドリア病の治療薬とバイオマーカーの開発

古賀靖敏（久留米大学医学部小児科）

薬事小委員会主催セミナー 1：緊急企画「ケトンフォーミュラの適正使用にむけて」

5 月 31 日（金）15:40～17:40 第 4 会場

座長 中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

高橋幸利（静岡てんかん神経医療センター小児科）

1) 特殊ミルク事業の課題と今後

谷口顕信（厚生労働省健康局難病対策課）

2) 特殊ミルク「817-B（ケトンフォーミュラ）」の供給状況について

青木菊麿，横山和紀（母子愛育会総合母子保健センター）

3) ケトンフォーミュラ「817-B」の供給体制について

菅野貴浩（株式会社明治研究本部研究戦略統括部）

4) 治療ガイドの作成によるミルク適正使用への道

中村公俊^{1,2}，高橋幸利²，位田 忍²，川井正信²，濱崎祐子²，伊藤哲哉²，大浦敏博²

（熊本大学生命科学研究部小児科¹，厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業中村班特殊ミルクワーキンググループ²）

5) 難治てんかんのケトンフォーミュラ治療ガイド（案）

高橋幸利（静岡てんかん神経医療センター小児科）

薬事小委員会主催セミナー 2：小児神経領域における新規薬剤の効能と注意点

6月2日(日) 9:00~11:00 第4会場

座長 中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

吉永治美(南岡山医療センター)

- 1) 小児神経筋疾患領域における新規薬剤
小牧宏文(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
- 2) てんかん治療における新規薬剤
遠藤文香(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学(小児神経科))
- 3) 神経発達症における新規薬剤
中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 4) ニーマン・ピック病 C 型の診断と治療 Update
成田 綾(鳥取大学医学部脳神経小児科)

「脳と発達」編集委員会主催セミナー：論文査読セミナー ―論文査読の心得―

5月31日(金) 15:40~17:10 第5会場

座長 山本俊至(東京女子医科大学ゲノム診療科)

藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

- 1) 「脳と発達」で論文 accept を勝ち取るには？
山本俊至(東京女子医科大学ゲノム診療科)
- 2) 論文査読の心得
藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
- 3) Associate editor の役割
加賀佳美(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)
- 4) 査読者の心得
遠山 潤(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
- 5) 査読は人の為ならず
福與なおみ(東北大学病院小児科)

医療安全委員会主催セミナー：医療安全に関する WG からの提言

5月31日(金) 18:30~20:30 第4会場

座長 三牧正和(帝京大学医学部小児科)

山中 岳(東京医科大学小児科)

- 1) 脳波等神経生理検査時の鎮静における医療安全に関する提言・指針の作成
是松聖悟^{1,2}, 宮本雄策³, 村松一洋⁴, 山中 岳⁵, 白石秀明⁶, 吉永治美⁷, 中川栄二⁸, 稲垣真澄⁸, 金村英秋⁹, 小林勝弘¹⁰
(中津市立中津市民病院¹, 大分大学², 聖マリアンナ医科大学³, 自治医科大学⁴, 東京医科大学⁵, 北海道大学⁶, 南岡山医療センター⁷, 国立精神・神経医療研究センター⁸, 山梨大学⁹, 岡山大学¹⁰)
- 2) 医療安全からみた小児頭部外傷時の CT 撮像基準の提言・指針
下川尚子¹, 是松聖悟^{2,3}, 星出まどか⁴, 宮田理英⁵, 石井順一⁶, 植松悟子⁷, 藤井裕太⁸, 松阪康弘⁹
(佐賀大学医学部附属病院脳神経外科¹, 中津市立中津市民病院², 大分大学小児科³, 山口大学医学部附属病院小児科⁴, 東京北医療センター小児科⁵, 大阪市立総合医療センター救急センター小児救急科⁶, 国立成育医療研究センター救急診療科⁷, 神奈川こども医療センター放射線科⁸, 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科⁹)
- 3) ACTH 療法 WG からの提言
山内秀雄^{1,2}, 高橋幸利^{1,3}, 小林勝弘^{1,4}, 浜野晋一郎^{1,5}, 三牧正和^{1,6}, 伊藤 進^{1,7}
(日本小児神経学会医療安全委員会 ACTH 療法を安全に行うための提言作成ワーキンググループ¹, 埼玉医科大学小児科・てんかんセンター², 静岡てんかん・神経医療センター小児科³, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学⁴, 埼玉県立小児医療センター神経科⁵, 帝京大学医学部小児科⁶, 東京女子医科大学病院小児科⁷)

小児痙縮ガイドライン策定委員会主催セミナー：小児痙縮・ジストニアの診療アルゴリズム：上肢・体幹を中心に

5月31日(金) 18:30~20:30 第5会場

座長 荒井 洋(ボバース記念病院)

根本明宜(横浜市立大学医学部医療情報学)

- 1) 経口筋弛緩薬の使い方
萩野谷和裕(宮城県立こども病院神経科)
- 2) ボツリヌス治療の導入時期と手術療法への移行時期
根津敦夫(横浜医療福祉センター港南神経小児科)
- 3) ジストニアの診断に応じた治療選択
宮田世羽(杏林大学医学部小児科, 東京都立神経病院神経小児科)

4) 重度脳性麻痺児の上肢・体幹痙縮への ITB 療法の効果

金城 健¹, 大石央代¹, 我謝猛次¹, 栗國敦男¹, 安里 隆² (沖縄県立南部医療センターこども医療センター整形外科¹, 沖縄県立南部医療センターこども医療センターリハビリテーション科²)

5) 脳性麻痺に伴う神経筋性側彎症

中村直行 (神奈川県立こども医療センター小児整形外科・小児脊椎外科)

社会活動広報委員会主催セミナー：自分たちが住む地域の災害対応力を高める ― (重症心身障害児, 医療的ケア児, 発達障害などの) 障害児とその家族支援―

5月31日 (金) 18:30~20:30 第7会場

座長 木村重美 (兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)

米山 明 (心身障害児総合医療療育センター)

1) 災害時小児周産期リエゾンの役割と連携

井田孔明 (帝京大学医学部附属溝口病院小児科)

2) 災害時の人工呼吸器装着児のためのネットワーク ―オール小児在宅医で取り組もう―

木村重美 (兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)

3) 阪神・淡路大震災の経験はどのように活かされているのか? また課題は?

高田 哲 (神戸市総合療育センター, 神戸大学大学院保健学研究科)

4) 発達障害児と家族への災害時支援 ―東日本大震災の経験から―

内山登紀夫 (大正大学心理社会学部臨床心理学科)

5) 医療機関と地域連携による災害対策の実践

浅野 睦 (株式会社フォーサイトコンサルティング, 一般社団法人リスクマネジメント協会)

倫理委員会・COI 委員会共催セミナー：臨床研究をめぐる最近の話題 ―研究公正の観点から―

6月2日 (日) 8:40~9:40 第1会場

座長 伊東恭子 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)

臨床研究をめぐる最近の話題 ―研究公正の観点から―

伏木信次 (京都中部総合医療センター, 京都府立医科大学研究開発・質管理向上統合センター)

長期計画委員会ワークショップ：長期計画委員会から理事会への提言案

6月2日 (日) 9:00~12:00 第6会場

座長 神山 潤 (東京ベイ浦安市川医療センター)

友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター発達支援研究室)

1) 小児神経疾患におけるキャリアオーバー／トランジションについて：成人領域学会との連携推進かあくまで責任を負うか

岩崎信明¹, 鈴木由香², 加賀佳美³, 三山佐保子⁴, 宮本晶恵⁵, 中井昭夫⁶
(茨城県立医療大学付属病院小児科¹, 松山赤十字病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部³, 東京都立小児総合医療センター⁴, 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科⁵, 武庫川女子大学教育研究所こども発達科学研究センター⁶)

2) 小児神経学分野における生命倫理 出生前診断を中心に

口分田政夫^{1,2}, 鶴澤礼実², 福與なおみ², 久保田健夫², 小倉加恵子²
(びわこ学園医療福祉センター草津小児科¹, 小児神経学会長期計画委員会²)

3) 教育 ―学会の IT 導入について―

島川修一¹, 三牧正和², 加藤光広³, 川上康彦⁴, 多田弘子⁵
(大阪医科大学附属病院小児科¹, 帝京大学医学部小児科², 昭和大学病院小児科³, 日本医科大学武蔵小杉病院小児科⁴, 千葉県済生会習志野病院小児科⁵)

国際化推進委員会主催セミナー：学術集会の国際化をみんなで考えるシンポジウム

6月2日 (日) 9:00~11:00 第7会場

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

加藤光広 (昭和大学医学部小児科)

1) 国内主要学会における国際化の現状調査アンケート結果

石原尚子 (藤田医科大学医学部小児科)

2) 日本医学放射線学会の国際化の経緯と現状

本田 浩 (九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学)

3) Debate! 学術集会の国際化と英語での発表 Pros

山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)

4) Debate! 学術集会の国際化と英語での発表 Cons

廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)

実践教育セミナー (S184~200)

実践教育セミナー 1: 小児科医のための神経画像 2019

5月30日(木) 13:00~15:00 第2会場

座長 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

大場 洋(帝京大学医学部放射線科)

1) (小児) 神経放射線画像診断の勘どころ

森 壘(東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座)

2) 脳形成とその異常: 画像所見が類似する奇形とその鑑別診断

宇都宮英綱(高槻病院小児神経センター)

3) 小児中枢神経領域における紛らわしい画像所見

古川理恵子(自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部)

実践教育セミナー 2: こどもの頭痛マスター・スクール 2019

5月30日(木) 13:00~15:00 第5会場

座長 西村 陽(京都第一赤十字病院新生児科)

安藤直樹(城西こどもクリニック)

1) 若年女性の頭痛の特徴とその対応

五十嵐久佳(富士通クリニック内科頭痛外来)

2) 小児の片頭痛とその対応(非薬物療法を中心に)

荒木 清(東京都済生会中央病院小児科)

3) 長期欠席中高生の慢性連日性頭痛とその対応

藤田光江(筑波学園病院小児科, 東京クリニック小児・思春期頭痛外来)

実践教育セミナー 3: 重篤な神経疾患を抱える子どもたちのための小児緩和ケア

5月30日(木) 13:00~15:00 第6会場

座長 吉良龍太郎(福岡市立こども病院小児神経科)

笹月桃子(西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)

1) 小児緩和ケア総論: その理念と実践

笹月桃子(西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)

2) 苦痛症状のマネージメント

岡崎 伸(大阪市立総合医療センター小児神経内科)

3) アドバンス・ケア・プランニングの考え方と実践

余谷暢之(国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)

4) 家族支援

松岡真里(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

実践教育セミナー 4: 初心者向け 脳波を読むコツ: ハンズオン

5月30日(木) 12:30~15:00 第7会場

総司会 夏目 淳(名古屋大学障害児(者)医療学寄附講座)

開会挨拶 稲垣真澄(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)

閉会挨拶 相原正男(山梨大学小児科)

1) 急性脳症の脳波を読むコツ

1. 講義 20分 山本啓之(名古屋大学小児科学)

2. 実習 40分 グループに分かれてハンズオン実習

2) てんかんの脳波を読むコツ

1. 講義 20分 白石秀明(北海道大学病院小児科)

2. 実習 40分 グループに分かれてハンズオン実習

実践教育セミナー 5: はじめて小児神経学を学ぶ人のための実践教育セミナー

5月30日(木) 15:30~17:30 第3会場

座長 藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

山中 岳(東京医科大学小児科)

1) こどもの神経所見のとり方

藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

2) てんかんの診断と治療

秋山倫之(岡山大学小児神経科)

- 3) 脳 CT と MRI を読んでみよう
山中 岳 (東京医科大学小児科)
- 4) 発達障害を理解するために
内田智子 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

実践教育セミナー 6：新生児脳波判読コンペティション —初心者歓迎—

- 5月30日(木) 15:30~17:30 第5会場
- 座長 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
城所博之 (名古屋大学附属病院小児科)
- 1) 新生児の脳波成熟度判定法
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
 - 2) 新生児の異常脳波
深沢達也 (安城更生病院小児科)

実践教育セミナー 7：小児神経疾患への訪問診療

- 5月30日(木) 15:30~17:30 第6会場
- 座長 三浦清邦 (愛知県医療療育総合センター)
田中総一郎 (医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台)
- 1) 小児在宅医療を支える医療技術
前田浩利 (医療法人財団はるたか会)
 - 2) 療育センターからの訪問診療
和田 浩, 船戸正久 (大阪発達総合療育センター小児科)
 - 3) 訪問クリニックと病院のつながり方
田中総一郎 (医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台)
 - 4) 小児在宅医療の地域づくり
市橋亮一 (医療法人かがやき総合在宅医療クリニック)
 - 5) 医療従事者と相談支援専門員の連携
遠山裕湖 (社会福祉法人なのはな会, 宮城・仙台障害者相談支援従事者協会)

実践教育セミナー 8：第6回遺伝学実践教育セミナー

- 6月2日(日) 13:40~15:40 第8会場
- 山本俊至 (東京女子医科大学ゲノム診療科)
山形崇倫 (自治医科大学小児科)
小坂 仁 (自治医科大学小児科)
酒井康成 (九州大学医学部小児科)
和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

学術集会ランチョン企画

- 5月31日(金) 12:25~13:15 第4会場
- ネットワーク形成障害としてみた脳性麻痺
- 座長 丸山幸一 (愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科)
演者 横地健治 (聖隷三方原病院小児神経科, 聖隷あおぞら療育センター)

ランチョンセミナー・共催セミナー (S201~213)

ランチョンセミナー 1 (共催：バイオジェン・ジャパン株式会社)

- 5月31日(金) 12:25~13:15 第3会場
- Spinal muscular atrophy (SMA) —what we have achieved with the new treatment and current challenges—
- 座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学臨床ゲノムセンター)
演者 Andres Nascimento-Osorio (Neurology Department, Hospital Sant Joan de Deu, Barcelona, Spain)

ランチョンセミナー 2 (共催：エーザイ株式会社)

- 5月31日(金) 12:25~13:15 第5会場
- 小児のてんかんに特徴的な症候群とその発作型：臨床経験から見てきたペランパネルの可能性
- 座長 小林勝弘 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)
演者 白石秀明 (北海道大学病院小児科／てんかんセンター)

ランチョンセミナー 3 (共催：アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社)

5 月 31 日 (金) 12:25~13:15 第 6 会場

ニーマン・ピック病 C 型の診断・治療の現状と展望

座長 衛藤義勝 (東京慈恵会医科大学)

演者 酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学)

ランチョンセミナー 4 (共催：大塚製薬株式会社)

5 月 31 日 (金) 12:25~13:15 第 8 会場

当施設のてんかん外来患者および入所重症心身障害児者におけるカルニチン欠乏の実態

座長 位田 忍 (大阪母子医療センター)

演者 皆川公夫 (緑ヶ丘療育園小児科)

ランチョンセミナー 5 (共催：武田薬品工業株式会社)

5 月 31 日 (金) 12:25~13:15 第 9 会場

小児神経疾患に潜在する遺伝性希少疾患：ゴーシェ病 — 早期診断・早期治療の意義 —

座長 荻野谷和裕 (宮城県立こども病院)

演者 重松秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

ランチョンセミナー 6 (共催：第一三共株式会社／ユーシービージャパン株式会社)

6 月 1 日 (土) 12:25~13:15 第 2 会場

新規抗てんかん薬と小児てんかん薬物療法

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学)

演者 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

ランチョンセミナー 7 (共催：ノバルティスファーマ株式会社)

6 月 1 日 (土) 12:25~13:15 第 3 会場

結節性硬化症の治療最前線

座長 高橋幸利 (独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

演者 下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究科)

ランチョンセミナー 8 (共催：塩野義製薬株式会社／武田薬品工業株式会社)

6 月 1 日 (土) 12:25~13:15 第 4 会場

症例や病態からみる ADHD の治療戦略

座長 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

演者 岡 牧郎 (岡山大学病院小児神経科 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学))

ランチョンセミナー 9 (共催：ノバルティスファーマ株式会社／AveXis, Inc.)

6 月 1 日 (土) 12:25~13:15 第 5 会場

SMA therapy update

座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学臨床ゲノムセンター)

1) 脊髄性筋萎縮症の診断と医学的管理

竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科学)

2) Impact of early diagnosis and newborn screening in SMA

Douglas Sproule (AveXis, Inc., Chicago, United States)

ランチョンセミナー 10 (共催：JCR ファーマ株式会社)

6 月 1 日 (土) 12:25~13:15 第 6 会場

ファブリー病の小児期症状：疼痛と発汗障害について

座長 伊藤哲哉 (藤田医科大学小児科)

演者 中里良彦 (埼玉医科大学神経内科)

ランチョンセミナー 11 (共催：大塚製薬株式会社)

6 月 1 日 (土) 12:25~13:15 第 8 会場

産学連携研究を中心とした自閉スペクトラム症の最近の話題

座長 小枝達也 (国立成育医療研究センター)

演者 菊知 充 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)

ランチョンセミナー 12 (共催: BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社)

6月1日(土) 12:25~13:15 第9会場

稀少難病: 神経セロイドリポフスチン症

座長 衛藤義勝(東京慈恵会医科大学)

1) 稀少難病の診断にむけて 神経セロイドリポフスチノーシス (NCL) の診断のポイント

成田 綾(鳥取大学医学部脳神経小児科)

2) 神経セロイドリポフスチン症の症例

遠山 潤(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院遺伝医療支援センター)

ランチョンセミナー 13 (共催: ユーシービージャパン株式会社/大塚製薬株式会社)

6月2日(日) 12:35~13:25 第2会場

小児てんかんの診療を通じて考える医療の安全と安心

座長 大澤真木子(東京女子医科大学)

演者 高橋孝雄(慶應義塾大学医学部小児科)

ランチョンセミナー 14 (共催: 株式会社 JVC ケンウッド)

6月2日(日) 12:35~13:25 第4会場

子どもの健やかな育ちのためのマルトリートメント予防と養育者支援

座長 谷池雅子(大阪大学連合小児発達学研究所)

演者 友田明美(福井大学大学院子どものこころの発達研究センター)

ランチョンセミナー 15 (共催: ノーベルファーマ株式会社)

6月2日(日) 12:35~13:25 第5会場

結節性硬化症に伴う皮膚病変 —小児における診断と治療のタイミング—

座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科)

1) 結節性硬化症に対する mTOR 阻害薬の効果と今後の展望

岡西 徹(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)

2) 結節性硬化症に伴う皮膚病変 —小児における最新の治療—

金田眞理(大阪大学大学院医学系研究科皮膚科)

ランチョンセミナー 16 (共催: ヤンセンファーマ株式会社)

6月2日(日) 12:35~13:25 第6会場

発達障害のアセスメントとその活用

座長 宮本信也(白百合女子大学人間総合学部発達心理学科)

演者 船曳康子(京都大学大学院人間・環境学研究科)

ランチョンセミナー 17 (共催: サノフィ株式会社)

6月2日(日) 12:35~13:25 第7会場

筋疾患の診断ポイント —疑うことから始まる治療可能な筋疾患—

座長 岡 明(東京大学医学部小児科学)

1) 小児期発症の筋疾患をどう診断するか

服部文子(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

2) 治療可能な代謝性筋疾患: Pompe 病の診断と自験例の経過について

成田 綾(鳥取大学医学部脳神経小児科)

ランチョンセミナー 18 (共催: 中外製薬株式会社)

6月2日(日) 12:35~13:25 第8会場

Spinal muscular atrophy (SMA) past, present and future: challenges in patient management

座長 西尾久英(神戸学院大学総合リハビリテーション学部作業療法学科)

演者 Laurent Servais (Institute of Myology, Paris, France, Reference Center for Neuromuscular Disease, Centre Hospitalier Régional de La Citadelle, Liège, Belgium)

ランチョンセミナー 19 (共催: ノバルティスファーマ株式会社/AveXis, Inc.)

6月2日(日) 12:35~13:25 第9会場

Gene therapy update

座長 山形崇倫(自治医科大学小児科学)

1) ここまできた遺伝子治療

村松慎一(自治医科大学遺伝子治療研究センター, 東京大学医科学研究所遺伝子・細胞治療センター)

2) (To be announced)

Petra Kaufmann (AveXis, Inc., Chicago, United States)

共催セミナー 1 (共催：ファイザー株式会社)

6月2日(日) 11:00~12:00 第8会場

小児におけるけいれん・てんかん重積状態への救急対応はどう変わるか？

—ロラゼパム注射剤の日本発売をうけて—

座長 大塚頌子(旭川荘療育・医療センター)

演者 浜野晋一郎(埼玉県立小児医療センター神経科)

共催セミナー 2 ハンズオンセミナー (共催：リヴァノヴァ株式会社)

6月2日(日) 10:00~12:00 第9会場

難治性てんかんに対する迷走神経刺激療法(VNS)：刺激調整(Dosing)の基本

座長 本田涼子(独立行政法人国立病院機構長崎医療センター小児科)

演者 武岡正方(ハーバード大学ボストン小児病院神経内科)

20th ISS ランチョンセミナー (共催：エーザイ株式会社) ※ 20th ISS 登録者のみ参加可能。海外参加者優先。

5月31日(金) 12:25~13:15 第7会場

てんかん病態を再考する —E/I バランスを考慮して—

座長 奥村彰久(愛知医科大学小児科)

1) てんかん原性獲得に伴う病態生理学的特徴：ヒト脳スライスのイメージング

柿田明美(新潟大学脳研究所病理学分野)

2) てんかん原性における GABA 神経系の異常：Dravet 症候群を主体として

日暮憲道(東京慈恵会医科大学附属病院小児科，福岡大学てんかん分子病態研究所)

市民公開講座 (S214~216)

多様性を力に変える：障害児者を支える医療・社会

6月2日(日) 13:40~15:40 第1会場

総司会 夏目 淳(名古屋大学障害児(者)医療学寄附講座)

三浦清邦(愛知県医療療育総合センター中央病院)

開会の挨拶 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

【基調講演】

座長 野田正治(公益社団法人愛知県医師会)

医療的ケアが必要な子ども達の未来

演者 野田聖子(衆議院議員)

【シンポジウム】

座長 夏目 淳(名古屋大学障害児(者)医療学寄附講座)

三浦清邦(愛知県医療療育総合センター中央病院)

1) 発達障害への支援：医療・医学の立場から

宮地泰士(名古屋市西部地域療育センター)

2) 職業自立と社会参加のために

山崎尚樹(特定非営利活動法人障がい者自立支援センターなごや就労移行支援事業所「マーム」)

3) 重度障害児(者)と医療的ケア児を支える医療

三浦清邦(愛知県医療療育総合センター)

4) 重症児者の地域生活を重症児デイサービスから創る

鈴木由夫(社会福祉法人ふれ愛名古屋，一般社団法人全国重症児デイサービス・ネットワーク)

関連研究会

第4回小児免疫性神経筋疾患研究会(MG/CIDP 研究会)：

MG/CIDP の治療奏効例に学ぶ／先天性筋無力症候群の基礎と臨床

5月31日(金) 18:30~20:30 第6会場

【第1部 MG (35分)】

座長 石垣景子(東京女子医科大学小児科)

武下草生子(横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)

1) 少量アザチオプリンが有効であった全身型重症筋無力症の1例

武下草生子(横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)

2) 1歳で発症し4回再発した眼筋型MG8歳女児の経過と現在の治療

小松祐美子(杏林大学小児科)

3) 小児期発症重症筋無力症難治例の治療方針 —タクロリムスのその次は？—

石垣景子(東京女子医科大学小児科)

【第 2 部 CIDP・CMG (30 分)】

座長 稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)
石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

- 1) 免疫グロブリン維持療法により症状の進行が抑えられている CIDP の 1 例
深沢達也 (安城更生病院小児科)
- 2) 異なる年齢で治療開始したラブシン異常症の経過
稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)

【第 3 部 特別講演 (50 分)】

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
先天性筋無力症候群について ―重症筋無力症との鑑別―
大野欽司 (名古屋大学大学院医学系研究科神経遺伝情報学)

第 13 回子どもの眠り研究会：養育者への子どもの眠りに関する啓発

5 月 31 日 (金) 18:30~20:30 第 8 会場

【一般演題】 18:30~19:30

座長 加藤久美 (特定医療法人愛仁会太田睡眠科学センター)
宮田理英 (東京北医療センター)

- 1) 喉頭軟化症による睡眠障害を疑って家族が極度の不安に陥った乳幼児の 1 例
白井謙太郎¹, 渡辺章充¹, 福水道郎²
(土浦協同病院小児科¹, 医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック²)
- 2) 外来でプレパレーションを開始し, CPAP 導入ができた ASD の 1 例
平田郁子, 村田絵美, 橘 雅弥, 中西真理子, 毛利育子, 谷池雅子 (大阪大学連合小児発達学研究所)
- 3) 睡眠相後退症候群症例にも鉄欠乏がある
福水道郎, 野崎真紀, 木村一恵, 長尾ゆり, 星野恭子
(医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
- 4) 小学生時に診断, 治療開始したカタプレキシーを伴うナルコレプシーの 4 例
加藤久美 (特定医療法人愛仁会太田睡眠科学センター)
- 5) 幼児の睡眠に対する睡眠環境の影響について (第 3 報)
中川真智子^{1,2}, 太田英伸^{3,4}, 長沖優子¹, 島袋林秀¹, 安積陽子⁵, 中澤貴代⁶, 森岡圭太⁶, 伊藤詩菜⁷,
大石芳久⁸, 平田倫生¹, 長 和俊⁶, 草川 功¹, 与田仁志²
(聖路加国際病院小児科¹, 東邦大学医療センター大森病院新生児科², 浅井病院精神科³, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所⁴, 北海道大学大学院保健科学研究院⁵, 北海道大学病院周産母子センター⁶, 北海道大学病院小児科⁷, 日本赤十字社医療センター小児科⁸)
- 6) 未就学児の睡眠習慣と情報通信機器使用
岡 靖哲¹, 高田律美², 伊藤一統³
(愛媛大学医学部睡眠医療センター¹, 四国大学看護学部², 宇部フロンティア大学短期大学部保育学科³)
- 7) 当院におけるネット依存症例の治療経過
星野恭子, 長尾ゆり, 福水道郎, 木村一恵 (医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

【教育講演】 19:30~20:30

座長 福水道郎 (医療法人社団昌仁醫修会瀬川小児神経学クリニック)
幼児の睡眠の現状と課題 ―ねんねナビ®の社会実装から―
谷池雅子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター)

第 4 回小児ニューロリハビリテーション研究会・第 4 回超早産児神経発達症研究会：

超早産児脳の最近の知見 ―NICU のその後をどう育むか？―

6 月 2 日 (日) 13:40~15:40 第 5 会場

座長 荒井 洋 (ボバース記念病院)
小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)

- 1) 在胎 20-28 週のヒト脳の脆弱性
出口貴美子 (出口小児科医院院長慶應義塾大学医学部解剖学)
- 2) 超早産児脳画像
城所博之 (名古屋大学小児科)
- 3) 超早産児虚血モデルマウスの開発と応用
久保健一郎 (慶應義塾大学医学部解剖学)

第 11 回日本小児免疫性脳炎研究会：自然免疫と小児神経疾患

6 月 2 日（日）13:40～14:40 第 6 会場

【一般講演】 13:40～14:00

座長 鳥巢浩幸（福岡歯科大学）

日本脳炎ワクチンと ADEM

名西悦郎（九州大学大学院成長発達医学分野）

【特別講演】 14:00～14:40

座長 松尾宗明（佐賀大学小児科）

自然免疫系の異常と小児疾患

高田英俊（筑波大学小児内科）

English Session 1 : 代謝, 発達, 中毒

5 月 31 日 (金) 11:10~12:10 第 8 会場

Chair Tokiko Fukuda (Department of Pediatrics, Hamamatsu University School of Medicine)

Zenichiro Kato (Department of Pediatrics, Gifu University Graduate School of Medicine)

E-001	Yuichi Abe	Division of Neurology, National Center for Child health and Development, Tokyo, Japan	Long-term follow-up of slowly progressive Leigh syndrome caused by the T8993C mtDNA mutation
E-002	Yoshie Kurokawa	Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan	An infant case of Niemann-Pick type C with hepatomegaly and a filipin-positive carrier's donor liver
E-003	Hiroki Kato	Section of Oral Medicine for Children, Division of Oral Health, Growth and Development, Faculty of Dental Science, Kyushu University, Fukuoka, Japan	Pathological analysis of autism spectrum disorder using deciduous tooth-derived stem cells
E-004	Haruo Fujino	Oita University, Oita, Japan	Prevalence of autism spectrum disorder in Duchenne and Becker muscular dystrophy : A meta-analysis
E-005	Yasunori Oka	Center for Sleep Medicine, Ehime University Hospital, Ehime, Japan	Internet use and sleep habit of preschoolers : relationship between children and caregivers
E-006	Tomomitsu Sado	Department of Pediatrics, Matsumoto Municipal Hospital, Nagano, Japan	The importance of pyridoxal-5'-phosphate to pyridoxal ratio found in ginkgo seed poisoning case

English Session 2 : 優秀 English Session 賞 1

5 月 31 日 (金) 13:30~14:30 第 8 会場

Chair Masakazu Mimaki (Department of Pediatrics, Teikyo University School of Medicine)

Mitsuhiro Kato (Showa University School of Medicine)

E-007	Itaru Hayakawa	Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan	National survey of procedures, antiepileptics, and antibiotics for febrile seizure hospitalization
E-008	Akihiko Miyauchi	Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan	Apomorphine has a cell protective effect in mitochondrial disease cells
E-009	Yuji Nakamura	Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan	Altered mTOR signaling in patients with SZT2-related neurological disease
E-010	Hiroya Nishida	Department of Neuropediatrics, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Tokyo, Japan	Movement disorders and/or epileptic encephalopathies due to GNAO1 mutation : a four case report
E-011	Kohji Kato	Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan	MYCN de novo gain-of-function mutation in a patient with a novel megalencephaly syndrome
E-012	Ikumi Hori	Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan	Clinical, genetic, and biochemical analyses for PI3K-AKT-mTOR pathway-associated megalencephaly

English Session 3 : 優秀 English Session 賞 2

5 月 31 日 (金) 14:30~15:30 第 8 会場

Chair Hideo Yamanouchi (Saitama Medical University, Pediatrics)

Shinichi Hirose (Department of Pediatrics, Fukuoka University)

E-013	Yoshifumi Mizuno	The Department of Child and Adolescent Psychological Medicine, University of Fukui Hospital, Fukui, Japan	Structural classification feature in children with ADHD using machine learning approach
E-014	Chen Wu	Advanced Clinical Research Center, Institute of Neurological Disorders, Kawasaki, Kanagawa, Japan	Combination of LysoSM, 7-KC and bile acid W-408 for diagnosis of Japanese patients with NPC
E-015	Takahiro Ikeda	Department of pediatrics, Jichi medical university, Tochigi, Japan	Individual classification of ADHD with and without ASD using fNIRS on effect of methylphenidate
E-016	Yayoi Murano	Department of Pediatrics, Toshima Hospital, Tokyo, Japan	Factors of recurrence seizure in complex type febrile seizure
E-017	Takeshi Suzuki	Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan	Study of transiently reduced cortical diffusion after prolonged febrile seizure
E-018	Misa Miyake	Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan	Reduction of hippocampal volume due to HHV-6B reactivation in pediatric HSCT recipients

English Session 4 : 神経・筋疾患

5 月 31 日 (金) 15:30~16:30 第 8 会場

Chair Yuka Ishikawa (Department of Pediatrics, Yakumo National Hospital)
 Yasuhiro Takeshima (Department of Pediatrics, Hyogo College of Medicine)

E-019	Yuko Motohashi	National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Child Neurology, Tokyo, Japan	Safety and effectiveness of nusinersen in SMA type 2 and 3 : Assessment of the real world data
E-020	Laurent Servais	Institute of Myology, Paris, France	FIREFISH Part 1 : 1-year motor function results in infants with Type 1 spinal muscular atrophy (SMA)
E-021	Timothy Seabrook	Roche Pharmaceutical Research and Early Development, Roche Innovation Center Basel, Basel, Switzerland	FIREFISH Part 1 : 1-year event-free survival and swallowing ability in infants with Type 1 SMA
E-022	John W. Day	Stanford University Medical Center, Stanford, CA, USA	AVXS-101 gene replacement for spinal muscular atrophy type 1 (SMA1) : pivotal study (STRIVE) update
E-023	Roxana Dreghici	F. Hoffmann-La Roche, Basel, Switzerland	A Phase 1b/2 study of RG6206 (BMS-986089) in boys with Duchenne muscular dystrophy : 72-week update
E-024	Takahiro Yonekawa	Howard Hughes Medical Institute, Department of Molecular Physiology and Biophysics, Department of Neurology, University of Iowa Roy J. and Lucille A. Carver College of Medicine, IA, USA	Clinicopathology of muscle-specific <i>Dag1</i> knockout mice and effects of systemic transduction with AAV

English Session 5 : 遺伝・遺伝子異常

6 月 1 日 (土) 13:30~14:30 第 8 会場

Chair Toshiki Takenouchi (Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine)
 Hitoshi Osaka (Department of Pediatrics, Jichi Medical University)

E-025	Masaki Mori	Molecular Neuroscience Research Center (MNRC), Shiga University of Medical Science, Japan	Utilization of juvenility-associated genes for treating pediatric neurological diseases
E-026	Daisuke Ieda	Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan	Genetic analysis for Prader-Willi-like syndrome
E-027	Mariko Taniguchi-Ikeda	Department of Clinical Genetics, Fujita Health University Hospital, Aichi, Japan	Severe mitochondrial neurogastrointestinal encephalomyopathy caused by DNA ligase enzyme deficiency
E-028	Omar Dabbous	AveXis, Inc., Bannockburn, Illinois, USA	The value of AVXS-101 gene-replacement therapy (GRT) for spinal muscular atrophy type 1 (SMA1)
E-029	Yusuke Takezawa	Department of Pediatrics, Tohoku University School of Medicine	Novel IARS2 mutations in Japanese siblings with CAGSSS, Leigh, and West syndrome
E-030	Hajime Ikehara	Center for Regenerative Medicine, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan	Establishment of Gorlin syndrome model by induced neural progenitor cells

English Session 6 : けいれん, 電気生理, 新生児

6 月 1 日 (土) 14:30~15:30 第 8 会場

Chair Hideaki Shiraishi (Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital Epilepsy Center)
 Jun Tohyama (Department of Child Neurology, Nishi-Niigata Chuo National Hospital)

E-031	Shu Hamada	Department of Pediatric Neurology, Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Amagasaki, Hyogo, Japan	Application of Ketogenic therapy in treatment of drug-resistant epilepsy due to Alexander disease
E-032	Yoshiki Kawamura	Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan	Clinical analysis of complex febrile seizure caused by primary infection of human herpesvirus 6B
E-033	Takumi Mitsuhashi	Department of Neurosurgery, Juntendo University, Tokyo, Japan	Assessment of usability of passive functional mapping for children
E-034	Yasushi Iimura	Department of Neurosurgery, Juntendo University, Tokyo, Japan	Analysis of phase-amplitude coupling in scalp EEG for focal and generalized onset epileptic spasms
E-035	Noboru Yoshida	Pediatrics division, Juntendo University Nerima Hospital, Tokyo, Japan	Sleep improvement by growth hormone by quantitative analysis of overnight electroencephalography
E-036	Tomoki Maeda	Department of Pediatrics, Oita University, Oita, Japan	Was caffeine associated with irritable behaviour in preterm infants?

English Session 7 : てんかん

6 月 1 日 (土) 15:30~16:30 第 8 会場

Chair Norimichi Higurashi (Department of Pediatrics, Jikei University School of Medicine)
 Ayataka Fujimoto (Seirei Hamamatsu General Hospital)

E-037	Teruyuki Tanaka	Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan	Pre-clinical study of the CDKL5 gene replacement therapy tested on the Cdkl5 knockout mouse
E-038	Tatsuro Izumi	Department of Pediatrics and Child Neurology, Nanao National Hospital, Ishikawa, Japan	Expanding the phenotype of IQSEC2-related epilepsy : suppression burst pattern and VPA exacerbations
E-039	Kenji Sugai	Clinical Department, Soleil Kawasaki Medical Center for the Handicapped, Kawasaki, Japan	Effective antiepileptic drugs for refractory focal seizures are different by precise seizure symptom
E-040	Tomonori Ono	Epilepsy Center, National Nagasaki Medical Center, Omura, Nagasaki, Japan	Language development after surgery of the posterior cortex in children with refractory epilepsy
E-041	Tohru Okanishi	Department of Child Neurology, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Shizuoka, Japan	The effectiveness of everolimus for intractable seizures with tuberous sclerosis complex
E-042	Kazuo Okanari	Department of Pediatrics, Oita University Faculty of Medicine, Oita, Japan	Risk factors of sudden unexpected death in epilepsy from heart rate variability in epilepsy children

一般演題 (口演): 優秀口演賞 1

5 月 31 日 (金) 10:10~11:10 第 6 会場

座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部)

山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科)

O-001	栗屋智就	京都大学大学院医学研究科形態形成機構学	低分子スプライス操作化合物による遺伝性疾患の新規治療法開発
O-002	平岩明子	富山大学医学部小児科	重症先天性心疾患児の学童期までの発達予後: 単心室と完全大血管転位における発達検査と MRI を用いた脳体積の比較検討
O-003	大橋 圭	名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児学分野	自閉スペクトラム症に対する体系的遺伝学的解析の有用性の検討
O-004	榎園 崇	筑波大学小児科	磁気センサを用いた小児手指巧緻機能解析
O-005	関戸雄貴	国立成育医療研究センターこころの診療部	ディスレクシア外来を受診した症例の臨床的特徴
O-006	福岡正隆	国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター	ラスムッセン症候群 38 例における髄液 granzyme B の検討

一般演題 (口演): 優秀口演賞 2

5 月 31 日 (金) 11:10~12:10 第 6 会場

座長 小林勝弘 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)

佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

O-007	徳永沙知	兵庫医科大学小児科	当院で経験した脊髄性筋萎縮症のヌシネルセン治療効果の検討
O-008	斎藤良彦	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	デュシェンヌ型筋ジストロフィーにおける神経発達障害の検討
O-009	温井めぐみ	大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科	片側大脳半球に病変を認めるけいれん重積型急性脳症の神経心理学的予後に関する検討
O-010	一ノ瀬文男	佐賀大学医学部小児科	小児有熱性けいれん重積に占めるけいれん重積型急性脳症発症率
O-011	平田佑子	埼玉県立小児医療センター神経科	自己免疫性脳炎における ^{123}I -IMP SPECT と ^{123}I -IMZ SPECT
O-012	石丸聡一郎	藤田医科大学医学部小児科	中枢神経感染症疑い症例に対する real-time PCR 法を用いたヒトヘルペスウイルスの検討

一般演題 (口演): 急性脳症 1

5 月 31 日 (金) 13:30~14:30 第 6 会場

座長 柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)

今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)

O-013	日高一平	山口大学大学院医学系研究科小児科	小児神経救急疾患における amplitude integrated EEG の有用性の検討
O-014	石田悠介	神戸大学大学院医学研究科小児科	小児けいれん重積に対する脳波モニタリング下ミダゾラム昏睡療法の有効性と安全性
O-015	徳元翔一	兵庫県立こども病院神経内科	有熱性難治性けいれん重積の治療プロトコル変遷による短期的予後の検討
O-016	藤野修平	東京都立小児総合医療センター神経内科	けいれん重積型二相性急性脳症 (AESD) と類似の経過を辿った低酸素脳症の 1 例
O-017	阪田健佑	聖マリア病院小児科	頭部 MRI 上, bright tree appearance (BT) を認めた急性脳症 34 例の予後への関連因子
O-018	室伏佑香	東京女子医科大学附属八千代医療センター小児科	けいれん重積型 (二相性) 急性脳症 (AESD) の脳病理の検討

一般演題（口演）：急性脳症 2

5 月 31 日（金）14:30～15:30 第 6 会場

座長 多田弘子（千葉県済生会習志野病院小児科）
瀬戸俊之（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学）

O-019	牧 祐輝	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	東海地区における bright tree appearance を呈する急性脳症の発症状況：第 2 報
O-020	田中雅大	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	東海地区における急性脳症による死亡例の発生状況
O-021	川崎幸彦	福島県立医科大学医学部小児科	過去 32 年間における福島県での急性脳炎・脳症による死亡例の経時的推移とそのリスク因子解析
O-022	山田隆太郎	東京都立墨東病院	急性脳症例の予後に関する検討
O-023	沼本真吾	愛知医科大学小児科	結節性硬化症における急性脳症／重症けいれん重積 第 1 報：発症群における臨床像
O-024	沼本真吾	愛知医科大学小児科	結節性硬化症における急性脳症／重症けいれん重積 第 2 報：リスク因子

一般演題（口演）：てんかん 社会問題

5 月 31 日（金）15:30～16:30 第 6 会場

座長 後藤知英（神奈川県立こども医療センター神経内科）
宮本雄策（川崎市立多摩病院小児科）

O-025	米元耕輔	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	至適用量の H1 抗ヒスタミン薬は熱性けいれん感受性を増加させない
O-026	吉岡三恵子	神戸市総合療育センター小児神経科	女性てんかん患者における生理不順と抗てんかん薬の関連
O-027	白木杏奈	中津川市民病院小児科	山間部の病院にけいれんを主訴として救急外来を受診した小児例の検討
O-028	溝呂木園子	山梨大学医学部小児科	山梨県内の小児期けいれん性疾患の有病率
O-029	鈴木征吾	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野	成人移行期支援が小児神経疾患患者の移行準備性に及ぼす影響：ランダム化比較試験の 2 次解析
O-030	梅野潤子	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学分野発達神経病態学領域	てんかんを持つ小児患者の福祉制度利用の現状と課題 ―大学病院小児神経科における実態調査―

一般演題（口演）：てんかん 診断

5 月 31 日（金）10:10～11:10 第 7 会場

座長 金村英秋（山梨大学医学部小児科）
亀井 淳（岩手医科大学小児科）

O-031	富永あかね	長崎大学病院小児科	ミオクロニー重積を契機に診断に至った若年ミオクロニーてんかんの 2 例
O-032	乃木田正俊	順天堂大学小児科	摂食より誘発される epileptic spasms を呈した 4 歳の男児例
O-033	鈴木基正	あいち小児保健医療総合センター神経科	失立発作を呈した焦点性てんかんの 1 例
O-034	井上健司	東京都立神経病院神経小児科	特徴ある不随意運動を伴った SCN8A 変異関連てんかんの 2 症例
O-035	立石裕一	広島大学病院小児科	てんかんの発作型診断における長時間ビデオ脳波モニタリングの有用性
O-036	中島 翠	北海道大学病院小児科	AdSPM を使用した脳溝底に存在する限局性皮質形成異常の診断

一般演題 (口演): てんかん その他

5 月 31 日 (金) 11:10~12:10 第 7 会場

座長 菊池健二郎 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)

下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究科 (小児科))

O-037	岩谷祥子	大阪大学大学院医学系研究科小児科	Epileptic spasms における言語・認知機能の検討
O-038	高橋幸利	静岡てんかん神経医療センター	West 症候群 NHO-Japan 512 case early treatment study: 第 1 治療長期発作予後
O-039	白井謙太郎	土浦協同病院小児科	結節性硬化症以外の基礎疾患を持つ症例に対するビガバトリンの有用性の検討
O-040	谷 博雄	広島大学病院小児科	SCN1A の新規変異を認め、ペランパネルが著効した早期ミオクロニー脳症の 1 例
O-041	颯佐かおり	埼玉医科大学病院小児科	心静止を伴う無呼吸発作がてんかん発作徴候と考えられた 1 女児例
O-042	伊藤哲哉	厚労科研中村班特殊ミルクワーキンググループ	難治性てんかん治療におけるケトンフォーミュラ等特殊ミルク供給の問題点

一般演題 (口演): 自閉症スペクトラム障害

5 月 31 日 (金) 13:30~14:30 第 7 会場

座長 中井昭夫 (武庫川女子大学教育研究所/大学院臨床教育学研究科/子ども発達科学研究センター)

沖 潤一 (旭川厚生病院小児科)

O-043	中山智博	茨城県立医療大学付属病院小児科	グアンファシン治療が深部体温に及ぼす影響について; バイオマーカーに関する第 3 報
O-044	小林朋子	東北大学東北メディカル・メガバンク機構子どもコホートセンター	自閉スペクトラム症研究: 東北メディカル・メガバンク計画における三世代コホート調査参加児に対する試み
O-045	小枝達也	国立成育医療研究センターこころの診療部	SRS-2 による自閉的行動と視覚選好性との関連性に関するコホート研究
O-046	古荘純一	青山学院大学教育人間科学部教育学科	発達障害難治例にみられる発達性トラウマ障害の検討
O-047	森 達夫	徳島大学医学部小児科	自閉症スペクトラム症における Arterial Spin Labeling (ASL) 法を用いた脳血流評価
O-048	宮本 健	浜松医療センター小児科	偏食に起因するビタミン A 欠乏により重度の角膜軟化症を来した自閉スペクトラム症の 1 例

一般演題 (口演): 自閉症・ADHD・発達

5 月 31 日 (金) 14:30~15:30 第 7 会場

座長 福井美保 (大阪医科大学小児科)

林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)

O-049	橋本俊顕	徳島赤十字ひのみね総合療育センター	自閉症スペクトラム障害の酸化ストレス評価
O-050	川井未知子	国立成育医療研究センター神経内科	ADHD およびチック・Tourette 症候群における自発瞬目頻度の検討
O-051	前林英貴	島根県立大学人間文化学部	極低出生体重児の乳幼児期における音声形成過程に関する研究 (フォルマント解析を用いて)
O-052	本山和徳	長崎県立こども医療福祉センター小児科	ADHD 児における治療効果の検討 ―中学生前受診児と中学生受診児の比較―
O-053	山口勝之	獨協医科大学病理学	ヒト下オリーブ主核の胎生期発達: 形態計測学的検討
O-054	永田浩一	愛知県医療療育総合センター発達障害研究所神経制御学部	知的障害・自閉症病態関連分子 MacroD2 の脳神経組織における性状解析

一般演題（口演）：学習障害

5月31日（金）15:30～16:30 第7会場

座長 関 あゆみ（北海道大学大学院教育学研究院）

小枝達也（国立成育医療研究センターこころの診療部）

O-055	水田めくみ	大阪医科大学 LD センター	発達性ディスレクシアの語彙力と学習習得との関連 ―日本版 KABC-II「習得検査」を用いて―
O-056	奥村智人	大阪医科大学 LD センター	学習に困難がある児童の読み書き能力と QOL の関連
O-057	関 あゆみ	北海道大学大学院教育学研究院	発達性ディスレクシア児への RTI モデルによる指導における遅延改善効果の検討
O-058	森 健治	徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野	NIRS を用いた読字課題時の前頭葉機能評価
O-059	岡 牧郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学（岡山大学病院小児神経科、てんかんセンター）	発達性協調運動障害を併存する発達性読み書き障害の臨床特性
O-060	大羽沢子	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	Dyscalculia リスク児スクリーニングのためのコホート研究：数的基礎力検査の予測効果検証

一般演題（口演）：代謝性疾患

5月31日（金）10:10～11:10 第8会場

座長 久保田一生（岐阜大学大学院医学研究科小児病態学）

伊藤哲哉（藤田医科大学医学部小児科）

O-061	松本志郎	熊本大学大学院生命科学研究部小児科	当施設における有機酸血症に対する肝臓移植後の神経学的予後の検討
O-062	久保田一生	岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学	高次脳機能障害の症状で小児期に発症した副腎白質ジストロフィー症例の診断までの経過と画像解析
O-063	服部美来	東邦大学医療センター大橋病院小児科	精神症状を契機に Wilson 病と診断された 1 例
O-064	林 歩実	東邦大学医療センター大橋病院小児科	神経症状を有する Wilson 病の治療に関する検討
O-065	山田桂太郎	愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科	進行性小脳萎縮と大脳白質髄鞘化障害から全エキソーム解析・酵素活性測定で診断にいたったアコニターゼ 2 異常症の 1 女児例
O-066	松岡剛司	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科	可逆性脳血管攣縮症候群（reversible cerebral vasoconstriction syndrome）における血清 EPA/AA 比の検討

一般演題（口演）：脳性麻痺 1

5月31日（金）10:10～11:10 第9会場

座長 齋藤貴志（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

北井征宏（ボバース記念病院小児神経科）

O-067	北井征宏	ボバース記念病院小児神経科	アテトーゼ型脳性麻痺の病態に関する検討
O-068	市山高志	鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科	超音波法による重症心身障害児（者）骨密度の検討
O-069	小野浩明	県立広島病院小児科	陰圧性肺水腫・肺出血が疑われた重症心身障害児の 1 例
O-070	八谷靖夫	国立病院機構東長野病院小児科	重症心身障害児・者における必須脂肪酸欠乏症
O-071	渡邊年秀	北海道立子ども総合医療療育センター	Flex mode を使用し退院に至ったバクロフェン持続髄注療法患者の 1 例
O-072	反頭智子	山梨県立中央病院小児科	重症心身障害児の誤嚥評価に対する嚥下シンチグラフィーの有用性

一般演題 (口演): 不随意運動, 基底核疾患

5 月 31 日 (金) 11:10~12:10 第 9 会場

座長 福水道郎 (医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック小児神経内科・小児科)
田中 肇 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター)

O-073	濱田朋弥	高知大学医学部小児科	ミオクロヌス・ジストニア (DYT11 ジストニア) の 1 例
O-074	中釜 悠	東京大学小児科	L-dopa 反応性の眼球運動異常発作を呈し, SPR 変異の同定により, セビアプテリン還元酵素欠損症と診断された 1 例
O-075	星野恭子	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	思春期に頸部ジストニアで発症し新規の遺伝子変異が同定された DYT-KMT2B (DYT28) の 1 例
O-076	野村昇平	市立ひらかた病院小児科	心因性的な下肢痛, 場面緘黙症として経過観察されていた ATP1A3 遺伝子異常の 1 例
O-077	眞下秀明	東京都立神経病院神経小児科	KMT2B 異常症の不随意運動に対する淡蒼球内節刺激術
O-078	田中 学	埼玉県立小児医療センター総合診療科	持続する筋緊張亢進状態に対するガバベンチンの効果

一般演題 (口演): 筋疾患 1

5 月 31 日 (金) 13:30~14:30 第 9 会場

座長 竹下絵里 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
石川幸辰 (国立病院機構八雲病院小児科)

O-079	内山伸一	NHO 西別府病院小児科	デュシェンヌ型筋ジストロフィー (DMD) における経皮的二酸化炭素モニターを活用した呼吸状態評価
O-080	石川悠加	国立病院機構八雲病院小児科	デュシェンヌ型筋ジストロフィー心筋症の小児における睡眠呼吸障害
O-081	鈴木理恵	国立病院機構宇多野病院小児神経科	食へのこだわりがある Duchenne 型筋ジストロフィー患者における栄養管理
O-082	野崎章仁	滋賀県立小児保健医療センター小児科	Duchenne muscular dystrophy に対する advanced care planning の経験
O-083	竹下絵里	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	デュシェンヌ型筋ジストロフィー兄弟例の診断過程と臨床像の検討
O-084	尾崎文美	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	デュシェンヌ型筋ジストロフィーの長期歩行可能例の臨床的特徴に関する検討

一般演題 (口演): 筋疾患 2

5 月 31 日 (金) 14:30~15:30 第 9 会場

座長 石垣景子 (東京女子医科大学病院小児科)
池田真理子 (藤田医科大学病院遺伝カウンセリング室)

O-085	七字美延	東京女子医科大学病院小児科	福山型先天性筋ジストロフィー患者における精神発達に関するアンケート調査
O-086	村上てるみ	東京女子医科大学小児科	福山型先天性筋ジストロフィー患者に対するステロイド療法の有効性
O-087	中村和幸	山形大学医学部小児科	Muscular dystrophy-dystroglycanopathy type B3 (MDDGB3) に新規 <i>POMGNT1</i> 変異を認めた 1 例
O-088	佐藤孝俊	東京女子医科大学小児科	福山型先天性筋ジストロフィーにおける尿中タイチンの測定
O-089	栗野宏之	神戸大学大学院医学研究科小児科	脊髄性筋萎縮症の尿中タイチン濃度は健常人に比べて高値である
O-090	栗野宏之	神戸大学大学院医学研究科小児科	Duchenne 型筋ジストロフィー患者を対象としたわさびの根茎に含まれるスルフィニル成分の筋崩壊抑制効果の検討

一般演題（口演）：遺伝・遺伝子異常 1

5月31日（金）15:30～16:30 第9会場

座長 栗屋智就（京都大学大学院医学研究科形態形成機構学）

岡本伸彦（大阪母子医療センター遺伝診療科）

O-091	岡本伸彦	大阪母子医療センター遺伝診療科	先天性グリコシル化異常症の分子診断
O-092	坂口友理	慶應義塾大学医学部小児科	虹彩異常を伴う知的障害：遺伝学的診断と腫瘍発生リスク推定におけるマイクロアレイ検査の役割
O-093	菊池敦生	東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野	JIP3 をコードする <i>MAPK8IP3</i> の recurrent <i>de novo</i> variants は痙性麻痺、知的障害、脳梁低形成を起こす
O-094	高野亨子	信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター	過成長を伴う発達遅滞・知的障害の遺伝要因および臨床症状の検討
O-095	柳原恵子	大阪母子医療センター小児神経科	運動時に悪化する失調、頭痛、てんかん発作、脱力症状を伴う液胞型 ATPase 遺伝子（ATP6V1A 遺伝子）異常の 1 例
O-096	丸山幸一	愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科	HECW2 遺伝子変異による神経発達障害の 1 例

一般演題（口演）：急性脳症 3

6月1日（土）10:10～11:10 第6会場

座長 中澤友幸（豊島病院小児科）

佐久間 啓（東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野こどもの脳プロジェクト）

O-097	倉橋宏和	愛知医科大学医学部小児科	可逆性脳梁膨大部病変を伴う軽症脳症における MYRF 関連遺伝子の解析
O-098	山口 宏	兵庫県立こども病院神経内科	出血性ショック脳症症候群（HSES）7 症例の詳細な臨床経過の検討
O-099	富岡和美	神戸大学大学院医学研究科小児科	時間単位で評価した急性脳症のサイトカイン動態解析：第 1 報
O-100	西山将広	神戸大学大学院医学研究科小児科	時間単位で評価した急性脳症のサイトカイン動態解析：第 2 報
O-101	中島啓介	東京都医学総合研究所神経細胞分化	けいれん重積患者に対する急性期の抗けいれん薬の使用法は後遺症と関係するか？
O-102	柏木 充	市立ひらかた病院小児科	長時間脳波モニタリングで経時的な脳波変化を観察し得た急性脳腫脹型脳症の 2 例

一般演題（口演）：自己免疫性脳炎

6月1日（土）11:10～12:10 第6会場

座長 糸見和也（あいち小児保健医療総合センター神経科）

鳥巢浩幸（福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野）

O-103	小松原孝夫	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	てんかん発作が先行せずに発症した Rasmussen 脳炎
O-104	乾 健彦	宮城県立こども病院神経科	多様な経過を呈した自己免疫性脳炎の 3 例
O-105	代田惇朗	埼玉県立小児医療センター神経科	自己免疫性介在性脳炎における難治てんかん重積状態と予後の関連
O-106	多田弘子	東京都医学総合研究所脳発達・神経再生分野こどもの脳プロジェクト	自己抗体関連免疫性中枢神経疾患における髄液中サイトカインプロファイルの多様性
O-107	福興なおみ	東北大学医学部小児科	再発予防投与を行わなかった抗 MOG 抗体陽性小児患者における長期予後
O-108	堀口明由美	埼玉県立小児医療センター神経科	当院での急性散在性脳脊髄炎 11 例の臨床経過と後遺症についての検討

一般演題 (口演): てんかん 治療 1

6 月 1 日 (土) 13:30~14:30 第 6 会場

座長 岩崎俊之 (北里大学医学部小児科)
今村 淳 (岐阜県総合医療センター小児科)

O-109	佐々木万里恵	慶應義塾大学医学部小児科	内因性コルチゾール非影響下において ACTH 療法が有効であった West 症候群の 1 例
O-110	中川栄二	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	神経発達症併存難治てんかんにおける新規抗てんかん薬の効果
O-111	星出まどか	山口大学大学院医学系研究科小児科	Cannabidiol の投与が有効であった Lennox-Gastaut 症候群の 1 例
O-112	岡崎 伸	大阪市立総合医療センター小児神経内科	小児期発症難治てんかん症例へのペランパネルとラコサミドの使用経験の対比
O-113	中山智博	茨城県立医療大学付属病院小児科	重心障害者の難治性てんかんに対する peramppanel の使用経験
O-114	山岸裕和	自治医科大学小児科	ペランパネルの治療効果と副作用の検討

一般演題 (口演): てんかん 治療 2

6 月 1 日 (土) 14:30~15:30 第 6 会場

座長 本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)
師田信人 (北里大学医学部脳神経外科)

O-115	藤本礼尚	聖隷浜松病院てんかんセンター	半球離断術は外斜視を来しうる
O-116	下野九理子	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	小児期発症難治てんかんの手術有効例の長期経過についての検討
O-117	白水洋史	国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科	視床下部過誤腫に対する定位温熱凝固術の有効性と合併症
O-118	九鬼一郎	大阪市立総合医療センター小児神経内科	急性脳炎・急性脳症後の難治性てんかんに対するてんかん外科治療の臨床的検討
O-119	渡邊嘉章	国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター	急性脳症、急性脳炎後に発症したスパズムに対する脳梁離断術の効果
O-120	本田涼子	国立病院機構長崎医療センター小児科	脳梁離断術後の発達指数 (DQ) の変化についての検討

一般演題 (口演): 新生児・早産児・周産期脳障害

6 月 1 日 (土) 15:30~16:30 第 6 会場

座長 加藤 徹 (岡崎市民病院脳神経小児科)
植松 貢 (東北大学病院小児科)

O-121	高橋章仁	倉敷中央病院小児科	新生児低酸素性虚血性脳症に対する冷却方法の変化は予後に何をもちたか?
O-122	井上普介	九州大学病院小児科	超早産児の晩期循環不全は脳性麻痺の危険因子である「周産期母子医療センターネットワーク 10 年まとめ事業」
O-123	坂口陽子	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	早産児の修正 40 週での安静時機能的 MRI と発達予後
O-124	平澤恭子	東京女子医科大学医学部小児科	極低出生体重児の発達障害診療における問題点
O-125	平良遼志	九州大学病院小児科	無呼吸を呈する 18 トリソミー児に対する管理と予後
O-126	守山汐理	国家公務員共済組合連合会立川病院小児科	向精神薬内服母体から出生した児の背景と臨床症状についての検討

一般演題（口演）：発達障害

6月1日（土）10:10～11:10 第7会場

座長 須藤 章（榆の会こどもクリニック）
小沢 浩（島田療育センターはちおうじ）

O-127	北原 光	大阪医科大学小児科	学習困難を主訴、もしくは学習障害疑いで紹介された初診患者の検討
O-128	末田慶太郎	札幌市子ども心身医療センター	新しい尺度 DCDC にて DCD が疑われた小中学生の特徴：soft neurological sign と M-ABC2 を用いて
O-129	永井利三郎	桃山学院教育大学	自閉スペクトラム症児の感覚特性と自閉症特性の関連
O-130	前田卿子	静岡医療福祉センター小児神経科	自閉スペクトラム症の早期介入ペアレントトレーニングの有効性
O-131	丸山隆子	独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター小児科	自閉症スペクトラム症（ASD）に対する新たな短時間応用行動分析療法（ABA）の提案
O-132	野崎真紀	医療法人社団昌仁醫務会瀬川記念小児神経学クリニック	自閉スペクトラム症児における乳児期の睡眠障害の特徴

一般演題（口演）：発達

6月1日（土）11:10～12:10 第7会場

座長 石川暢恒（広島大学病院小児科）
島川修一（大阪医科大学附属病院中央検査部・小児科）

O-133	橘 雅弥	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	ダウン症児の閉塞性睡眠時無呼吸の合併 ―当院における検査と治療の現状―
O-134	八木麻理子	にこにこハウス医療福祉センター小児科	日本版 Vineland-II 適応行動尺度を用いた Down 症候群の適応行動に関する検討
O-135	遠藤文香	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学（小児神経科）	West 症候群を発症した結節性硬化症症例のてんかんの経過と幼児期早期の発達について
O-136	山口和昭	ノバルティスファーマ株式会社薬制本部 安全性・再審査統括部再審査部	上衣下巨細胞性星細胞腫（SEGA）又は腎血管筋脂肪腫（AML）を有する小児結節性硬化症患者でのエベロリムスの安全性及び有効性
O-137	小寺澤敬子	姫路市総合福祉通園センター	二分脊椎の自閉スペクトラム症と知的障害の合併について
O-138	松岡雄一郎	島田療育センターはちおうじ小児科	手術治療を要した先天性心疾患児の感覚・運動の発達予後

一般演題（口演）：在宅・福祉・支援

6月1日（土）13:30～14:30 第7会場

座長 田中総一郎（医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台）
田沼直之（東京都立府中療育センター小児科）

O-139	相崎貢一	東京都心身障害者福祉センター障害認定課	第 15 条指定医講習会（肢体不自由）―東京都の取り組み―
O-140	水野美穂子	名古屋市小児科医会	名古屋市の小児科標榜医へのアンケート調査から見た小児在宅医療の課題
O-141	水谷聡志	ボバース記念病院小児神経科	慢性ビリルビン脳症による早産アテトーゼ型脳性麻痺児の介護負担感の評価
O-142	奥山直美	ボバース記念病院小児科	中学校入学後に心身症を発症し、環境調整にて改善を認めた歩行可能な脳性麻痺の 2 例
O-143	赤池洋人	川崎医科大学小児科	倉敷地区における医療的ケア児の災害対策に関する研究
O-144	和田 浩	大阪発達総合療育センター小児科	協働意思決定後、事前ケアプランを立てて在宅移行、看取りを行った重症新生児仮死児の 1 例

一般演題 (口演): 脳性麻痺 2

6月1日 (土) 14:30~15:30 第7会場

座長 丸山幸一 (愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科)

赤坂紀幸 (新潟県はまぐみ小児療育センター小児科)

O-145	松田真由美	茨城県立医療大学付属病院リハビリテーション部理学療法科	小児疾患患者に対するロボットスーツ HAL の単回装着の試み
O-146	田邊 良	千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科	Constraint-induced movement therapy (CI 療法) 小児例の課題と可能性の検討
O-147	松永愛香	国立病院機構南九州病院小児科	Constraint-induced movement therapy を施行した小児 7 例の報告
O-148	松本葉子	にこにこハウス医療福祉センター	側弯症の手術を受けた重症身心障害児者 6 名について
O-149	萩野谷和裕	宮城県立こども病院神経科	突発性交感神経過緊張は慢性期小児脳障害においてもみられる
O-150	本庄 哲	国立病院機構福岡病院小児科	重度重複障害者における大腸がんの危険因子: 長期臥床生活

一般演題 (口演): 免疫・感染

6月1日 (土) 15:30~16:30 第7会場

座長 福與なおみ (東北大学病院小児科)

吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

O-151	澤田貴彰	熊本大学医学部小児科	脳生検による組織検査で診断された多発性硬化症
O-152	松重武志	山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科	亜急性硬化性全脳炎診断における髄液麻疹抗体価の検査法とカットオフ値の検討
O-153	関 衛順	神奈川県立こども医療センター神経内科	脳ヘルニア症例の血清 C-reactive protein 値に関する検討
O-154	古川 源	豊川市民病院小児科	当院における髄液検査の適応の実態調査
O-155	木水友一	大阪母子医療センター小児神経科	当院における Opsoclonus Myoclonus Syndrome 3 症例の治療経験
O-156	蒲 ひかり	神奈川県立こども医療センター神経内科	メチルプレドニゾロンパルス療法反復により症状再燃が抑制された再燃性小脳失調の 3 症例

一般演題 (口演): 脊髄性筋萎縮症 1

6月1日 (土) 10:10~11:10 第8会場

座長 村上てるみ (東京女子医科大学病院小児科, 国立病院機構東埼玉病院神経内科)

藤井達哉 (滋賀県病院事業庁・滋賀県立小児保健医療センター小児科)

O-157	元木崇裕	愛媛大学医学部小児科	生後 3 カ月よりヌシネルセン投与を開始し維持投与期に達した脊髄性筋萎縮症 1 型の一卵性双胎例
O-158	川村健太郎	医療法人稲生会生涯医療クリニックさっぽろ	非侵襲的陽圧換気と機械による咳介助を用いて抜管を行ったヌシネルセン治療中の脊髄性筋萎縮症 1 型の 1 例
O-159	高瀬菜々子	東京女子医科大学八千代医療センター小児科	ヌシネルセン投与後に水頭症を認めた脊髄性筋萎縮症 1 型の 1 症例
O-160	永井正志	神戸大学大学院医学研究科小児科	1 歳以降にヌシネルセン治療を開始した脊髄性筋萎縮症 1 型の 3 例
O-161	長谷川三希子	獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科	ヌシネルセン治療の粗大および微細運動への効果 一気管切開下人工呼吸管理中の脊髄性筋萎縮症 1 型 10 歳の 1 症例報告
O-162	齊藤利雄	国立病院機構大阪刀根山医療センター小児神経内科	脊髄性筋萎縮症成人例へのヌシネルセン投与経験

一般演題 (口演): 脊髄性筋萎縮症 2

6月1日 (土) 11:10~12:10 第8会場

座長 栗野宏之 (神戸大学医学部附属病院親と子の診療部)
石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

O-163	岩山秀之	愛知医科大学医学部小児科	側弯を伴う脊髄性筋萎縮症成人患者における傍正中法によるヌシネルセン髄腔内投与
O-164	福田智文	産業医科大学医学部小児科	側弯に対する脊椎固定術後にヌシネルセン髄腔内投与を行った脊髄性筋萎縮症の2例
O-165	藤井達哉	滋賀県立小児保健医療センター小児科	加加速度累積による脊髄性筋萎縮症患者のヌシネルセン治療効果の評価
O-166	古寺一樹	独立行政法人国立病院機構新潟病院小児科	脊髄性筋萎縮症 II 型小児における小型モデル HAL を併用したリハビリテーションの経験
O-167	Omar Dabbous	AveXis, Inc.	Early diagnosis and speed to effect in spinal muscular atrophy type 1 (SMA1)
O-168	Meredith Schultz	University of Wisconsin School of Medicine and Public Health	AVXS-101 gene-replacement therapy in presymptomatic spinal muscular atrophy (SMA): study update

一般演題 (口演): 遺伝・遺伝子異常 2

6月1日 (土) 10:10~11:10 第9会場

座長 伊藤弘道 (鳴門教育大学大学院学校教育研究科特別支援教育専攻・心身健康センター)
高橋 悟 (旭川医科大学小児科)

O-169	橋本梨沙	国立成育医療研究センター教育研修センター	日本人コケイン症候群の CSA 変異と腎障害
O-170	武内俊樹	慶應義塾大学医学部小児科	武内・小崎症候群の感音性難聴についての検討
O-171	安西有紀	医療法人社団昌仁馨修会瀬川記念小児神経学クリニック	Rett 症候群の各重症度スケールを使用した重症度評価 ―利点と問題点―
O-172	鈴木 智	国立成育医療研究センター病院神経内科	家族性片麻痺性片頭痛を呈した PRRT2 変異を持つ 3 世代例
O-173	難波栄二	鳥取大学研究推進機構研究戦略室	脆弱 X 症候群・脆弱 X 症候群関連疾患の診断: 保険診療での実施状況
O-174	鳥居深雪	神戸大学大学院人間発達環境学研究所	Fragile-X 症候群の診断後の患者と家族をどのように支援するべきか

一般演題 (口演): 神経変性疾患と末梢神経

6月1日 (土) 11:10~12:10 第9会場

座長 阿部裕一 (国立成育医療研究センター神経内科)
青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

O-175	吉田誠克	京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科	小児期発症のアレキサンダー病の臨床学的データ
O-176	板垣里奈	一般財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター	神経セロイドリポフスチン症 (NCL) I 型及び II 型におけるてんかん患者のハイリスクスクリーニングの検討と病態解析
O-177	加藤辰輔	札幌医科大学小児科	MTMR2 変異を認めた声帯麻痺合併 Charcot-Marie-Tooth 病 4B1 の兄妹例
O-178	森田 翼	獨協医科大学埼玉医療センター	Tay-Sachs 病乳児型の 1 例
O-179	岩間真弓	亀田メディカルセンター小児科	頸椎症性筋萎縮症の 12 歳男児例
O-180	萩野谷和裕	宮城県立こども病院神経科	小児期発症痙攣性対麻痺 91 症例の臨床的・遺伝学的解析

一般演題 (口演): 血管障害・外科

6月1日(土) 13:30~14:30 第9会場

座長 稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)
澤石由記夫 (秋田県立医療療育センター)

O-181	萩原 翔	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	小児の脊髄梗塞アンケート調査 Part 1: 臨床症状・検査編
O-182	藤代賢亮	千葉大学大学院小児病態学	小児の脊髄梗塞アンケート調査 Part 2: 治療・予後編
O-183	大橋瑛梨	東京大学医学部附属病院小児科	造血幹細胞移植後早期の中枢神経合併症
O-184	古賀靖敏	久留米大学医学部小児科	アルギニンによる超急性期治療における臨床症状, MRI 画像, GDF15 の推移
O-185	杉立 玲	前橋赤十字病院小児科	和文誌における2歳未満の硬膜下血腫事例の文献的検討: 第三者目撃のある明確な低エネルギー性損傷の重篤/死亡事例は存在するか
O-186	岡田 悠	みくりキッズくりにつく	定期健診にて仙骨部皮膚陥凹を認めた100症例における後方視的検討

一般演題 (口演): 精神・頭痛・自律神経

6月1日(土) 14:30~15:30 第9会場

座長 山中 岳 (東京医科大学小児科)
川谷正男 (福井大学医学部附属病院小児科)

O-187	大谷良子	獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター	小児摂食障害男児例の臨床的特徴の検討
O-188	松島奈穂	獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター	小児摂食障害の早期発見: 過去5年間における「気づき」調査
O-189	河野美奈	川崎医科大学附属病院小児科	岡山県倉敷市周辺地域における西日本豪雨後にストレス症状を示した小児に対する心のケア
O-190	東本和紀	島根大学医学部小児科	SCN9A 遺伝子変異を有する発作性激痛症と肢端紅痛症を合併した女児例
O-191	藤原絢子	姫路赤十字病院	弧発性片麻痺性片頭痛の6例
O-192	大橋育子	三豊総合病院小児科	当科を受診した頭痛患者の検討

一般演題 (口演): 筋疾患 3

6月1日(土) 15:30~16:30 第9会場

座長 米川貴博 (三重大学大学院医学系研究科小児科学)
本橋裕子 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

O-193	久保田 淳	厚木市立病院小児科	18p 欠失症候群に合併した全身型重症筋無力症の1男児例
O-194	井上道雄	国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部	抗合成酵素症候群と皮膚筋炎は病態が異なる
O-195	石黒久美子	東京女子医科大学医学部小児科	小児期発症カベオリン異常症の骨格筋 MRI 画像の特徴的な所見
O-196	福田冬季子	浜松医科大学小児科	進行性筋力低下を示す糖原病3型の予後についての調査研究: 成人症例の解析
O-197	土田晃輔	市立函館病院小児科	若年発症の心房粗動後に診断された筋強直性ジストロフィーの2例
O-198	那須野 将	信州大学医学部附属病院小児科	臨床症状では先天性ミオトニアとの鑑別が困難であった先天性パラミオトニアの母子例

一般演題（ポスター）：優秀ポスター賞

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数）ポスター会場

P-001	奥園清香	九州大学医学部小児科	EFTUD2 関連小頭症における分子シグナル異常
P-002	大沼周平	株式会社ビー・エム・エル	遺伝学的検査「脊髄性筋萎縮症（SMA）の遺伝子解析」の有用性
P-003	森宗孝夫	滋賀医科大学神経難病センター創薬研究部門	若年特性を活用した小児神経疾患の治療戦略
P-004	岩田 啓	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	驚愕てんかんの発作時 SPECT 所見
P-005	塩浜 直	千葉大学小児病態学	PTEN hamartoma tumor syndrome における脳形態の解析
P-006	上田理誉	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部	脳梁離断術後のてんかん発作予後良好群の脳構造ネットワーク変化
P-007	矢野直子	京都大学医学部附属病院小児科	ALD に対する骨髄移植治療評価における MRI・MRS の有用性に関する検討
P-008	植松有里佳	東北大学病院小児科	先天性大脳白質形成不全症における末梢神経障害の病態解析
P-009	溝部吉高	国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部	スカベンジャー受容体 A1/ジストロフィン二重欠損マウスでは筋傷害誘導後の線維化が抑制される
P-010	野田麻里絵	福岡歯科大学小児科	2015 年秋に多発した急性弛緩性脊髄炎の末梢神経障害

一般演題（ポスター）：遺伝（症例）

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数）ポスター会場

P-011	森 篤志	滋賀県立小児保健医療センター小児科	Genitopatellar 症候群の 1 例：膝蓋骨欠損を見落とすべからず
P-012	中澤美賀	賛育会病院小児科	MYH3 遺伝子変異を認めた Freeman-Sheldon 症候群の男児例
P-013	露崎 悠	神奈川県立こども医療センター神経内科	もやもや病を伴った IFIH1 遺伝子 R720Q 変異による Aicardi Goutieres 症候群の 1 例
P-014	五十嵐亮太	産業医科大学小児科	当院で経験した Lowe 症候群の 2 例
P-015	関 真澄	東京都立北療育医療センター小児科	学童期に発症して呼吸停止をきたした脳梁非薄化を伴う痙性麻痺の 1 例
P-016	杉原 進	東京都立北療育医療センター小児科	洞停止を呈した先天性中枢性低換気症候群の 1 例

一般演題（ポスター）：遺伝（染色体）

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数）ポスター会場

P-017	太田健人	鳥取県立中央病院小児科	当院における 18 トリソミー 21 例の予後と生存退院に関する後方視的検討
P-018	大越優美	都立府中療育センター小児科	異なるてんかん経過を辿った認知症ダウン症候群の 2 例
P-019	井手見名子	兵庫県立尼崎総合医療センター小児科	頻回のミオクロニー発作を契機に診断された isodicentric chromosome 15 syndrome の 1 男児例
P-020	柳下友映	東京女子医科大学ゲノム診療科	精神運動発達遅滞・特徴的顔貌・心奇形を認める 19q13.32 欠失の新規症例
P-021	岡野聡美	北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター	まだら異数性モザイク症候群の女児例
P-022	今泉太一	東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科	10 番染色体長腕サブテロメア欠失の 6 例

一般演題（ポスター）：遺伝（研究）

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-023	新井田 要	金沢医科大学病院ゲノム医療センター	クリニカルシーケンスのための dUTP-UDG システムを用いた PCR デコンタミネーションラボの確立
P-024	木住野達也	長崎大学先端生命科学研究支援センター ゲノム機能解析分野	Necdin 遺伝子の重複をもつトランスジェニックマウスは Necdin を過剰発現する
P-025	山本圭子	東京女子医科大学遺伝子医療センター ゲノム診療科	女性 Pelizaeus-Merzbacher 病患者の発症メカニズムと治療戦略の検討

一般演題（ポスター）：遺伝（不随意運動）

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-026	若林 慶	自治医科大学小児科	乳児期から大脳半球の萎縮とジストニアを認めた MCT8 欠損症の 1 例
P-027	平野恵子	磐田市立総合病院小児科	クロナゼパムが著効した MR-1 遺伝子変異による発作性非運動誘発性ジスキネジアの父娘例
P-028	米衛ちひろ	南九州病院小児科	GNAOI 遺伝子変異を認め重症の不随意運動を呈した 1 例

一般演題（ポスター）：神経皮膚症候群・先天異常

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-029	阿部 裕	東北大学病院小児科	両側性頭蓋内軟膜血管腫を呈したスタージ・ウェーバー症候群の 2 例
P-030	中井理恵	大阪大学大学院医学系研究科小児科	結節性硬化症患者における中枢神経症状への mTOR 阻害薬の効果の検討
P-031	川口達也	奈良県立医科大学小児科	脳梗塞を合併した結節性硬化症の 1 例
P-032	佐藤敦志	東京大学医学部附属病院小児科	結節性硬化症診療連携チーム結成による患者受診状況の変化
P-033	緒方朋実	群馬大学大学院医学系研究科小児科	群馬大学病院における結節性硬化症の多科診療連携の構築と運用
P-034	里 龍晴	長崎大学病院小児科	当院における腰仙部皮膚陥凹と潜在性二分脊椎診療に関する検討

一般演題（ポスター）：発達（治療）

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-035	林 優子	県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科	自閉症スペクトラムに対する第二世代抗精神薬の体重への影響
P-036	花岡 繁	松戸市こども発達センター	自閉スペクトラム症児の言語・コミュニケーションへの抑肝散の効果
P-037	市田幸子	順天堂大学医学部小児科	神経疾患および発達障がい児に対して音楽療法はなぜ良いのか？

一般演題（ポスター）：発達（評価法，その他）

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-038	鷺見 聡	日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科	新分類「社会的コミュニケーション症」の臨床的意義について
P-039	大場千鶴	市立ひらかた病院小児科	発達外来における Vineland2 適応行動尺度検査
P-040	豊浦麻記子	兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター	発達障害の要支援度評価尺度（MSPA）を用いた概日リズム睡眠障害児の発達特性に関する検討
P-041	友納優子	北九州市立総合療育センター小児科	当院の発達障害診療における MSPA の使用経験
P-042	中村由紀子	島田療育センターはちおうじ神経小児科	学童期の神経発達障害における M-ABC2 を用いた協調の評価
P-043	青柳閣郎	山梨大学医学部小児科	快・不快に関する共感の電気生理学的研究 ―自閉症スペクトラムにおける検討―
P-044	山田修一	奈良県立医科大学脳神経外科	自閉症スペクトラム障害児における非侵襲的頭蓋内圧推測法の開発

一般演題（ポスター）：療育・支援

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-045	井上大嗣	長崎県立こども医療福祉センター	短期親子入院の反復による集中リハビリ介入の有効性
P-046	鯨島希代子	独立行政法人国立病院機構南九州病院小児科	鹿児島県でのダウン症児の赤ちゃん体操の取り組み
P-047	豊野美幸	秋田県立医療療育センター小児科	医療型障害児入所施設で看取りを行った超重症児（者）4 例の検討
P-048	平野嘉子	東京都立東大和療育センター分園よつぎ療育園	当療育園における成人通所利用者の医療ケアについて
P-049	伊東 藍	島田療育センターはちおうじ小児科	カンニューレフリー管理に関する通所施設での取り組み
P-050	小関直子	東京都立北療育医療センター	気管切開を受けて当院通園施設に登園している児の食事摂取状況と臨床像
P-051	津田聡子	聖隷クリストファー大学看護学部	知的障害のある思春期女子の月経教育に関する実態調査 ―本人の月経への認識や行動に関する一考察―
P-052	倉橋直子	愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科	ひらがな音韻化障害が疑われた中枢性視覚障害のない後頭葉優位病変の新生児脳症の 1 例
P-053	福井美保	大阪医科大学小児科	読字障害をもつ極低出生体重児の視覚認知機能の特徴について

一般演題（ポスター）：てんかん（薬物療法）

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-054	石破佳永子	エーザイ株式会社	AMPA 受容体選択的阻害剤ペランパネルの小児てんかん患者に対する安全性、忍容性及び有効性について：311 試験中間解析
P-055	吉永治美	国立病院機構南岡山医療センター小児科・小児神経科	AMPA 受容体選択的阻害剤抗てんかん薬ペランパネルの青年期患者に対する有効性及び安全性について：第 II/III 相試験の統合解析
P-056	八戸由佳子	久留米大学小児科	当院での perampanel の使用経験
P-057	沢石由記夫	秋田県立医療療育センター小児科	Perampanel の至適投与法に関する検討
P-058	富樫紀子	宮城県立こども病院神経科	重症心身障害児・者のてんかんへのペランパネルの使用経験
P-059	石井雅宏	産業医科大学医学部小児科	重症心身障がい児（者）のてんかんに対する perampanel 使用の後方視的検討
P-060	川口将宏	名古屋大学医学部小児科	小児期発症の難治てんかんにおけるペランパネルの有効性
P-061	島川修一	大阪医科大学小児科	点頭発作に対するペランパネルの効果
P-062	吉田真衣	田附興風会医学研究所北野病院小児科	ケトン食療法およびペランパネル投与が効果的だった皮質形成異常に伴う難治てんかんの 1 男児例
P-063	中村恭子	名護療育医療センター小児科	ペランパネルが有効であった歯状核赤核淡蒼球リ体萎縮症 (DRPLA) の 1 例
P-064	小西行彦	香川大学医学部小児科	PME に対しペランパネルが有効であった DRPLA の 3 例

一般演題（ポスター）：てんかん（診断・遺伝子）

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-065	田辺仁彦	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	PCDH19 遺伝子関連てんかん 3 症例の臨床的特徴
P-066	池田 梓	神奈川県立こども医療センター神経内科	Lennox-Gastaut 症候群を呈した Christianson 症候群の 2 例
P-067	久保田弘樹	秋田大学医学部小児科	HCN1 遺伝子バリエーションの早期乳児てんかん性脳症の 1 例
P-068	池田ちづる	国立病院機構熊本再春荘病院小児科	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかんから West 症候群へ変容した IRF2BPL 遺伝子変異の 1 例
P-069	森岡景子	静岡てんかん・神経医療センター	CDKL5 遺伝子異常による難治てんかん 10 例の検討：発達の特徴
P-070	平出拓也	浜松医科大学医化学	SETD1B 遺伝子の de novo 変異を認めた知的障害・自閉症スペクトラム障害・てんかんを呈する 3 例
P-071	有坂敦子	東京都立神経病院神経小児科	YWHAG 遺伝子変異によるてんかん性脳症の臨床的特徴
P-072	朝倉真理	公立昭和病院小児科	難治てんかんに対してレベチラセタムを含む多剤併用療法が有効であった 14 番環状染色体症の 2 例
P-073	若林知宏	札幌医科大学小児科	長時間脳波モニタリングで捕捉した非けいれん性てんかん重積を契機に診断した環状 20 番染色体症候群の 1 例
P-074	足立美穂	岐阜大学大学院医学系研究科小児科	全エクソーム解析で 6 番染色体長腕領域の欠失を認めた West 症候群の 1 例
P-075	中田智彦	名古屋大学医学部小児科	中心・側頭部に棘波をもつ良性小児てんかんに類似するてんかんを合併した Worster-Drought syndrome の 1 例
P-076	佐野史和	山梨大学医学部薬理学	Identification of epileptogenic astrocyte mediated by astrocytic Ca^{2+} signals via IP_3 receptor type 2
P-077	伊藤 研	東京慈恵会医科大学小児科	当科で経験した Mowat-Wilson 症候群 3 例に合併したてんかんの臨床的特徴

一般演題（ポスター）：画像・発作症状

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-078	沖田 空	加古川中央市民病院小児科	熱性けいれん重積患者における発作終了後早期の arterial spin labeling (ASL) を用いた脳血流の検討
P-079	大塚圭祐	長崎大学病院医療教育開発センター	ASL (arterial spin labeling) が診断に有用であった可逆性脳梁膨大部病変を伴う軽症脳炎・脳症 (MERS) に小脳炎を合併した 2 症例
P-080	緒方怜奈	国立病院機構小倉医療センター	発熱時にけいれん群発・重積し、拡散強調像で異常高信号を呈した 4p-症候群の女児例
P-081	菅原祐之	草加市立病院小児科	有熱時けいれん重積頓挫後の頭部 CT 撮像中における再けいれんに関する検討
P-082	北村太郎	仙台市立病院小児科	当院の救急外来を受診した憤怒けいれん (BHS) の検討
P-083	大府正治	南部徳洲会病院小児科	ミオクロニーてんかんと間違えやすい乳児良性睡眠ミオクロヌスの鑑別

一般演題（ポスター）：脊髄性筋萎縮症

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-084	島崎 敦	長崎大学病院小児科	診断後速やかにヌシネルセン投与を開始した脊髄性筋萎縮症 1 型 (SMA1 型) の治療経過
P-085	石原尚子	藤田医科大学医学部小児科	脊髄性筋萎縮症 1 型に対するヌシネルセン投与後の呼吸機能に対する効果の検討
P-086	渡辺美緒	群馬県立小児医療センター神経内科	ヌシネルセン治療を開始した脊髄性筋萎縮症 1 型の 14 歳女児例
P-087	所谷知穂	高知医療センター小児科	当院で経験した脊髄性筋萎縮症 2 例 (1 型, 3 型) におけるヌシネルセン投与の工夫と課題
P-088	柿本 優	東京大学医学部附属病院小児科	発症後早期にヌシネルセン投与を開始し運動発達の改善が得られた脊髄性筋萎縮症 2 型の 1 例
P-089	弓削康太郎	久留米大学医学部小児科	粗大運動機能に制限がある進行 SMA 患者に対するヌシネルセンの有効性評価方法の検討
P-090	住友典子	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	SMA2, 3 型の心拍変動解析による自律神経機能の評価およびヌシネルセンの効果
P-091	荒畑幸絵	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	脊髄性筋萎縮症 2 型, 3 型における, ヌシネルセン投与による電気生理学的所見の変化
P-092	石川暢恒	広島大学病院小児科	脊髄性筋萎縮症に対するヌシネルセンの使用経験
P-093	牧野道子	東京小児療育病院小児科	当院における脊髄性筋萎縮症の治療への関わり
P-094	浦手梨紗子	愛媛大学医学部医学科	四国島におけるヌシネルセン投与症例のまとめ
P-095	馬場悠生	鹿児島大学医学部小児科	鹿児島県においてヌシネルセン投与を施行した SMAI 型患者の治療効果
P-096	Richard S. Finkel	Nemours Childrens Hospital	The RESTORE registry : A resource for measuring and improving Spinal Muscular Atrophy (SMA) outcomes

一般演題（ポスター）：急性弛緩性麻痺

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-097	下田木の実	東京大学医学部小児科	急性弛緩性麻痺を呈し反復刺激試験で早期に診断された乳児ボツリヌス症例
P-098	藤井史彦	福岡市立こども病院小児神経科	血液検体からコクサッキーウイルス A4 が検出された急性弛緩性脊髄炎の 1 例
P-099	六鹿泰弘	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院小児科	エンテロウイルス D68 が検出された重症麻痺を伴う急性弛緩性脊髄炎の 1 例
P-100	平野翔堂	大阪母子医療センター小児神経科	急性弛緩性脊髄炎の 2 例
P-101	小林 悟	名古屋市立西部医療センター	エンテロウイルス D68 による急性弛緩性脊髄炎 2 例の電気生理学的検査所見の検討
P-102	須田正勇	聖マリア病院小児科	2 クールの免疫グロブリン大量療法が有効であった急性弛緩性脊髄炎の 1 例

一般演題（ポスター）：急性脳症（けいれん重積型）

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-103	山本直寛	大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科	けいれん重積型（二相性）急性脳症と急性脳炎，脳血管炎を主体とする病態との併存を認めた 3 症例の臨床的検討
P-104	守谷充司	仙台市立病院小児科	けいれん重積型急性脳症における予測スコアの検討
P-105	石垣英俊	浜松医科大学小児科	当院における二相性脳症 6 例の脳症後てんかんの検討
P-106	渡辺好宏	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター	けいれん重積型（二相性）急性脳症後のてんかん発症に関する検討

一般演題（ポスター）：急性脳症（その他）

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-107	川上沙織	九州大学小児科	造血幹細胞移植後に急性白質脳症を示した 1 例
P-108	短田浩一	京都第一赤十字病院小児科	急激な経過で死亡した急性脳症を合併した血球貪食性リンパ性組織球症（HLH）の 1 例
P-109	近藤英輔	川崎医科大学小児科	急性脳症を発症した急性巣状細菌性腎炎（AFBN）の 1 例
P-110	安部信平	順天堂大学医学部小児科	IgA 血管炎の疑いがあり急性脳症を発症した 2 例
P-111	一宮優子	九州大学小児科	周期性発熱の経過中に発症した急性脳症の 2 歳男児

一般演題（ポスター）：ウィルス感染・小脳炎

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-112	竹中 暁	東京大学医学部附属病院小児科	亜急性硬化性全脳炎の 2018 年全国サーベイランス調査
P-113	内原志野	琉球大学大学院医学研究科小児科	インフルエンザウイルスによる急性壊死性脳症に対して低体温療法を施行した 1 例
P-114	古山晶子	さいたま市民医療センター小児科	ヒトパレコウイルス急性脳症後にけいれん重積型脳症を発症した 1 例
P-115	松下浩子	京都市立病院小児科	ヘルペス脳炎の経過中に一過性白質病変を呈した 6 歳男児例
P-116	松本貴子	兵庫県立尼崎総合医療センター小児科	パルボウイルス脳炎の遠隔期に部分てんかんを発症した女児例
P-117	岩松浩子	大分県立病院小児科	ロタウイルス腸炎に伴い急性脳症と甲状腺クリーゼを合併したと考えられた 4 歳女児例
P-118	青山弘美	千葉県こども病院神経科	長期間の意識障害，無言症を呈したロタウイルス急性脳炎・小脳炎の 1 例
P-119	森田可奈子	松戸市立総合医療センター小児科	脳幹小脳炎後遷延する意識障害に対して TRH 療法を行った 1 例
P-120	内藤優樹	京都第二赤十字病院小児科	急性小脳失調症（ACA）の初期治療方針に関する自験例 4 例の検討

一般演題（ポスター）：血管障害

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-121	高橋孝治	総合病院土浦協同病院小児科	一過性に立位不能となった既往があり，今回脊髄梗塞を発症した脊髄動静脈瘻の幼児例
P-122	松尾宗明	佐賀大学医学部小児科	もやもや病の狭窄部位と血流剪断応力の分布の関連性の検討
P-123	北見欣一	東京都立小児総合医療センター神経内科	小児脳梗塞の診断確定に要した時間に関する検討
P-124	森宗孝夫	滋賀医科大学小児科	運動失語で発症したシクロスボリン脳症の 1 例

一般演題（ポスター）：脳外科領域

5月31日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-125	吉岡史隆	佐賀大学医学部脳神経外科	少量の硬膜外血腫で激しい頭痛を生じた静脈洞狭窄の小児例
P-126	林 仁美	福岡大学医学部小児科	上室性頻拍を契機に発症し血栓回収療法が奏功した心原性脳梗塞の 6 歳男児例
P-127	荻野元子	大阪医科大学附属病院小児科	反復する神経症状を認め原発性中枢神経血管炎が疑われた 1 例
P-128	菊地正広	日立総合病院小児科	知的障害を主訴に受診した睡眠時無呼吸を伴うキアリ奇形Ⅰ型に対する大後頭孔減圧術の効果

一般演題（ポスター）：頭痛

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-129	跡部真人	あいち小児保健医療総合センター神経科	斜視手術を要した再発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーの 1 例
P-130	尾崎裕彦	心身障害児総合医療療育センター小児科	自閉スペクトラム症が共存する慢性連日性頭痛に漢方治療が奏効した 1 例
P-131	水川花織	一宮西病院小児科	当科における小児慢性連日性頭痛に対する塩酸ロメリジンの検討
P-132	小侯優子	千葉メディカルセンター小児科	一次性咳嗽性頭痛の小児例

一般演題（ポスター）：精神

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-133	北岸弥寿朗	近江八幡市立総合医療センター小児科	解離性障害が原因と考えられる意識障害に対して、人工呼吸が必要となった 14 歳女児
P-134	成田有里	埼玉県立小児医療センター保健発達部心理	幼児の心身症についての一考察
P-135	山本寿子	川崎市立多摩病院小児科	歩行障害を主訴として受診した症例の検討

一般演題（ポスター）：新生児・周産期脳障害

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-136	加久翔太郎	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター新生児科	新生児仮死後に急性期脳梗塞を認めた 2 例
P-137	澤田大輔	旭中央病院新生児科	拡散強調像で皮質脊髄路・脳梁に一過性高信号を認めた新生児脳梗塞
P-138	阪上智俊	京都府立医科大学大学院小児科学	早産児における軽症脳室内出血が、小脳と 3 歳時の発達予後に与える影響：拡散テンソル画像を用いた定量的な評価
P-139	日高欣哉	出口小児科医院	超早産児の視覚認知の特徴とその発達の影響
P-140	鳥尾倫子	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	極低出生体重児の 9 歳時の神経学的予後 一単施設の報告—
P-141	杉本真里	豊橋市民病院小児科	新生児脳症症状を呈した単純脳回の 1 例
P-142	石井佐綾香	独立行政法人国立病院機構甲府病院小児科	出生後早期に治療介入し長期経過良好である先天性トキソプラズマ症の 1 例
P-143	大場温子	東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科	遅発性に外転神経麻痺が明らかとなったメビウス症候群の 2 例

一般演題（ポスター）：栄養

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-144	西倉紀子	滋賀医科大学小児科	離乳後鉄欠乏ラットの側坐核における Reelin 遺伝子発現の変化
P-145	高橋美智	島田療育センター小児科	重症心身障害者におけるバルプロ酸内服者の血中遊離カルニチンと骨格筋量についての検討
P-146	藤田弘之	北九州市立総合療育センター小児科	抗菌薬の長期投与および絶食が原因でビタミン K 欠乏症を発症した重症心身障がい者の 1 例

一般演題（ポスター）：脳性麻痺

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-147	瀧沢裕司	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院小児科	両側 1 次運動野の中心傍小葉に瘢痕回を認めた 1 例
P-148	渋谷守栄	宮城県立こども病院神経科	TBL1XR1 遺伝子変異を伴った低緊張性四肢麻痺の 1 例
P-149	田邊 良	千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科	Constraint-induced movement therapy（CI 療法）小児例の治療経験のまとめ
P-150	山口裕美	順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室	痙性両麻痺と不随意運動が混在する脳性麻痺児に対するボツリヌス療法の効果
P-151	鈴木清高	国立病院機構豊橋医療センター	対応困難な吃逆様動作がみられる重症心身障害児者における心拍変動解析
P-152	尾上幸子	枚方総合発達医療センター小児科	高度側弯を呈した重症心身障害児・者の臨床的特徴―側弯を認めない重症例との比較
P-153	田沼直之	東京都立府中療育センター小児科	重症心身障害児者の腸内細菌叢の解析
P-154	長濱明日香	社会医療法人関愛会坂ノ市病院小児科	大分県における医療的ケアを必要とする重症心身障害者等の移行期医療に関する実態調査
P-155	池田祥碩	鳥取大学医学部	医療的ケア児・者の在宅生活の満足度と問題点に関する養育者を対象としたインタビュー調査
P-156	山田博之	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	鳥取県における 10 年間の脳性麻痺児の実態把握調査

一般演題（ポスター）：重心・在宅

5 月 31 日（金）17:00～17:45（演題番号：奇数），17:45～18:30（演題番号：偶数） ポスター会場

P-157	佐々木彩恵子	滋賀県立小児保健医療センター小児科	Tracheostomy positive pressure ventilation による腸管気腫症の 2 例
P-158	山本崇裕	岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学	皮下埋め込み型ポートを留置した医療ケアを要する 3 症例の検討
P-159	中村裕子	埼玉県立小児医療センター集中治療科	重症心身障害児の end of life care を考える
P-160	雨宮 馨	さいわいこどもクリニック在宅診療部	複数回の ACP により、親の終末期の事前の意思決定が変化し、在宅看取りに至った進行性神経疾患の 1 例
P-161	遠藤雄策	浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科	浜松市における在宅で医療的ケアを必要とする子どもと家族に関する調査
P-162	鈴木輝彦	浜松市発達医療総合福祉センター小児科	浜松市における在宅で医療的ケアを必要とする子どもにかかわる事業所に関する調査
P-163	玉崎章子	鳥取大学医学部附属病院小児在宅支援センター	鳥取県における小児在宅支援体制構築のための人材育成の取り組み
P-164	水野美穂子	社会医療法人宏潤会大同病院こども総合医療センター	特別支援学校における医療的ケアの標準化への取り組み
P-165	河崎洋子	にこにこハウス医療福祉センター	重症心身障害児者・支援者防災合同シュミレーション研修の試み
P-166	米田 哲	JCHO 九州病院小児科	災害発生時の避難に配慮が必要な患者や家族の、災害に対する準備状況と避難に対する意識調査

一般演題（ポスター）：遺伝（大脳形成）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-167	若本裕之	愛媛県立子ども療育センター小児科	5q14.3 欠失症候群の 1 例
P-168	和田恵子	東京小児療育病院小児科	重症な中枢神経症状を呈し複合ヘテロ ROR2 変異を有する 1 女性例
P-169	黒子由梨香	聖路加国際病院小児科	大頭症，軽度運動発達遅滞，白質信号異常を呈し，PTEN 遺伝子変異を認めた男児例
P-170	佐藤 亮	宮城県立こども病院神経科	PNPT1 遺伝子変異は大脳白質障害を引き起こす
P-171	大久保幸宗	宮城県立こども病院神経科	単純脳回型小頭症，難治性てんかんと進行性の脳萎縮をきたした PNPLA8 遺伝子異常の 1 例
P-172	今村 淳	岐阜県総合医療センター小児科	KIF5C 異常による前頭部優位厚脳回の 1 例 —既報告 6 例との比較検討—
P-173	四俣一幸	鹿児島市立病院小児科	TUBB2B 遺伝子変異による脳形成異常の 1 例
P-174	小林 悠	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	片側巨脳症に合併した肝多発性限局性結節性過形成に伴う脳腫瘍が疑われる女性例

一般演題（ポスター）：遺伝（小脳形成）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-175	小出彩香	東京都立府中療育センター小児科	有馬症候群の 1 剖検例 —16 年間の腹膜透析を経て—
P-176	榊原崇文	奈良県立医科大学小児科	外性器異常の乏しい橋小脳低形成症 7 型（PCH7）の 1 例
P-177	西尾洋介	トヨタ記念病院小児科	Mental retardation and microcephaly with pontine and cerebellar hypoplasia (MICPCH) の成人例
P-178	平井聡里	ボバース記念病院	発症経過の異なる ABCB7 遺伝子変異を持つ小脳性運動失調の兄弟例
P-179	水野朋子	東京医科歯科大学小児科	KBG 症候群は Dandy-Walker variant を合併する
P-180	原口康平	長崎大学病院小児科	CSORF42 変異による Joubert 症候群の 1 例

一般演題（ポスター）：遺伝（発達障害）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-181	辻 恵	神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設	急性脳症を発症し非典型的な経過を示した GNB1 遺伝子変異を持つ精神運動発達遅滞の 2 例
P-182	荒井 篤	田附興風会医学研究所北野病院小児科	てんかんと自閉症スペクトラム症を伴った SZT2 変異例と CHD2 変異例の報告
P-183	前田寿幸	佐賀大学医学部小児科	GRIA3 遺伝子変異の 1 例
P-184	大澤由記子	多摩北部医療センター小児科	NRXN1 遺伝子欠損を認めた精神運動発達遅滞の 1 家系
P-185	林 仁幸子	福井県こども療育センター	MECP2 遺伝子変異の体細胞モザイクを認めた Rett 症候群の男性例
P-186	竹口 諒	旭川医科大学小児科	MECP2 遺伝子 exon1 にモザイクで変異を有する典型的 Rett 症候群の 9 歳男児例
P-187	山本晃子	東京都立東部療育センター小児科	Rett 症候群類似の臨床像を呈し CACNA1D 変異を有する男性例
P-188	春日晃子	東京医科大学小児科	発達遅滞，慢性腎不全，難聴を有し PBX1 遺伝子変異を認めた CAKUTED の 1 例
P-189	渡邊肇子	東京都立府中療育センター小児科	年長 ATR-X 症候群の 1 剖検例
P-190	山下朋代	大阪警察病院小児科	自閉スペクトラム症と特異的顔貌，乳歯の早期萌出を認めた Helsmoortel-Van der Aa 症候群の 1 例

一般演題（ポスター）：先天異常

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-191	平山良道	那覇市立病院小児科	気脳症が診断の契機となった Currarino 症候群の新生児例
P-192	伊藤昌弘	東京都立府中療育センター	てんかんとして加療中に低身長で気づいた septo-optic dysplasia の 1 男児例
P-193	曾根 翠	東京都立東大和療育センター	着圧を利用した指装具等の長期継続装用により運動機能が改善した関節型 Ehlers-Danlos 症候群の 1 例
P-194	渡辺 淑	千葉県こども病院神経科	HDR 症候群の 2 家系における無熱性けいれんの検討

一般演題（ポスター）：てんかん（治療）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-195	大黒春夏	茨城県立医療大学付属病院小児科	重症心身障害児の難治性てんかんに対するラコサミドの使用経験
P-196	長尾ゆり	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	当クリニックにおけるラコサミド（LCM）の使用経験
P-197	小野葉子	自治医科大学小児科	Lacosamide による強制正常化をきたした Lennox 症候群
P-198	海賀千波	東海大学医学部附属八王子病院小児科	結節性硬化症に合併する難治性 epileptic spasms に対して ACTH と VGB の併用療法が有効であった 1 例
P-199	小林由典	神戸市立医療センター中央市民病院小児科	West 症候群の発症予防目的に乳児期早期からビガバトリンを使用した結節性硬化症の 1 例
P-200	西川愛子	東京女子医科大学病院小児科	West 症候群の ACTH 療法後再発例に対する臨床像についての検討
P-201	児玉一男	千葉県こども病院神経内科	ACTH 療法における甲状腺機能低下と治療効果の関係について
P-202	谷口直子	東京女子医科大学小児科	ACTH 療法によりてんかん発作が誘発された 4 症例の検討
P-203	岸 高正	国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科	ゾニサミド投与中てんかん患者にみられた免疫グロブリンの低下
P-204	永江彰子	びわこ学園医療福祉センター草津	日本における血漿ホモシステインおよび血清ビタミン B 群血中濃度への抗てんかん薬の影響
P-205	井上美智子	国立病院機構南岡山医療センター小児神経科	克蘭ベリージュースはフェニトインの薬物動態に影響を与えるかもしれない
P-206	下村英毅	兵庫医科大学小児科	レベチラセタムによる傾眠におけるリスク因子の検討
P-207	星野英紀	帝京大学小児科	稀発てんかん重積発作症例の臨床的特徴と治療戦略
P-208	井上賢治	滋賀県立小児保健医療センター小児科	MCT ケトン食を摂取している母の母乳で栄養された児にケトosis を誘導できるか
P-209	犬塚 幹	佐世保中央病院小児科	抗てんかん薬を中止した 31 例の後方視的検討
P-210	高見勇一	姫路赤十字病院小児科	軽症胃腸炎に伴うけいれんへのフェノバルビタールの有効性に関するランダム化比較試験
P-211	永井盛博	四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科	CBZ から LEV への置換が脳波改善に有用であった焦点性てんかんの 4 症例

一般演題（ポスター）：てんかん（外科治療）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-212	金川温子	加古川中央市民病院小児科	迷走神経刺激療法中にてんかん重積を発症した2症例
P-213	板村真司	聖隷浜松病院小児神経科	Mild malformation of cortical development 2型の病理所見を認めた hemi-convulsion-hemiplegia-epilepsy syndrome の2例
P-214	井上岳司	大阪市立総合医療センター小児神経内科	10年以上続く MRI 陰性難治てんかんに対しててんかん外科を行った2症例の臨床的検討
P-215	中川裕康	浅ノ川総合病院小児科	当院における迷走神経刺激療法の検討
P-216	伊藤智城	市立札幌病院小児科	半球離断術後2症例の10年
P-217	渡辺詩絵奈	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	内科的治療抵抗性の徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症に対する脳梁離断術の効果
P-218	三浦雅樹	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	Hemiconvulsion hemiplegia epilepsy 症候群に対する外科的治療の検討
P-219	大吉由希美	国立精神・神経医療研究センター小児神経科	MRI で器質的異常を呈する乳幼児期側頭葉てんかんの外科治療
P-220	伊藤祐史	愛知県三河青い鳥医療療育センター小児科	非侵襲的な新規手法を用いた小児焦点性てんかんにおける術前評価

一般演題（ポスター）：てんかん（症例）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-221	小田 望	びわこ学園医療福祉センター草津	ウェスト症候群既往のある重症心身障害者におけるてんかんの特徴について
P-222	野村敏大	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかんにおける発作抑制期間と発達予後の関連
P-223	柏井洋文	焼津市立総合病院小児科	Atypical childhood epilepsy with centrotemporal spikes の3例
P-224	生田陽二	公立昭和病院小児科	両下肢の蕁麻疹を伴う意識消失発作で発症した限局性皮質異形成の1例
P-225	夏目岳典	信州大学医学部小児科	カルバマゼピン投与後に多彩な発作型が出現した脳炎後てんかんの1例
P-226	神内 済	四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科	眼球異常がスパズム消失まで認められた West 症候群の2例

一般演題（ポスター）：てんかん（発達・トランジション）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-227	野田あんず	さいたま市民医療センター小児科	当科におけるてんかんのトランジションの現状と課題
P-228	前澤真理子	鶴見大学短期大学部歯科衛生科	小児期発症のてんかんと、注意欠如多動性障害の comorbidity
P-229	古市康子	市立東大阪医療センター小児科	発達障害をもつ小児てんかん患者の J-KIDSCREEN-52 による QOL 評価

一般演題（ポスター）：電気生理

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-230	植田佑樹	北海道大学医学部小児科	焦点性てんかんにおける片側性の律動性活動は脳磁図で見出されることがある
P-231	實藤雅文	九州大学環境発達医学研究センター	事象関連電位を用いた、視空間注意に関する Posner 課題の意味合いの検証
P-232	松浦由佳	鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座	小児小脳疾患における ABR の V 波振幅の低下

一般演題（ポスター）：ADHD

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-233	杉浦信子	島田療育センターはちおうじ児童精神科	ADHD の児童への投薬による学校成績の変化
P-234	五十嵐鮎子	順天堂大学小児科	夜尿を合併した ADHD に対するアトモキセチンの有用性
P-235	松尾光弘	長崎県立こども医療福祉センター小児科	ADHD に対するメチルフェニデートとアトモキセチン併用療法の試み
P-236	川谷正男	福井大学医学部小児科	ADHD に併存したキレる症状に対するグアンファシンの有効性
P-237	森山 薫	長崎県立こども医療福祉センター小児科	Atomoxetine または methylphenidate に効果不十分な ADHD 症例に対する guanfacine の効果
P-238	向野文貴	鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科	当院におけるグアンファシン塩酸塩処方例の臨床的検討

一般演題（ポスター）：発達障害（支援）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-239	本田真美	みくりキッズくりにつく	小児科クリニックにおける発達障害児診療の役割
P-240	勝盛 宏	河北総合病院小児科	地域発達障害児支援における病院小児科医の院外活動の現状
P-241	塩田睦記	フジ虎ノ門整形外科病院小児神経科	発達障害児への集団リハビリテーション導入後の成果についての検討
P-242	中野広輔	愛媛大学教育学部特別支援教育講座	若手教員による発達障害の認知と専門医への期待
P-243	熊野麻美	福井県こども療育センター	福井県におけるペアレント・プログラムの普及
P-244	森 瞳子	園田学園女子大学人間健康学部人間看護学科	自閉症スペクトラム児の療育前後の社会性の発達と注視率との関連

一般演題（ポスター）：筋疾患

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-245	李 知子	兵庫医科大学小児科	家族歴のない高 CK 血症女児の臨床背景の検討
P-246	細川洋輔	愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科	同一の母より出生し、異なる遺伝子異常を認めたジストロフィノパチーの兄弟例
P-247	竹内博一	東京慈恵会医科大学小児科	感染症を契機に横紋筋融解症を発症し、ジストロフィン異常症保因者と診断された 1 例
P-248	横山はるな	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	発症時期別にみた先天性筋無力症候群の呼吸障害の特徴
P-249	矢野珠巨	秋田大学医学部小児科	横紋筋融解を繰り返した PRKAG2 遺伝子変異例
P-250	巨田元礼	福井大学医学部小児科	低ガンマグロブリン血症を合併した先天性筋強直性ジストロフィー児に対する免疫グロブリン皮下投与の経験
P-251	西口奈菜子	長崎大学病院小児科	新生児期に舌の線維束攣縮を認め、脊髄性筋萎縮症 1 型との鑑別を要した中心核ミオパチー乳児重症型の 1 例
P-252	山本亜矢子	神奈川県立こども医療センター神経内科	急速に進行した肝紫斑病による肝出血で死亡した、X 連鎖性ミオチューブラーミオパチーの乳児例

一般演題（ポスター）：急性脳症（けいれん重積型）

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-253	橋本修二	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科	急性期から部分発作が群発したが、ベンゾジアゼピンが有効であった急性脳症の2例
P-254	黒神経彦	川口市立医療センター小児科	難治頻回部分発作重積型急性脳炎（AERRPS）が疑われた3歳男児例
P-255	小川恵梨	東京都立小児総合医療センター神経内科	急性期に経静脈ケトン食療法を実施した、難治頻回部分発作重積型急性脳炎の1例
P-256	木許恭宏	宮崎大学医学部小児科	当科で経験した難治頻回部分発作重積型急性脳炎（AERRPS）の3例
P-257	本林光雄	長野県立こども病院神経小児科	急性期にケトン食療法を導入した難治頻回部分発作重積型急性脳炎の2例における臨床経過の比較
P-258	小俣 卓	千葉県こども病院神経科	急性脳症のリスクが否定できない症例へのビタミンカクテル薬の投与

一般演題（ポスター）：抗 MOG 抗体関連疾患

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-259	神山邦子	東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト	抗 MOG 自己抗体における各種パラメータ解析
P-260	武井 剛	国立成育医療研究センター神経内科	免疫グロブリン療法が再発予防に有効であった抗 MOG 抗体関連脱髄性疾患の1例
P-261	植松賢司	防衛医科大学校小児科	けいれん、片麻痺で発症し、MRI で急速進行性の皮質・白質病変を認めた抗 MOG 抗体関連急性脳炎の1例
P-262	東川幸嗣	清恵会病院小児科	クラミジア感染との関連が推測される抗 MOG 抗体陽性 ADEM の2例
P-263	相場佳織	豊橋市民病院小児科	帯状回に限局した抗 MOG 抗体陽性急性脳炎の1例
P-264	神岡哲治	国立成育医療センター神経内科	MELAS 疑いとしてフォローされ、抗 MOG 抗体、抗 NMDA 受容体抗体陽性が判明した視神経炎合併急性脳炎

一般演題（ポスター）：脱髄性疾患・脊髄炎

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-265	山内悠太郎	大同病院小児科	血漿交換が有用であった視神経炎を合併した急性散在性脳脊髄炎（ADEM）の1例
P-266	山下文也	福岡市立こども病院小児神経科	Dimethyl fumarate 不応例に natalizumab を使用した小児再発寛解型多発性硬化症の1例
P-267	齋藤貴志	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	小児期発症の多発性硬化症、視神経脊髄炎の長期予後
P-268	大山宜孝	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科	多発性硬化症に対する疾患修飾薬の使用経験
P-269	二階堂弘輝	北海道立子ども総合医療・療育センター神経科	単純ヘルペス脳炎を既往に持つ多発性硬化症の1例
P-270	匹田典克	大阪市立大学医学部小児科	当院で経験した横断性脊髄炎の2例の検討

一般演題（ポスター）：自己免疫性疾患 1

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-271	青木雄介	あいち小児保健医療総合センター神経科	意識障害と筋力低下にて発症した橋本脳症の女児例
P-272	黒川悠美	松戸市立総合医療センター小児科	シェーグレン症候群に伴う抗 AQP-4 抗体陰性視神経脊髄炎関連疾患の 1 例
P-273	杉山延喜	東海大学医学部小児科	発症早期にステロイドパルス療法を行い奏効した特発性外転神経麻痺の 1 例
P-274	遠藤若葉	東北大学医学部小児科	両側顔面神経麻痺と異常感覚を主症状としたギラン・バレー症候群の 1 例
P-275	鳥居健一	東京都立大塚病院小児科	著明な起立性低血圧を呈した自己免疫性自律神経節障害の 1 例
P-276	森 貴幸	東京大学医学部小児科	運動発達遅滞で発症した抗 LRP4 抗体・抗 AChR 抗体 double-seropositive 重症筋無力症の 1 例

一般演題（ポスター）：自己免疫性疾患 2

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-277	越野恵理	金沢大学医薬保健研究域医学系小児科	アザチオプリンが有効であった CLIPPERS syndrome の 1 例
P-278	親里嘉展	加古川中央市民病院小児科	抗 GluD2 抗体による自己免疫性発達退行が考えられた 1 例
P-279	坂本正宗	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科	ステロイドパルス療法に反応良好でも早期に再発を認めた抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例
P-280	植竹公明	帯広厚生病院小児科	神経芽腫に合併したオブソクロヌス・ミオクロヌス症候群の 1 例

一般演題（ポスター）：感染

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-281	伊波勇輝	藤沢市民病院こども診療センター	羞明，頭痛，発熱で発症した蝶形骨洞炎の 1 例
P-282	伊東竜也	弘前大学医学部小児科	脳梗塞を契機に診断した結核性髄膜炎の 1 例
P-283	田中俊光	鳥取大学医学部脳神経小児科	急性副鼻腔炎から進展した硬膜下膿瘍に静脈洞血栓症を合併した 1 例

一般演題（ポスター）：代謝

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-284	白井育子	東京都立府中療育センター小児科	ECHS1 遺伝子変異による Leigh 症候群に対する食事療法の検討
P-285	熊木達郎	神奈川県立こども医療センター神経内科	MT-ND1 の新規変異 m.3955G>A を同定した新生児期発症の Leigh 脳症
P-286	春日悠岐	日本大学医学部小児科	上衣下嚢胞内出血を呈した新生児ミトコンドリア病の 1 例
P-287	三井善崇	金沢医科大学医学部小児科	偽性腸閉塞と上腸間膜症候群を認めた MELAS の 1 例
P-288	チョン ピンフィー	福岡市立こども病院小児神経科	成人期まで経静脈的銅補充を行った古典型メンケス病の 1 例
P-289	林 泰壽	浜松医科大学医学部小児科	難治性下痢・血便を認めた Menkes 病の 1 例
P-290	大熊こずえ	杏林大学医学部小児科	非ケトーシス型高グリシン血症にみられた急性増悪
P-291	市川和志	藤沢市民病院こども診療センター	新生児型非ケトン性高グリシン血症の長期経過観察の 1 例
P-292	平岩里佳	東部島根医療福祉センター小児科	長期フォローしているゴーシェ病 3c 型の 1 例
P-293	本島敏乃	本島総合病院小児科	呼吸鎖複合体の活性低下を認めた先天性 GPI 欠損症（PIGN 遺伝子異常）の女児例
P-294	山本晃代	札幌医科大学小児科	白質ジストロフィーを呈した HSD17B4 遺伝子異常症の 1 例
P-295	永瀬静香	大阪市立総合医療センター小児神経内科	極軽度の神経症状のみで経過しているモリブデン補酵素欠損症の 1 例
P-296	宮林拓矢	宮城県立こども病院神経科	足底痛と顔面低汗症を契機に診断した 11 歳男児ファブリー病

一般演題（ポスター）：神経変性疾患

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-297	所 訓子	岐阜県総合医療センター小児科	MRI 画像から診断に至った乳児型歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症（DRPLA）の 1 例
P-298	比屋根真彦	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科	1 ヶ月時難治性てんかんで発症し、肝脾腫、呼吸不全が急激に進行した大脳白質消失病の男児例
P-299	甲良謙伍	兵庫県立尼崎総合医療センター小児神経内科	乳児型アレキサンダー病の 1 例と炎症性機序に関する考察

一般演題（ポスター）：末梢神経

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-300	山口拓洋	福岡大学医学部小児科	ミオキミアの診断と治療判定に筋エコーが有用だった Isaacs 症候群の 1 例
P-301	伊藤麻美	平塚市民病院小児科	発熱と項部硬直が著明であった Guillain-Barré 症候群の 1 例
P-302	前田裕史	京都府立医科大学附属北部医療センター小児科	IgM-抗 GM2 抗体と IgM-抗 GalNac-GD1a 抗体が陽性であった小児期発症の多巣性運動ニューロパチーの 1 例
P-303	佐藤睦美	小田原市立病院小児科	Charcot-Marie-Tooth 病 と spinal muscular atrophy with lower extremity predominance の症状を認めた DYNC1H1 遺伝子変異例
P-304	眞下秀明	東京都立神経病院神経小児科	神経超音波検査を用いた小児の末梢神経の計測
P-305	漆畑 伶	浜松医科大学小児科	末梢神経超音波検査によるエコー評価を行った PMP22 変異による Dejerine-Sottas 病の 1 例
P-306	渡辺圭介	鳥取大学医学部脳神経小児科	多彩な神経症状の経過の中で食道アカラシアを発症し、Allgrove syndrome を疑う 15 歳女児例

一般演題（ポスター）：不随意運動，基底核疾患

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-307	星野恭子	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	トゥレット症候群における初診時年齢, YGTSS-J (Yale Global Tic Severity Scale 日本語版) と治療薬の検討
P-308	小沢 浩	島田療育センターはちおうじ神経小児科	チックにおけるレベチラセタムの効果
P-309	浜田有為子	琉球大学大学院医学研究科育成医学講座	二次性ジストニアによる栄養障害に対しバクロフェン髄腔内投与治療を施行した1例
P-310	吉野 豪	鳥取大学医学部脳神経小児科	片側の舞蹈様運動で発症した抗リン脂質抗体陽性のSLEの13歳女児例
P-311	大橋 伯	新潟大学医歯学総合病院小児科	Postpump chorea の治療経験
P-312	田島大輔	唐津赤十字病院小児科	娘の良性乳児てんかんを契機に診断し治療が奏功した ICCA 症候群の父親例

一般演題（ポスター）：睡眠

6月1日（土）16:30～17:15（演題番号：奇数），17:15～18:00（演題番号：偶数） ポスター会場

P-313	栗原栄二	東京都立神経病院神経小児科	むずむず脚症候群に対する抑肝散の有効性について
P-314	福水道郎	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	小児神経科・小児睡眠障害外来患者における著明な貯蔵鉄減少例の睡眠障害について
P-315	小坂拓也	福井大学医学部小児科	幼児期の発達障害児に対するラメルテオンの目標内服時刻と内服による入眠時刻の改善度の検討
P-316	内田智子	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	Kleine-Levin 症候群の2症例
P-317	中村拓自	嬉野医療センター小児科	インフルエンザ罹患後に発症した Kleine-Levin 症候群の女児例
P-318	加藤久美	特定医療法人愛仁会太田睡眠科学センター	睡眠中のでんかん発作と両手を挙上する運動が混在する13歳女児の終夜睡眠ポリグラフ所見
P-319	野寺真樹	福島県立医科大学医学部小児科	熱性けいれん重積を契機に顕在化した遅発型先天性中枢性低換気症候群の1例